
京田辺市
こどもの生活状況調査（小学生とその保護者）
報告書

令和6（2024）年8月

目次

I	調査概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査の実施について	1
3.	調査票の回収状況	1
4.	留意点	1
5.	調査の精度	2
II	小学生（アンケート結果）	3
1.	基本属性	3
2.	学習状況	4
3.	進学希望	10
4.	部活動等への参加状況	12
5.	日常的な生活の状況	13
6.	心身の健康状態	16
7.	毎月のおこづかい	19
8.	相談できると思う相手	21
9.	居場所の利用	22
10.	子どもの心理的な状態	28
III	小学生（アンケート結果からの分析）	40
1.	学習状況	40
2.	進学希望	40
3.	部活動等への参加状況	40
4.	日常的な生活の状況	40
5.	心身の健康状態	40
6.	毎月のおこづかい	41
7.	居場所の利用	41
IV	小学生の保護者	42
1.	基本属性等	42
2.	最終学歴	47
3.	生活状況	49
4.	保育の状況	52
5.	子どもとの関わり方	54
6.	学校との関わり・参加	59
7.	進学期待・展望	62
8.	頼れる人の有無・相手	64

9.	経済的な状況、暮らしの状況.....	67
10.	保護者の心理的な状態.....	73
11.	支援の利用状況.....	80
12.	保護者の考え.....	92

V 小学生の保護者（アンケート結果からの分析） 97

1.	保育の状況.....	97
2.	子どもとの関わり方.....	97
3.	学校との関わり・参加.....	97
4.	進路期待・展望.....	97
5.	頼れる人の有無・相手.....	98
6.	経済的な状況、暮らしの状況.....	98
7.	保護者の心理的な状態.....	98
8.	支援の利用状況.....	98
9.	保護者の考え.....	98

I 調査概要

1. 調査の目的

「(仮称) 京田辺市こども計画」の策定に向け、こどもの生活状況について京田辺市の実態を把握して計画に反映するとともに、世帯収入の水準や親の婚姻状況によって、こどもの学習・生活・心理など様々な面での影響を把握するため、「こどもの生活状況調査 (小学生とその保護者)」を実施しました。

2. 調査の実施について

調査対象者	京田辺市立小学校 5 年生及びその保護者 (全数調査)
調査期間	令和 6 (2024) 年 2 月 22 日 (木) ~ 令和 6 (2024) 年 3 月 7 日 (木)
調査方法	さくら連絡網による調査、Web による回答

3. 調査票の回収状況

調査票	調査対象者数	有効回収数	有効回収率
小学 5 年生及びその保護者	705 世帯	158 件	22.4%

※京田辺市立小学校に在籍していない小学生は対象外になります。

また、さくら連絡網に登録していない世帯及び複数人登録している世帯 (父親、母親ともに登録しているなど) がいるため、調査対象世帯と調査数が一致しません。

4. 留意点

分析結果をみる際の留意点は以下のとおりとなっています。

- ① 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
- ② 単数回答の場合、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記しています。このため、百分率の合計が 100.0%とならない場合があります。
- ③ 複数回答の場合、図中に MA (Multiple Answer=いくつでも)、3 LA (3 Limited Answer=3 つまで) と記載しています。また、不明 (無回答) はグラフ・表から除いている場合があります。
- ④ 表内において、全体・属性ごとに最も高い項目を紺色、2 番目に高い項目を水色としています。また、全体と比べて 10 ポイント以上高い場合は△、10 ポイント以上低い場合は▼の記号をつけています。
- ⑤ 令和 6 (2024) 年度 2 月における小学校 9 校の 5 年生の人数は、以下のとおりです。

小学校	人数
大住小学校	28 人
田辺小学校	108 人
草内小学校	48 人
三山木小学校	186 人
普賢寺小学校	22 人
田辺東小学校	27 人
松井ヶ丘小学校	103 人
薪小学校	102 人
桃園小学校	81 人

- ⑥ 回答世帯に父子世帯はありませんでした。

5. 調査の精度

- ① 今回の調査における回収数は158世帯のため、標本誤差は6.9%になります。
- ② これは一般的に統計的に有意であるとされる標本誤差(+3.0%~5.0%)の範囲に収まっておらず、小学5年生及びその保護者全体の意見を推定するために必要な精度を満たしていません。
- ③ 母子家庭及び生活困難世帯は回答数が少ないため、信用性が担保されていません。

Ⅱ 小学生（アンケート結果）

1. 基本属性

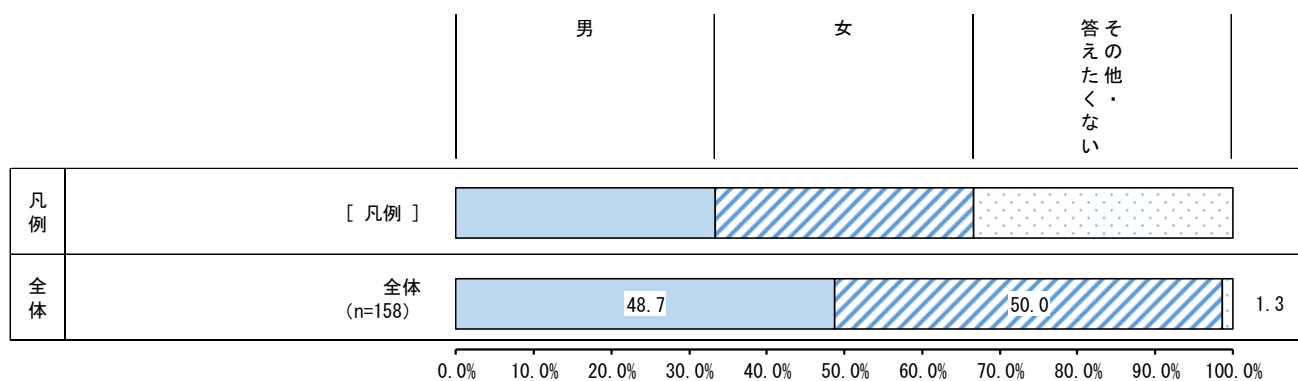
（1）性別

問1 あなたの性別を教えてください。

【全体】

- 性別について、「女」が 50.0%で最も多く、次いで「男」が 48.7%、「その他・答えたくない」が 1.3%となっています。

【性別】



2. 学習状況

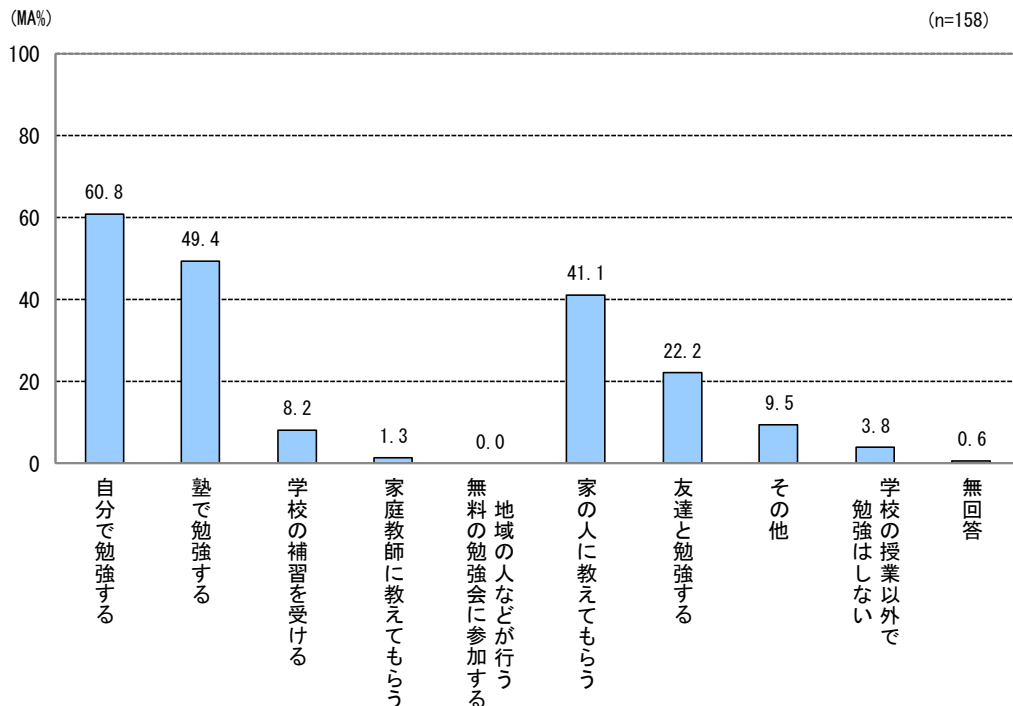
(1) ふだんの勉強の仕方

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。(MA)

【全体】

- 学校の授業以外での勉強方法について、「自分で勉強する」が 60.8%で最も多く、次いで「塾で勉強する」が 49.4%、「家の人に教えてもらう」が 41.1%となっています。

【学校の授業以外での勉強方法 (MA)】



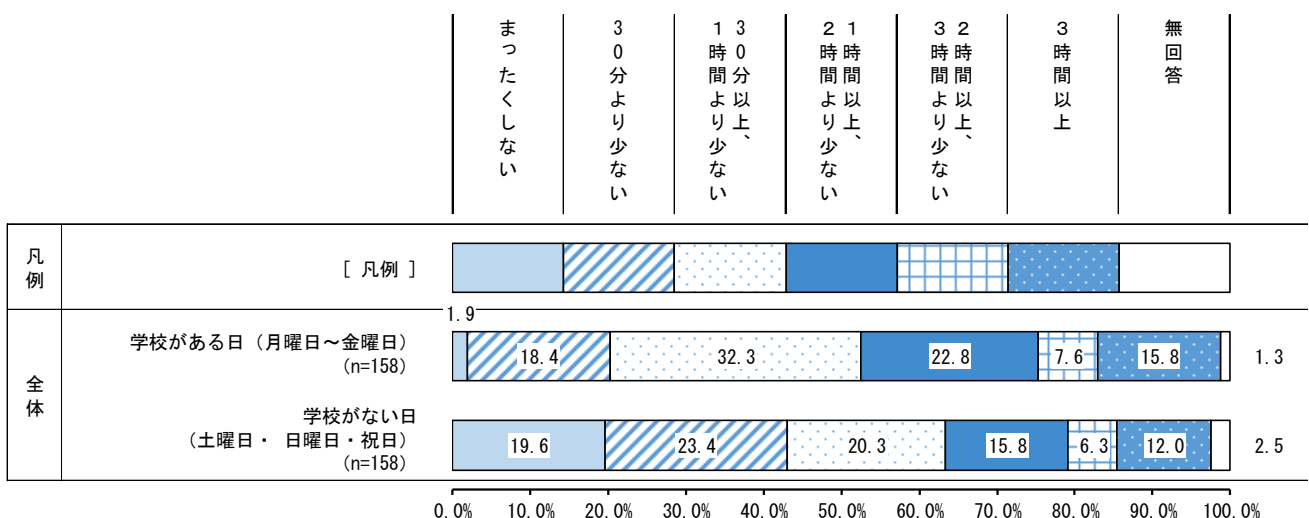
(2) 1日あたりの勉強時間

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

【全体】

- 1日あたりの勉強時間について、「まったくしない」「30分より少ない」を合わせた“30分より少ない人”は学校がない日（土曜日・日曜日・祝日）が 43.0%と、学校がある日（月曜日～金曜日）の 20.3%より 22.7ポイント多くなっていることから、学校がある日（月曜日～金曜日）より学校がない日（土曜日・日曜日・祝日）のほうが、勉強時間が少ないと考えられます。

【1日あたりの勉強時間】



(3) 学校がある日の勉強時間

問3a 学校がある日（月曜日～金曜日）の1日あたりの勉強時間をお答えください。

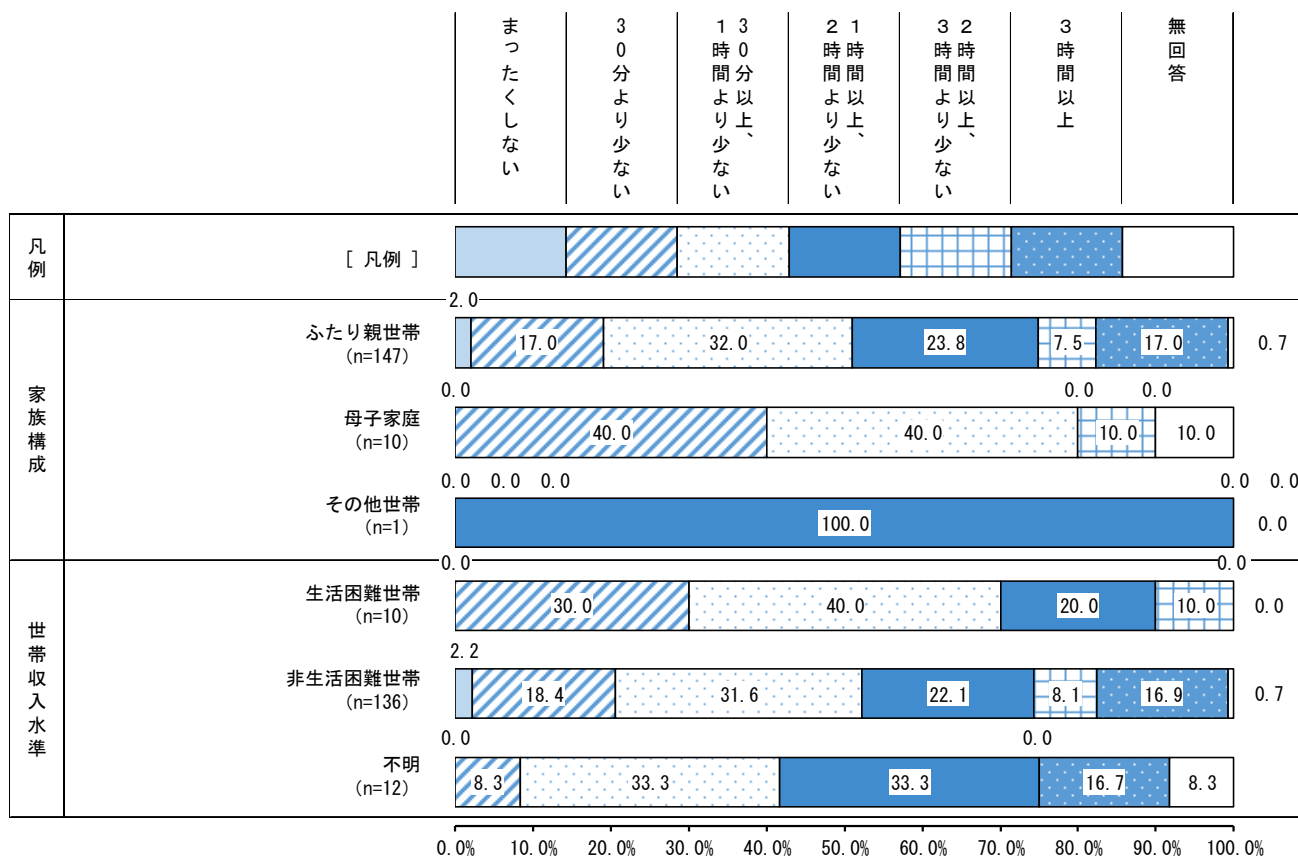
【家族構成】

- 学校がある日（月曜日～金曜日）の勉強時間について、「まったくしない」「30分より少ない」「30分以上、1時間より少ない」を合わせた“1時間未満の人”はふたり親世帯が51.0%となっているのに対し、母子家庭は80.0%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “1時間未満の人”は非生活困難世帯が52.2%となっているのに対し、生活困難世帯は70.0%と多くなっています。

【学校がある日（月曜日～金曜日）の勉強時間】



(4) 学校がない日の勉強時間

問3b 学校がない日（土曜日・日曜日・祝日）の1日あたりの勉強時間をお答えください。

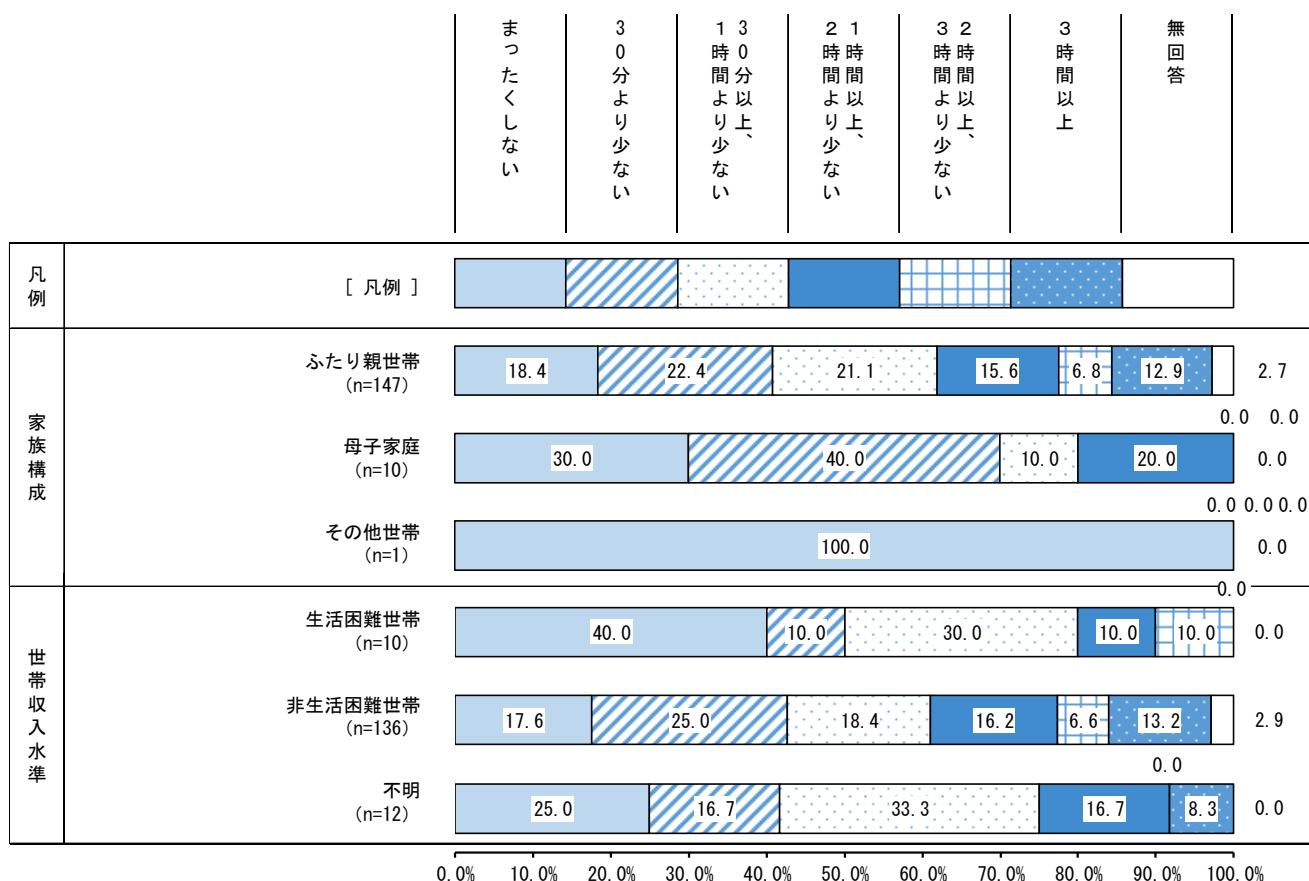
【家族構成】

- 学校がない日（土曜日・日曜日・祝日）の勉強時間について、「まったくしない」「30分より少ない」「30分以上、1時間より少ない」を合わせた“1時間未満の人”はふたり親世帯が61.9%となっているのに対し、母子家庭は80.0%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “1時間未満の人”は非生活困難世帯が61.0%となっているのに対し、生活困難世帯は80.0%と多くなっています。

【学校がない日（土曜日・日曜日・祝日）の勉強時間】



(5) クラスの中での成績

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。

【全体】

- クラスの中で成績がどのくらいだと思うかについて、「まん中あたり」が 42.4%で最も多く、次いで「やや上のほう」が 21.5%、「上のほう」が 13.9%となっています。
- 「上のほう」「やや上のほう」を合わせた“上と感じている人”は 35.4%となっています。
- 「やや下のほう」「下のほう」を合わせた“下と感じている人”は 14.6%となっています。

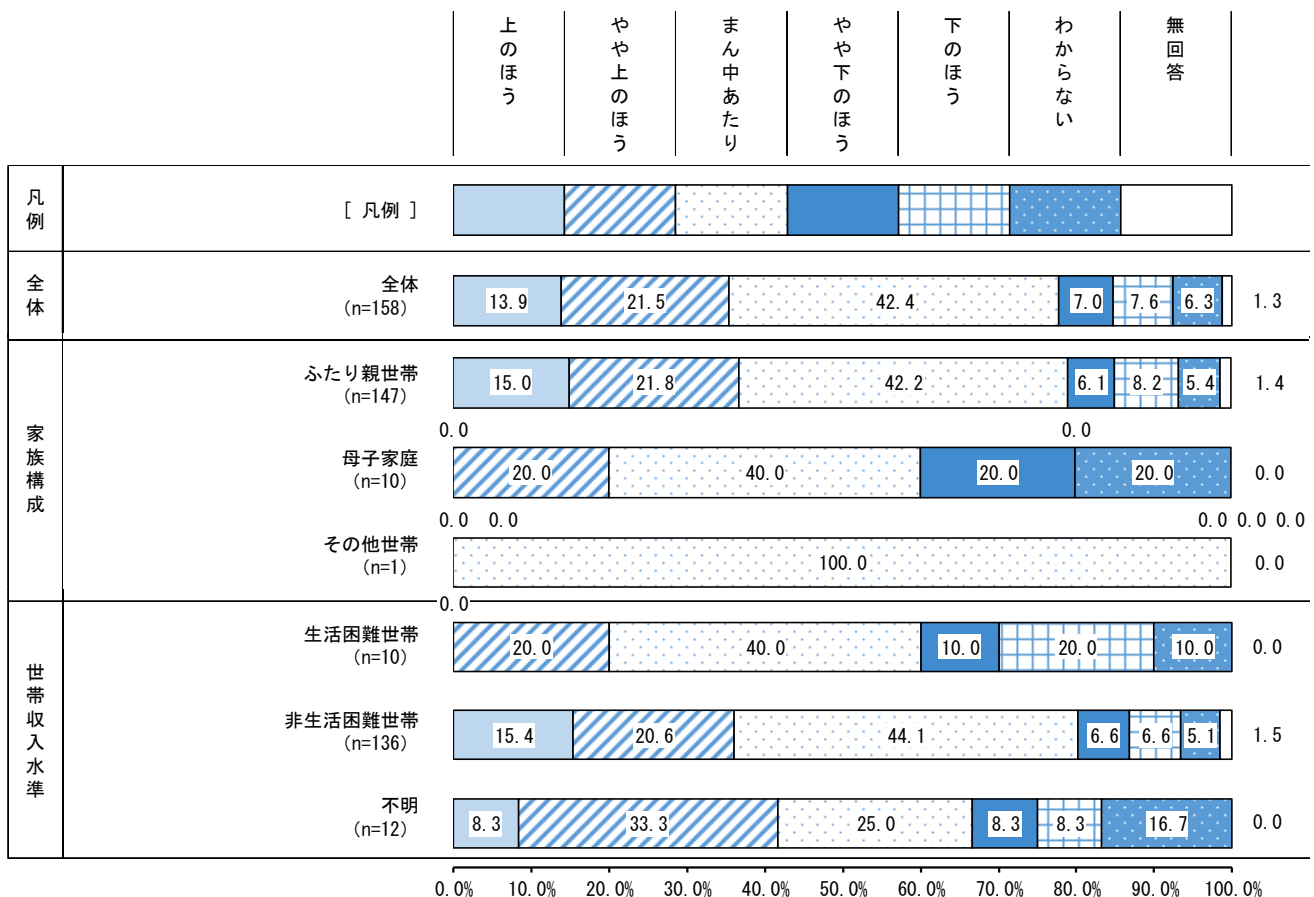
【家族構成】

- “上と感じている人”は母子家庭が 20.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は 36.8%と多くなっています。
- “下と感じている人”はふたり親世帯 14.3%となっているのに対し、母子家庭は 20.0%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “上と感じている人”は生活困難世帯が 20.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 36.0%と多くなっています。
- “下と感じている人”は非生活困難世帯が 13.2%となっているのに対し、生活困難世帯は 30.0%と多くなっています。

【クラスの中で成績がどのくらいだと思うか】



（６）授業の理解状況

問５ あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

【全体】

- 学校の授業がわからないことがあるかについて、「だいたいわかる」が 44.9%で最も多く、次いで「教科によってはわからないことがある」が 27.8%、「いつもわかる」が 20.9%となっています。
- 「いつもわかる」「だいたいわかる」を合わせた“わかる人”は 65.8%となっています。

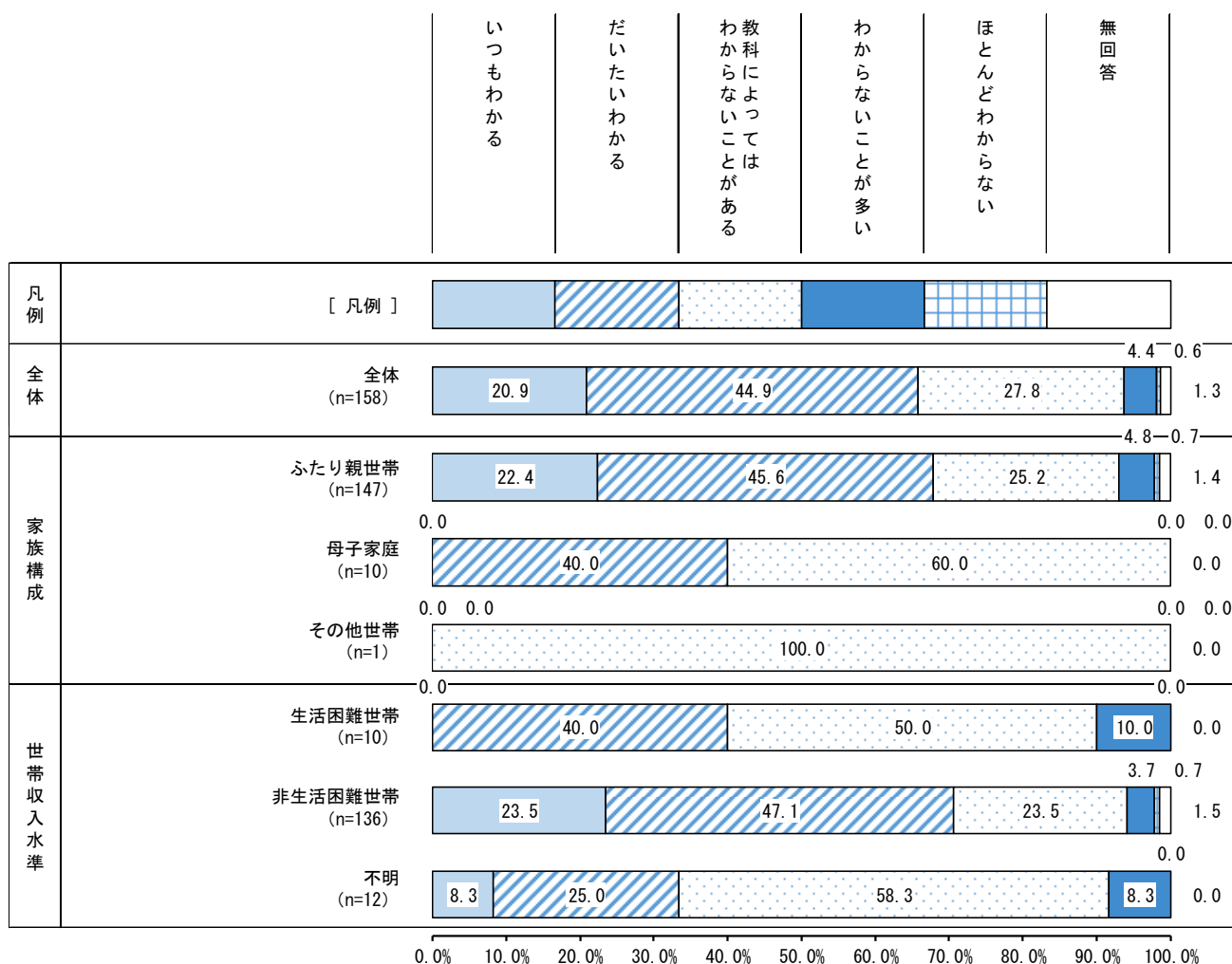
【家族構成】

- “わかる人”は母子家庭が 40.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は 68.0%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “わかる人”は生活困難世帯が 40.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 70.6%と多くなっています。

【学校の授業がわからないことがあるか】



(7) 授業がわからなくなった時期

問6 いつ頃から、授業がわからないことがあるようになりましたか。(前の質問で「3. 教科によってはわからないことがある」「4. わからないことが多い」「5. ほとんどわからない」を選んだ人)

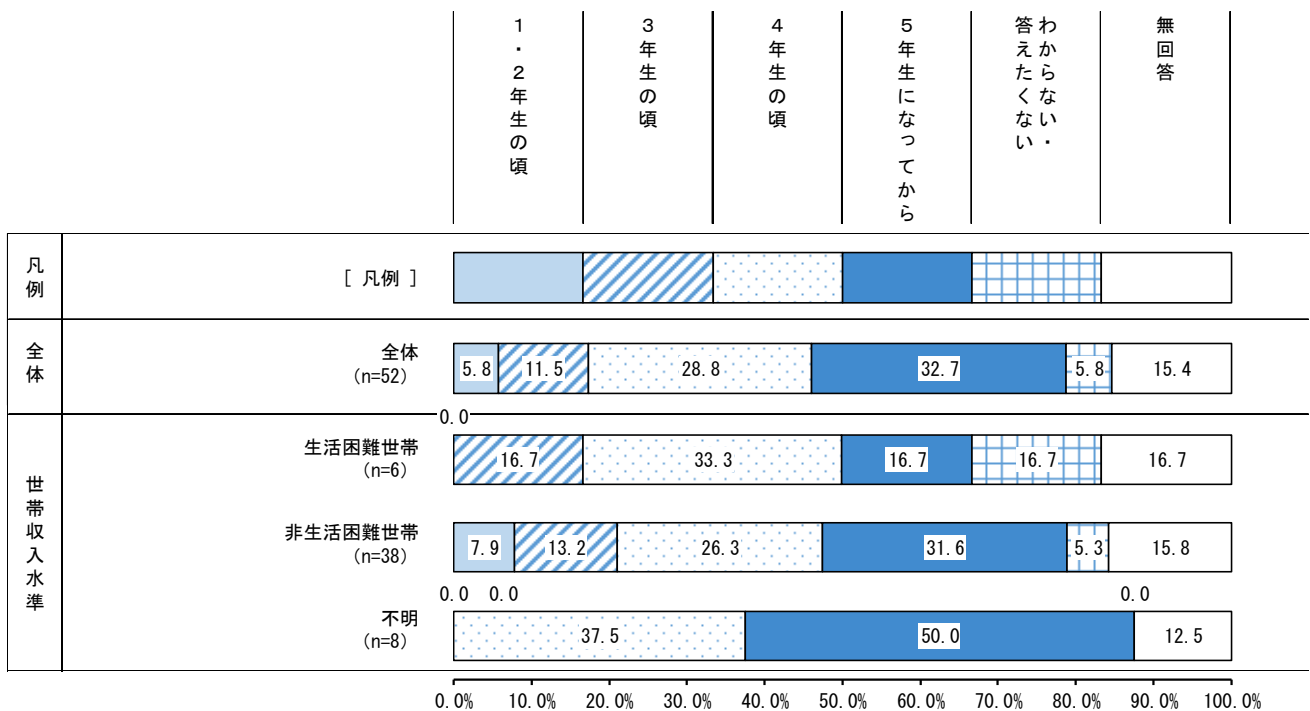
【全体】

- 授業がわからないことがあるようになった時期について、「5年生になってから」が32.7%で最も多く、次いで「4年生の頃」が28.8%、「3年生の頃」が11.5%となっています。

【世帯収入水準】

- 「1・2年生の頃」は生活困難世帯が0.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は7.9%と多くなっています。
- 「1・2年生の頃」「3年生の頃」を合わせた「1年生～3年生でわからなくなった人」は非生活困難世帯が21.1%、生活困難世帯が16.7%となっています。
- 「1・2年生の頃」「3年生の頃」「4年生の頃」を合わせた「1年生～4年生でわからなくなった人」は生活困難世帯が50.0%、非生活困難世帯が47.4%となっています。
- 「1・2年生の頃」「3年生の頃」「4年生の頃」「5年生になってから」を合わせた「1年生～5年生でわからなくなった人」は生活困難世帯が66.7%となっているのに対し、非生活困難世帯は79.0%と多くなっています。

【授業がわからないことがあるようになった時期】



3. 進学希望

(1) 進学したいと思う教育段階

問7 あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。

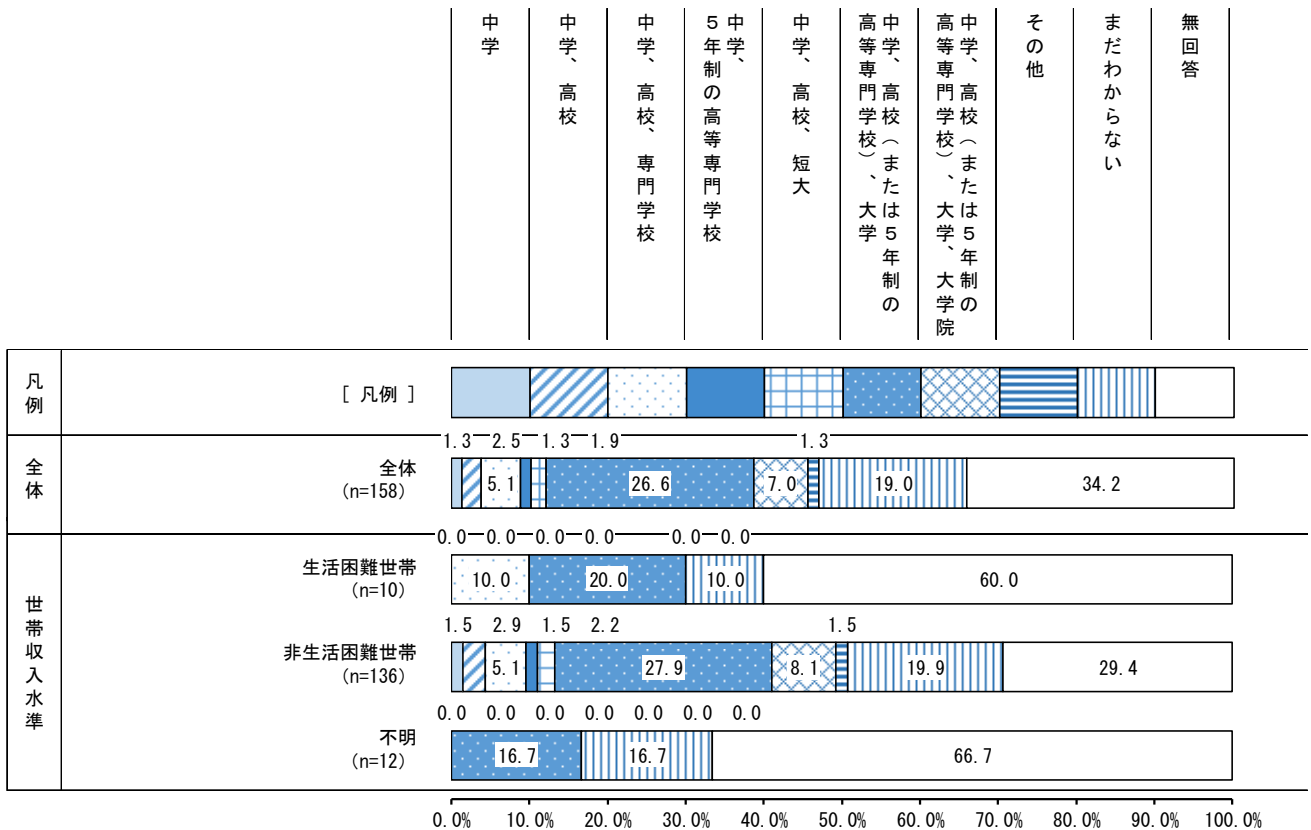
【全体】

- 希望する進学先について、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が26.6%で最も多く、次いで「まだわからない」が19.0%、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院」が7.0%となっているのに対し、無回答は34.2%となっています。
- 「中学、高校、専門学校」「中学、5年生の高等専門学校」「中学、高校、短大」「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院」を合わせた“高校卒業以降も進学したい人”は41.9%となっています。

【世帯収入水準】

- “高校卒業以降も進学したい人”は生活困難世帯が30.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は44.8%と多くなっています。

【希望する進学先】



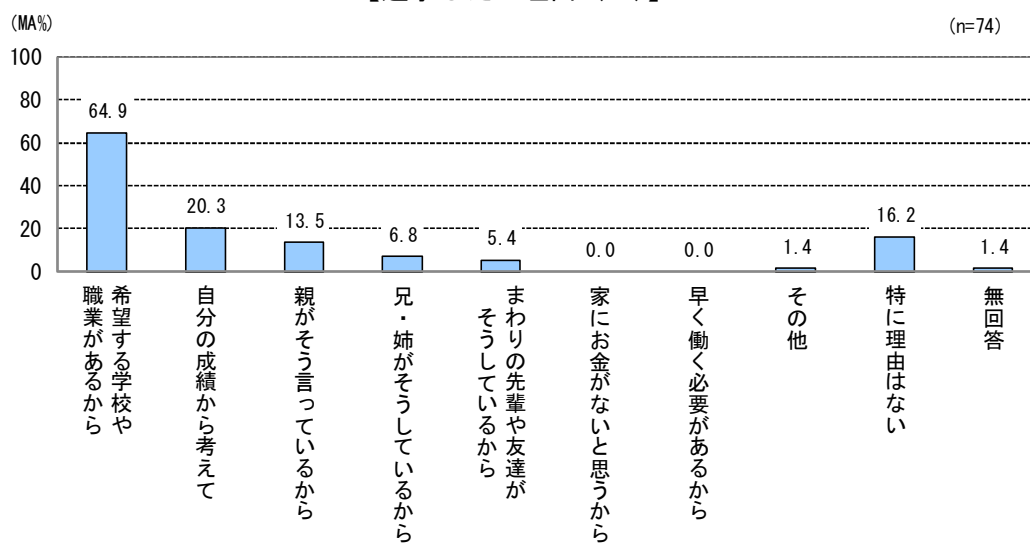
(2) 進学希望の教育段階についてそう考える理由

問8 その理由をお答えください。(MA) (前の質問で「9. まだわからない」以外を選んだ人)

【全体】

- 進学したい理由について、「希望する学校や職業があるから」が 64.9%で最も多く、次いで「自分の成績から考えて」が 20.3%、「特に理由はない」が 16.2%となっています。

【進学したい理由 (MA)】



4. 部活動等への参加状況

(1) 部活動等への参加状況

問9 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。

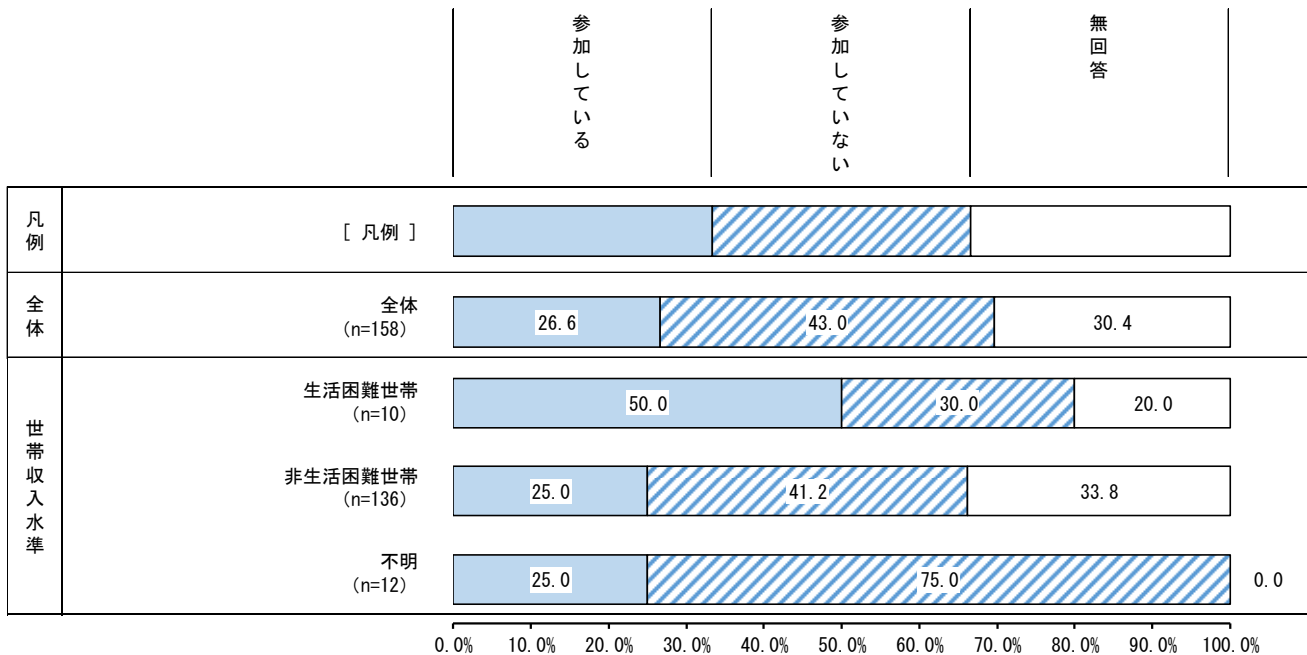
【全体】

- 地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加しているかについて、「参加している」が26.6%、「参加していない」が43.0%となっています。

【世帯収入水準】

- 「参加している」は非生活困難世帯が25.0%となっているのに対し、生活困難世帯は50.0%と多くなっています。

【地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加しているか】



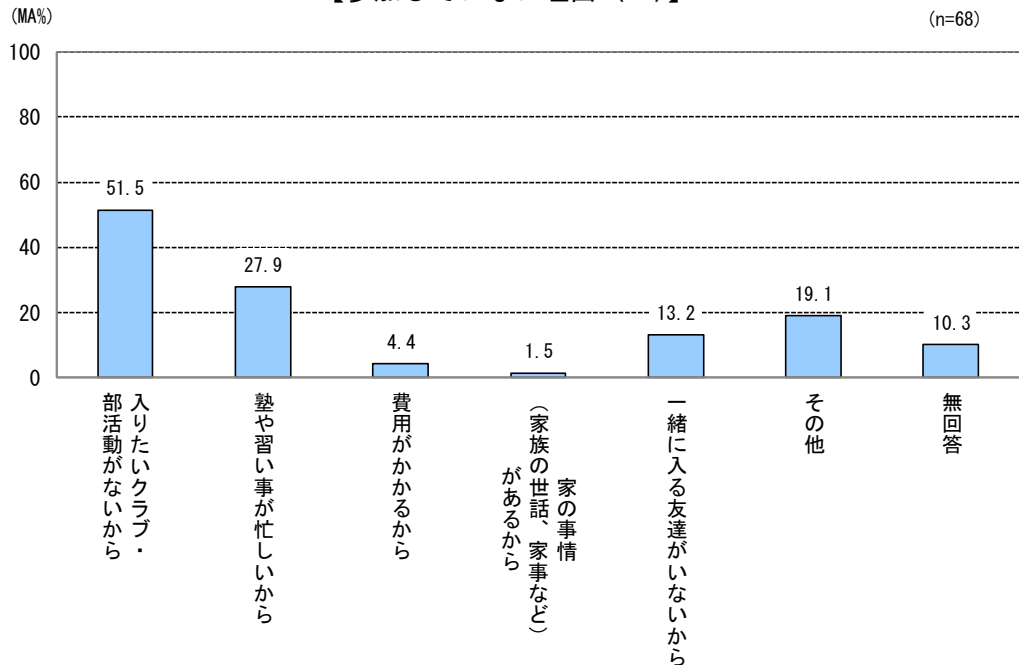
(2) 部活動等に参加していない理由

問10 参加していない理由は何ですか。(MA) (前の質問で「2. 参加していない」と答えた人)

【全体】

- 参加していない理由について、「入りたいクラブ・部活動がないから」が51.5%で最も多く、次いで「塾や習い事が忙しいから」が27.9%、「その他」が19.1%となっています。

【参加していない理由 (MA)】



5. 日常的な生活の状況

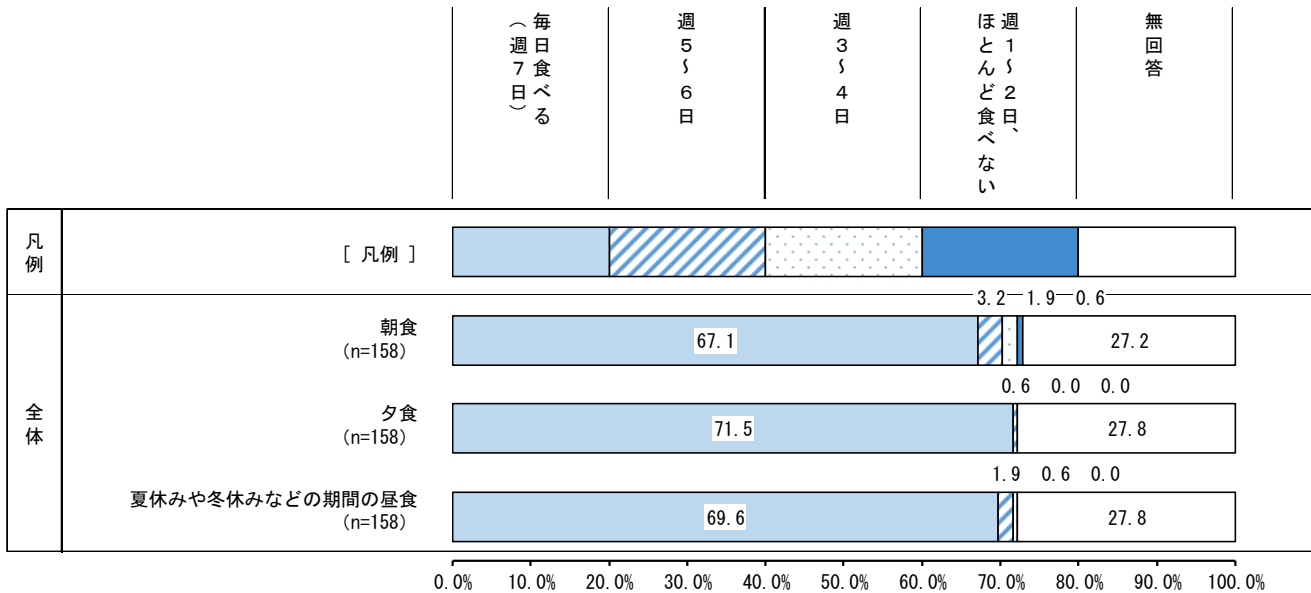
(1) 食事の状況

問11 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。

【全体】

- 食事の頻度について、「毎日食べる（週7日）」は夕食が71.5%、夏休みや冬休みなどの期間の昼食が69.6%、朝食が67.1%となっています。

【食事の頻度】



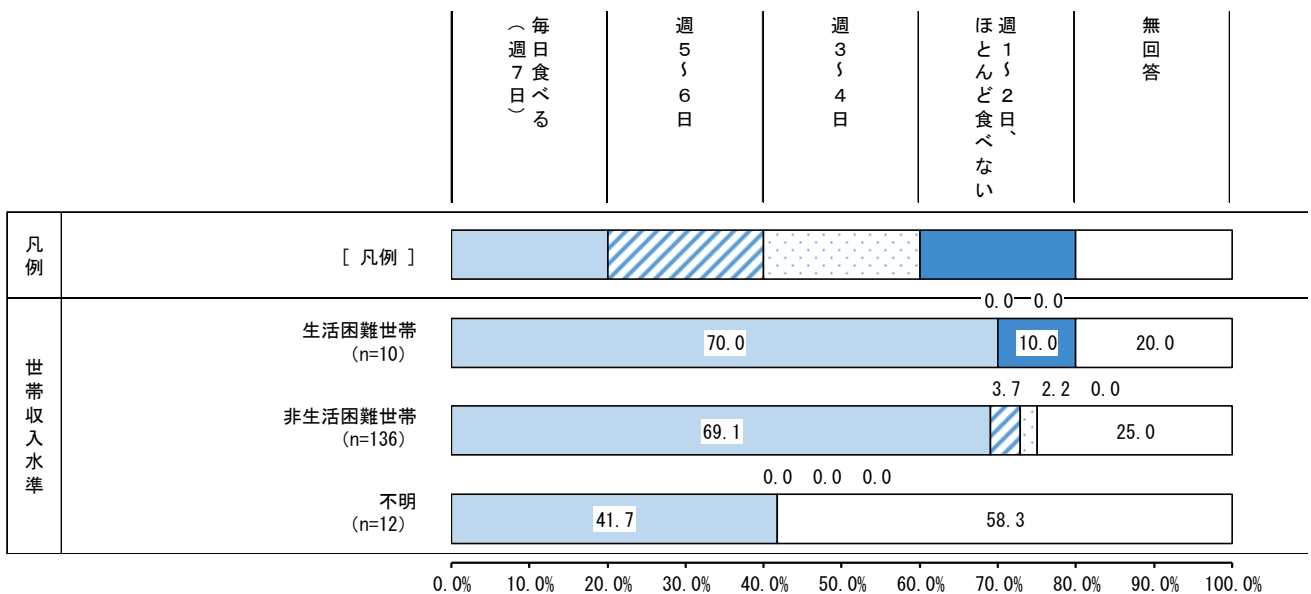
(2) 朝食の状況

問11a あなたは週にどのくらい、朝食を摂りますか。

【世帯収入水準】

- 朝食について、「毎日食べる（週7日）」は生活困難世帯が70.0%、非生活困難世帯が69.1%となっています。
- 「週1～2日、ほとんど食べない」は生活困難世帯が10.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【朝食】



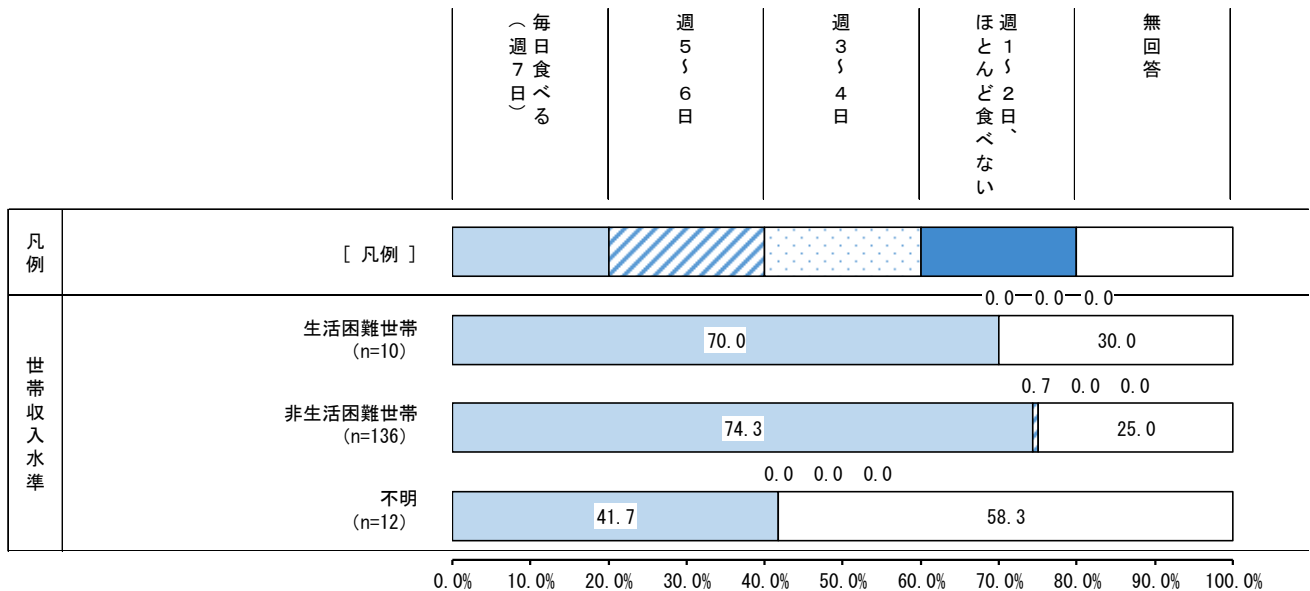
(3) 夕食の状況

問11b あなたは週にどのくらい、夕食を摂りますか。

【世帯収入水準】

- 夕食について、「毎日食べる（週7日）」は非生活困難世帯が 74.3%、生活困難世帯が 70.0%となっています。

【夕食】



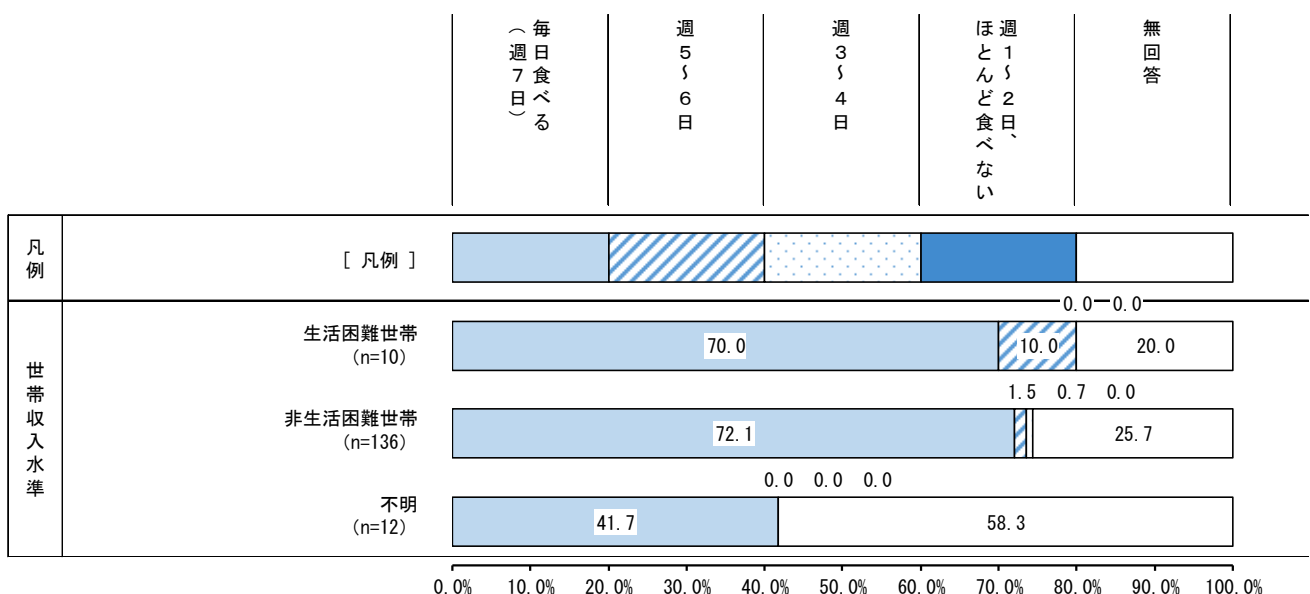
(4) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食の状況

問11c あなたは週にどのくらい、夏休みや冬休みなどの期間の昼食を摂りますか。

【世帯収入水準】

- 夏休みや冬休みなどの期間の昼食について、「毎日食べる（週7日）」は非生活困難世帯が 72.1%、生活困難家庭が 70.0%となっています。

【夏休みや冬休みなどの期間の昼食】



（５）就寝時間

問15 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

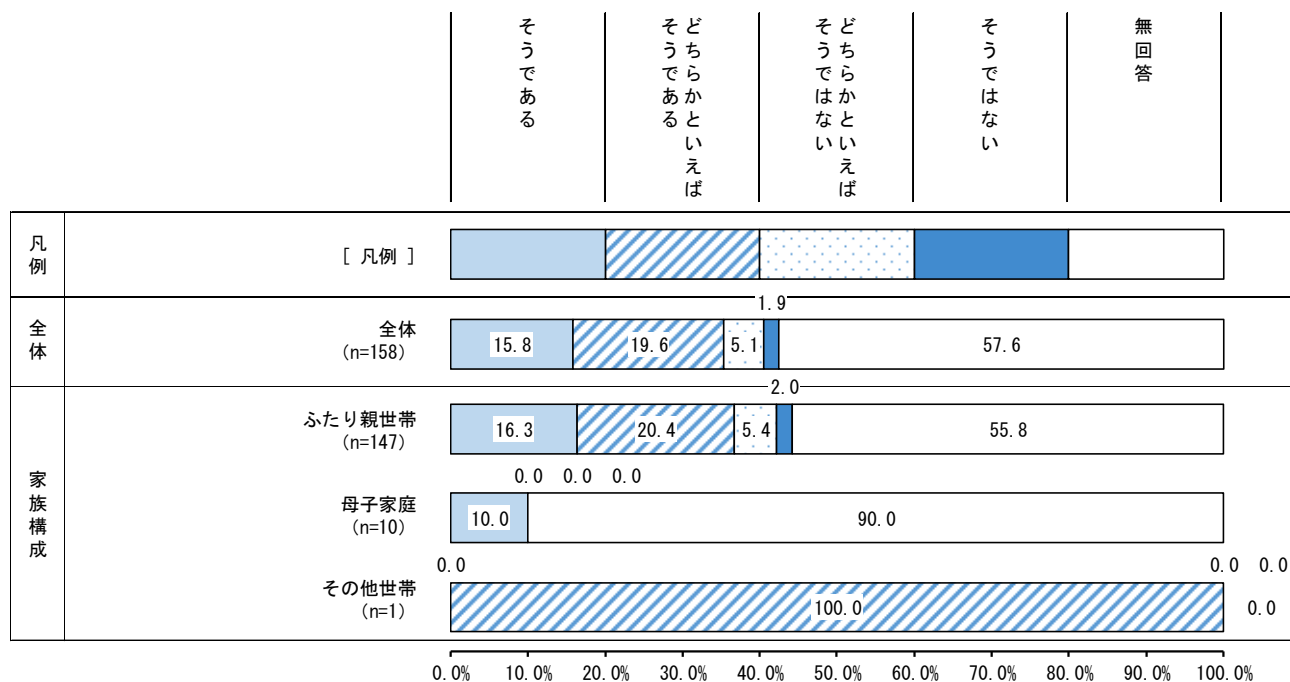
【全体】

- ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ているかについて、「どちらかといえばそうである」が 19.6%で最も多く、次いで「そうである」が 15.8%、「どちらかといえばそうではない」が 5.1%となっています。
- 「そうである」「どちらかといえばそうである」を合わせた“そうである人”は 35.4%となっています。

【家族構成】

- “そうである人”は母子家庭が 10.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は 36.7%と多くなっています。

【ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ているか】



6. 心身の健康状態

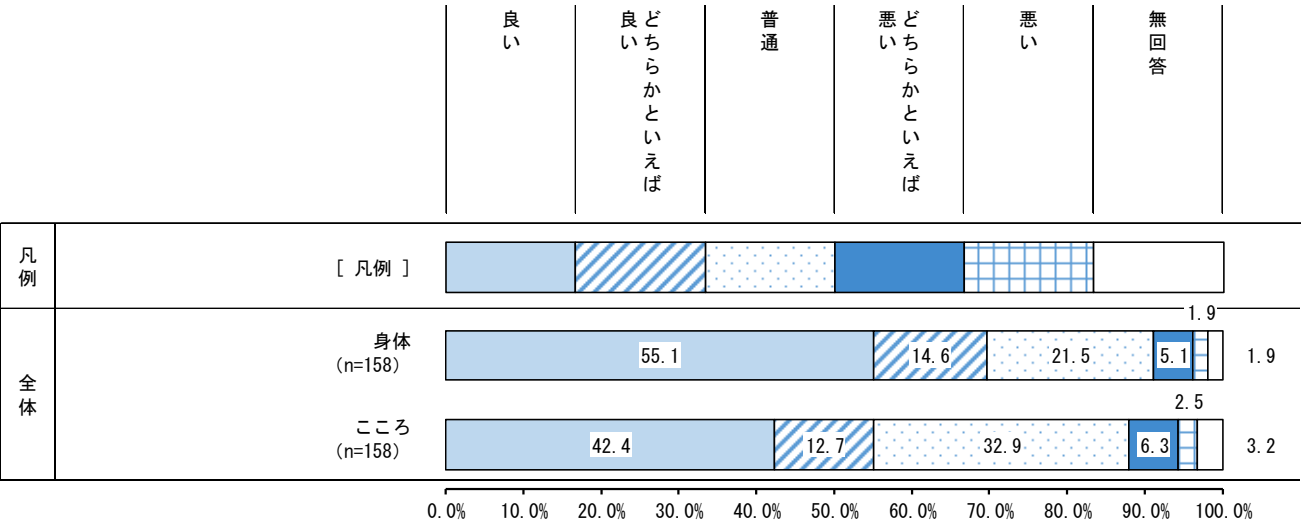
(1) 心身の健康状態

問12 あなたの最近の体調を教えてください。

【全体】

- 健康状態について、「良い」「どちらかといえば良い」を合わせた“良い人”はこころが 55.1%となっているのに対し、身体は69.7%と多くなっています。
- 「どちらかといえば悪い」「悪い」を合わせた“悪い人”はこころが 8.8%、身体が 7.0%となっています。

【健康状態】



(2) 身体の調子

問12① あなたの最近の身体の調子を教えてください。

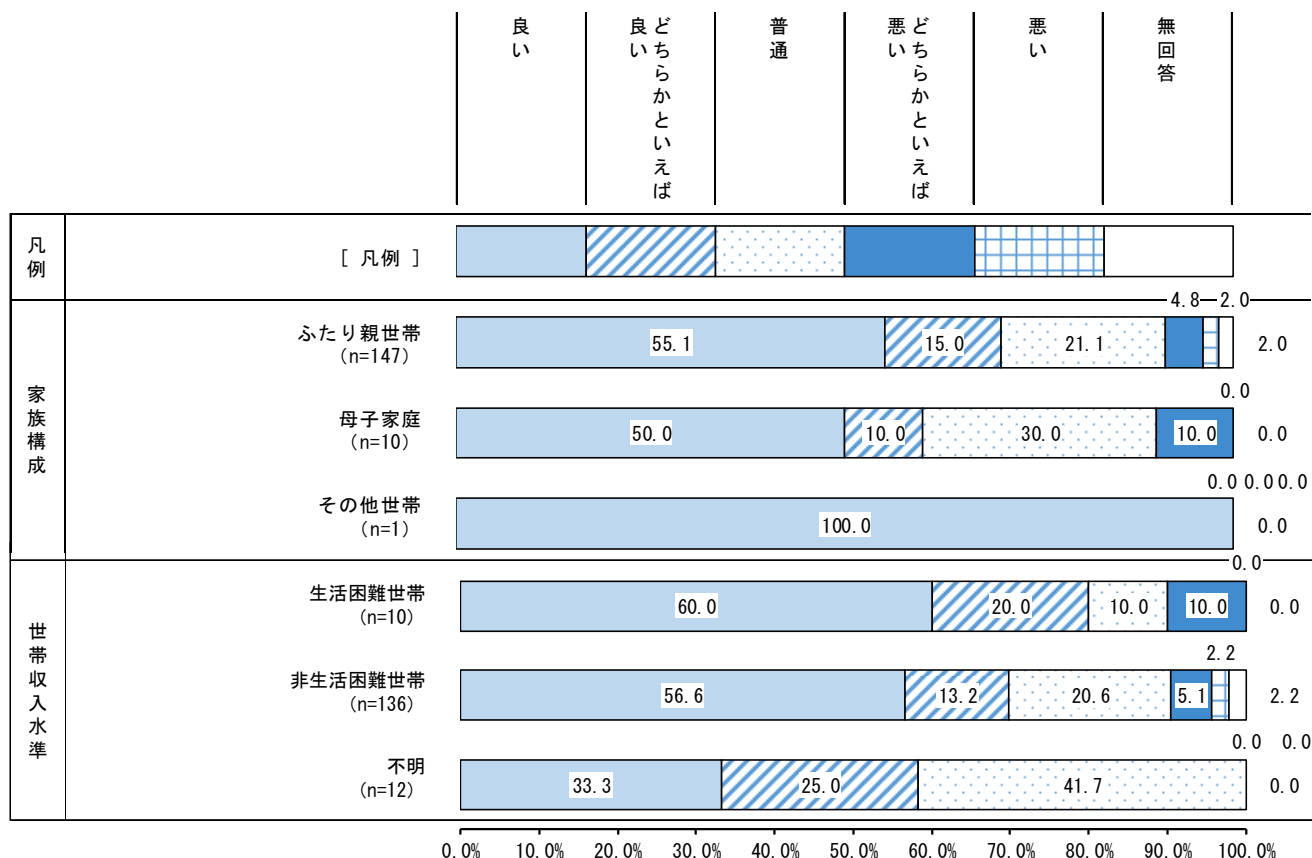
【家族構成】

- 身体の調子について、「良い」「どちらかといえば良い」を合わせた“良い人”は母子家庭が 60.0% となっているのに対し、ふたり親世帯は 70.1%と多くなっています。
- 「どちらかといえば悪い」「悪い」を合わせた“悪い人”は母子家庭が 10.0%、ふたり親世帯が 6.8%となっています。

【世帯収入水準】

- “良い人”は非生活困難世帯が 69.8%となっているのに対し、生活困難世帯は 80.0%と多くなっています。
- “悪い人”は生活困難世帯が 10.0%、非生活困難世帯が 7.3%となっています。

【身体の調子】



(3) こころの調子

問12② あなたの最近のこころの調子を教えてください。

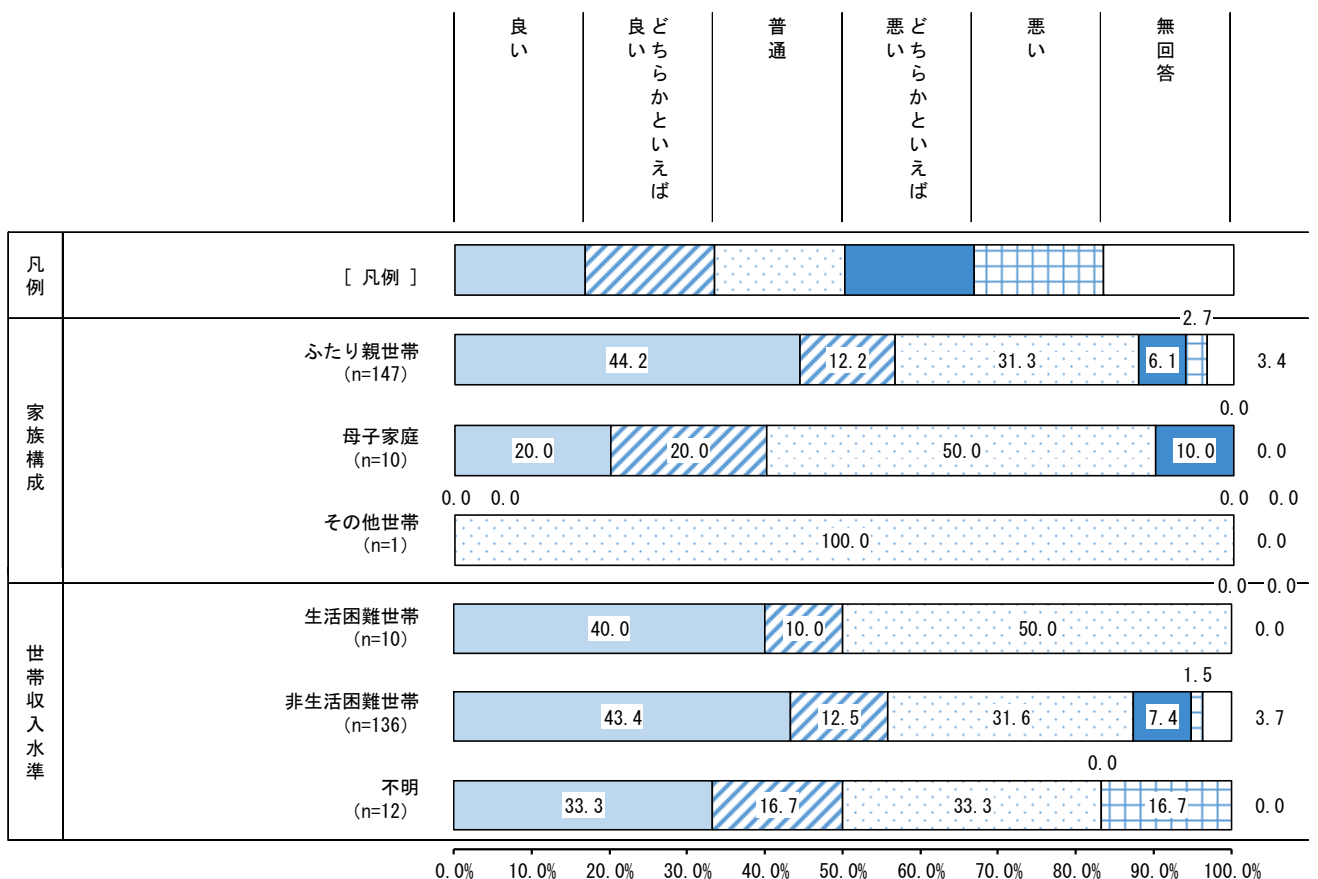
【家族構成】

- こころの調子について、「良い」「どちらかといえば良い」を合わせた“良い人”は母子家庭が40.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は56.4%と多くなっています。
- 「どちらかといえば悪い」「悪い」を合わせた“悪い人”は母子家庭が10.0%、ふたり親世帯が8.8%となっています。

【世帯収入水準】

- “良い人”は生活困難世帯が50.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は55.9%と多くなっています。
- “悪い人”は生活困難世帯が0.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は8.9%と多くなっています。

【こころの調子】



7. 毎月のおこづかい

(1) 毎月のおこづかいの金額

問13 あなたは、毎月、いくらおこづかいをもらっていますか。ときどきもらう場合は、1か月の金額を選んでください。ただし、お年玉はのぞきます。

【全体】

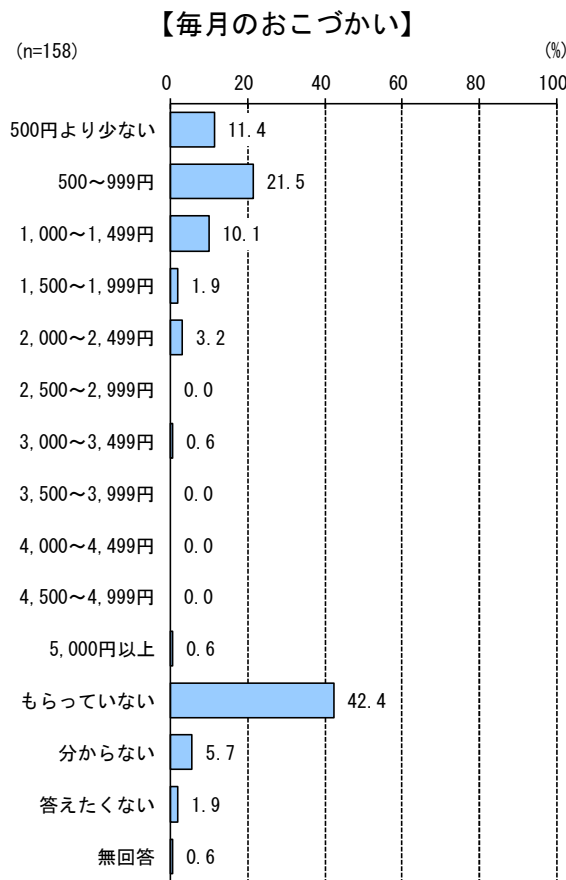
- 毎月のおこづかいについて、「もらっていない」が 42.4%で最も多く、次いで「500～999 円」が 21.5%、「500 円より少ない」が 11.4%となっています。

【家族構成】

- 「もらっていない」はふたり親世帯が 44.2%、母子家庭が 10.0%となっています。

【世帯収入水準】

- 「もらっていない」は生活困難世帯が 30.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 41.9%と多くなっています。



単位：%

		母数 (n)	毎月のおこづかい								
			500円より 少ない	500～ 999円	1,000～ 1,499円	1,500～ 1,999円	2,000～ 2,499円	2,500～ 2,999円	3,000～ 3,499円	3,500～ 3,999円	
全体 (n=158)		158	11.4	21.5	10.1	1.9	3.2	-	0.6	-	
家族 構 成	ふたり親世帯 (n=147)	147	12.2	19.7	10.2	1.4	3.4	-	0.7	-	
	母子家庭 (n=10)	10	-	△ 50.0	10.0	10.0	-	-	-	-	
	父子家庭 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他世帯 (n=1)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
入 世 水 帯 準 収	生活困難世帯 (n=10)	10	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0	-	-	-	
	非生活困難世帯 (n=136)	136	12.5	22.1	8.8	1.5	2.9	-	0.7	-	
	不明 (n=12)	12	-	16.7	△ 25.0	-	-	-	-	-	

単位：%

		母数 (n)	毎月のおこづかい						
			4,000～ 4,499円	4,500～ 4,999円	5,000円 以上	もらって いない	分から ない	答えたく ない	無回答
全体 (n=158)		158	-	-	0.6	42.4	5.7	1.9	0.6
家 族 構 成	ふたり親世帯 (n=147)	147	-	-	-	44.2	6.1	1.4	0.7
	母子家庭 (n=10)	10	-	-	10.0	▼ 10.0	-	10.0	-
	父子家庭 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他世帯 (n=1)	1	-	-	-	△ 100.0	-	-	-
入 世 水 帯 準 収	生活困難世帯 (n=10)	10	-	-	-	▼ 30.0	10.0	-	-
	非生活困難世帯 (n=136)	136	-	-	0.7	41.9	5.9	2.2	0.7
	不明 (n=12)	12	-	-	-	△ 58.3	-	-	-

(2) おこづかいの過不足

問14 毎月のおこづかいは足りていますか。(前の質問で「12. もらっていない」以外を選んだ人)

【全体】

- 毎月のおこづかいは足りているかについて、「十分足りている」が 48.9%で最も多く、次いで「どちらかといえば足りている」が 14.4%、「やや足りない」が 11.1%となっています。
- 「十分たりている」「どちらかといえば足りている」を合わせた“足りている人”は 63.3%となっています。
- 「やや足りない」「まったく足りない」を合わせた“足りない人”は 14.4%となっています。

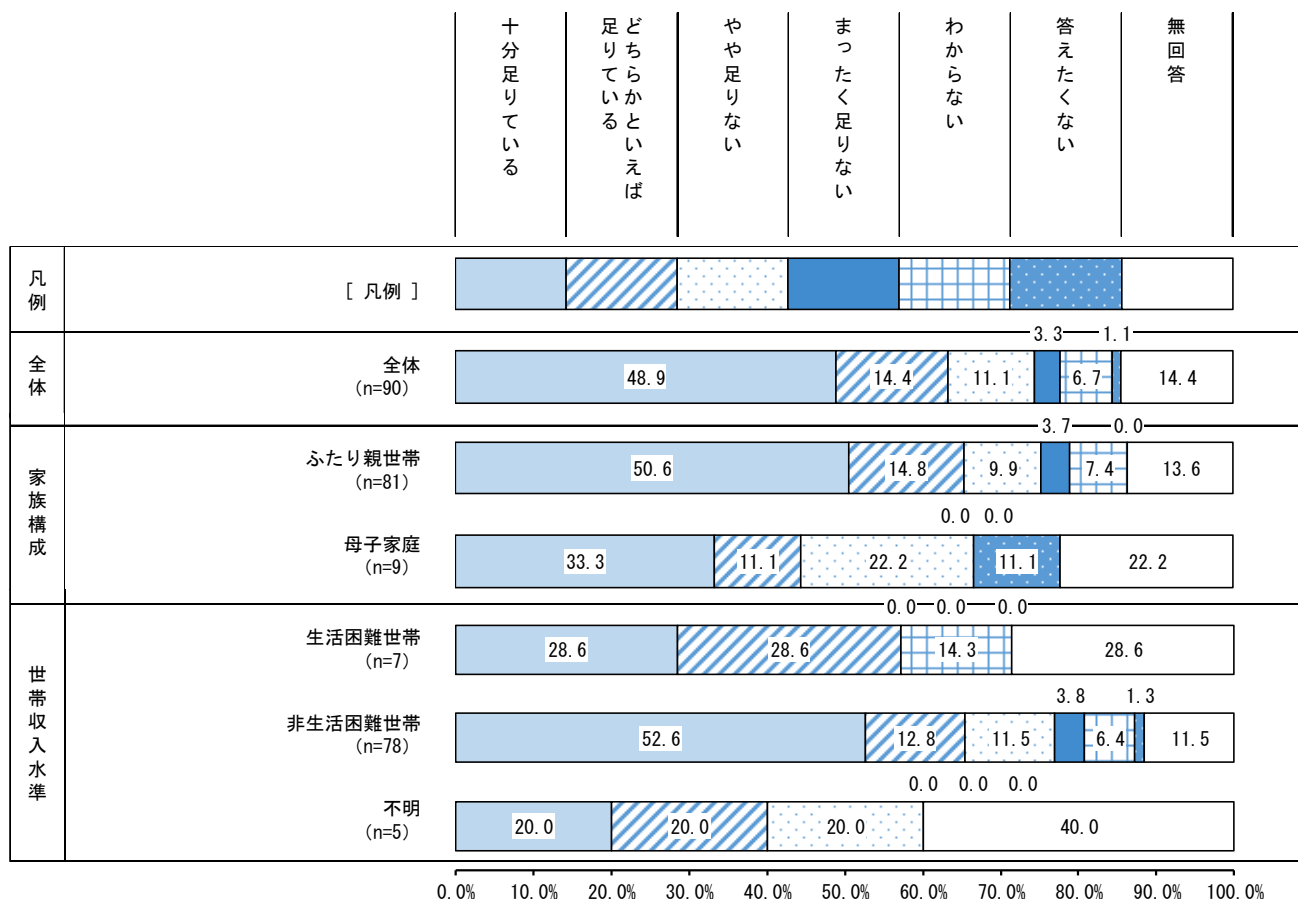
【家族構成】

- “足りている人”は母子家庭が 44.4%となっているのに対し、ふたり親世帯は 65.4%と多くなっています。
- “足りない人”はふたり親世帯が 13.6%となっているのに対し、母子家庭は 22.2%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “足りている人”は生活困難世帯が 57.2%となっているのに対し、非生活困難世帯は 65.4%と多くなっています。
- “足りない人”は生活困難世帯が 0.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 15.3%と多くなっています。

【毎月のおこづかいは足りているか】



※その他世帯について、有効回答がありませんでした。

8. 相談できると思う相手

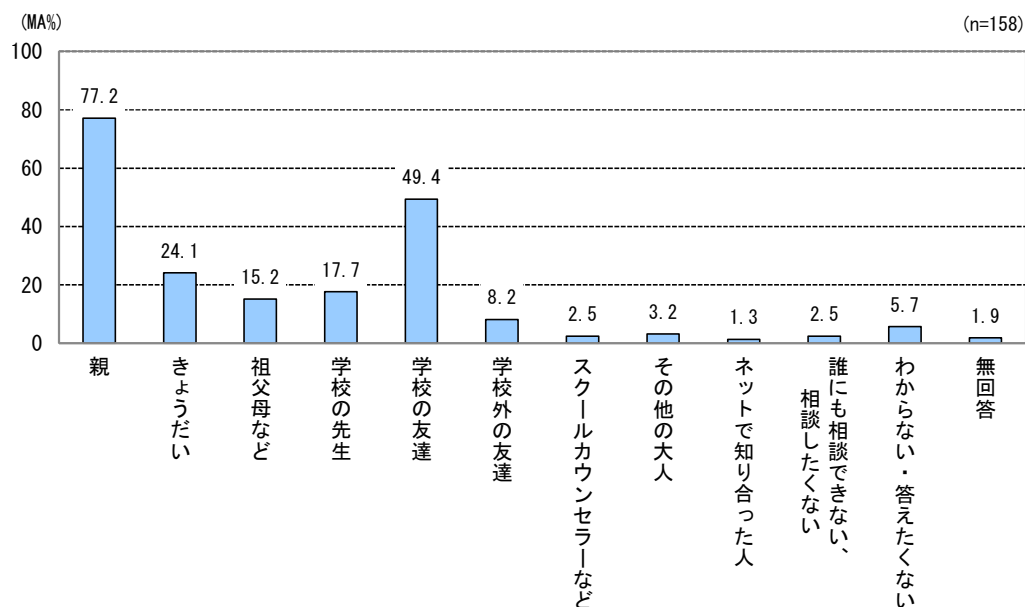
(1) 相談できると思う相手

問16 あなたは困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人は誰ですか。
(MA)

【全体】

- 困っていることや悩みごとを相談できると思う人は誰かについて、「親」が 77.2%で最も多く、次いで「学校の友だち」が 49.4%、「きょうだい」が 24.1%となっています。

【困っていることや悩みごとを相談できると思う人は誰か (MA)】



9. 居場所の利用

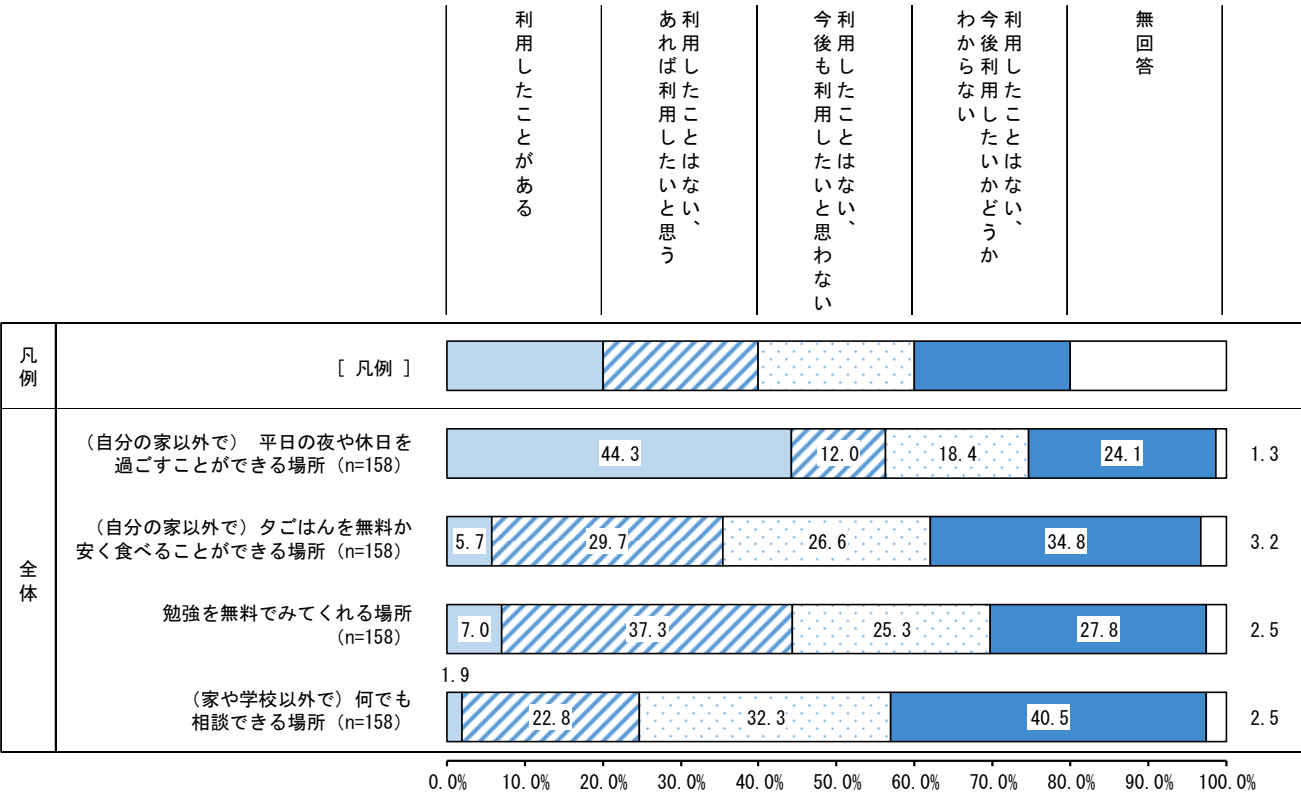
(1) 居場所の利用

問17 あなたは、次の場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。

【全体】

- 居場所について、「利用したことがある」は（自分の家以外で）平日の夜や休日を過ごすことができる場所が 44.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「利用したことはない、あれば利用したいと思う」は勉強を無料でみてくれる場所が 37.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【居場所】



(2) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所の利用

問17a (自分の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所についてお答えください。

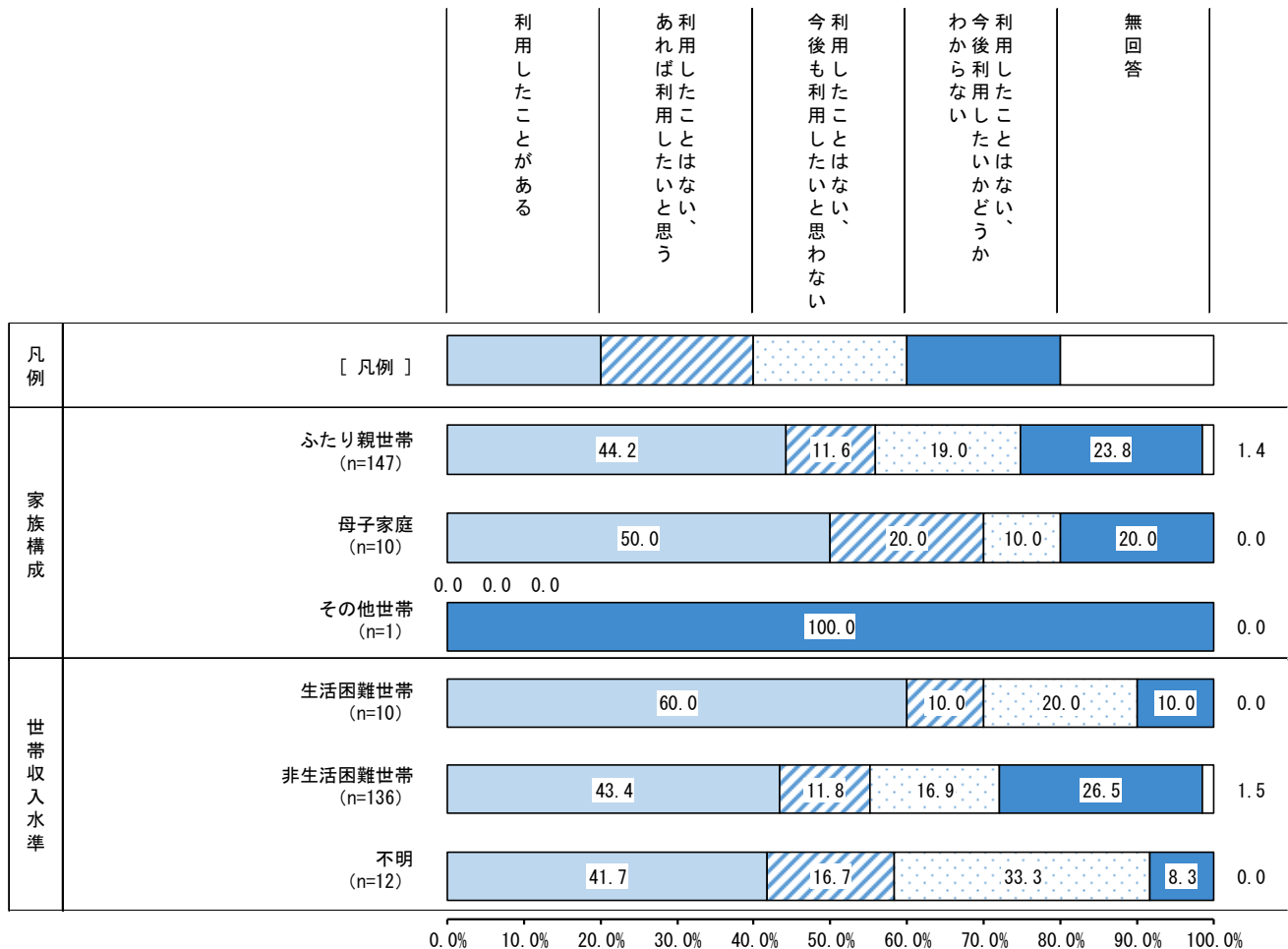
【家族構成】

- (自分の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所について、「利用したことはない、あれば利用したいと思う」はふたり親世帯が 11.6%となっているのに対し、母子家庭は 20.0%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「利用したことがある」は非生活困難世帯が 43.4%となっているのに対し、生活困難世帯は 60.0%と多くなっています。

【(自分の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所】



(3) タごはんを無料か安く食べることができる場所の利用

問17b (自分の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所についてお答えください。

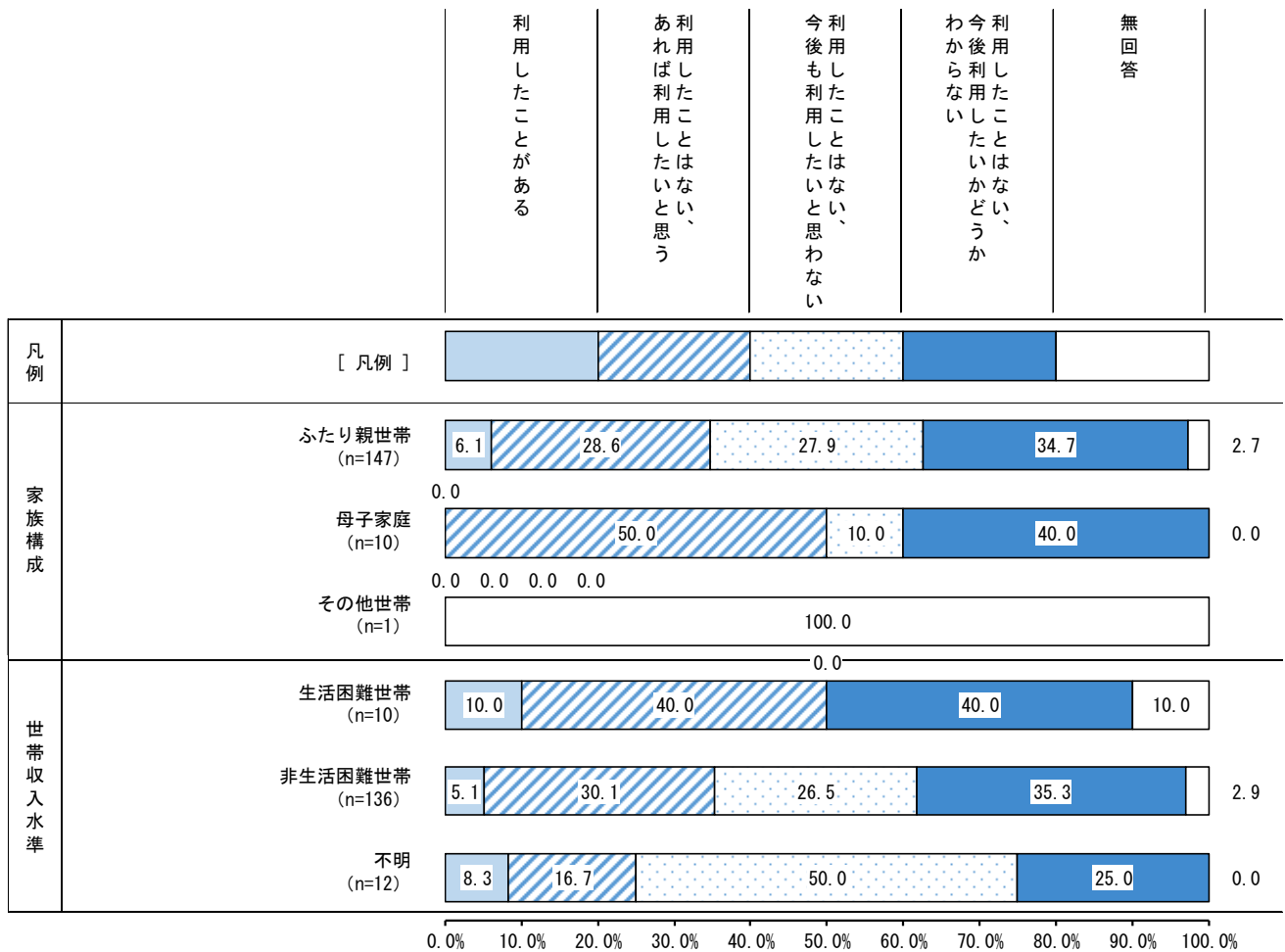
【家族構成】

- (自分の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所について、「利用したことはない、あれば利用したいと思う」はふたり親世帯が 28.6%となっているのに対し、母子家庭は 50.0%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「利用したことはない、あれば利用したいと思う」は非生活困難世帯が 30.1%となっているのに対し、生活困難世帯は 40.0%と多くなっています。

【(自分の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所】



(4) 勉強を無料でみてくれる場所の利用

問17c 勉強を無料でみてくれる場所についてお答えください。

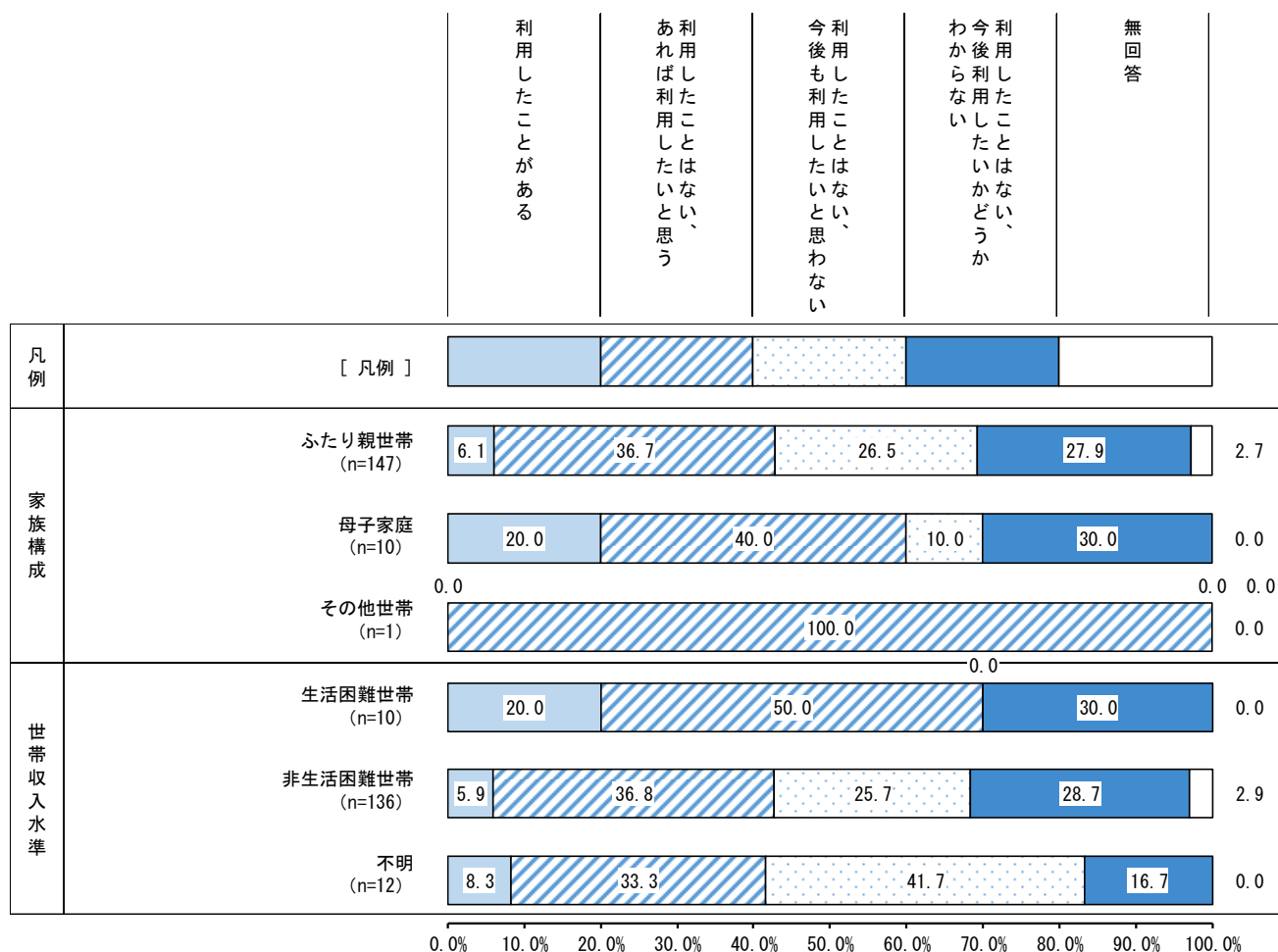
【家族構成】

- 勉強を無料でみてくれる場所について、「利用したことがある」はふたり親世帯が6.1%となっているのに対し、母子家庭は20.0%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「利用したことがある」は非生活困難世帯が 5.9%となっているのに対し、生活困難世帯は 20.0%と多くなっています。
- 「利用したことはない、あれば利用したいと思う」は非生活困難世帯が 36.8%となっているのに対し、生活困難世帯は 50.0%と多くなっています。

【勉強を無料でみてくれる場所】



(5) 何でも相談できる場所の利用

問17d (家や学校以外で) 何でも相談できる場所についてお答えください。

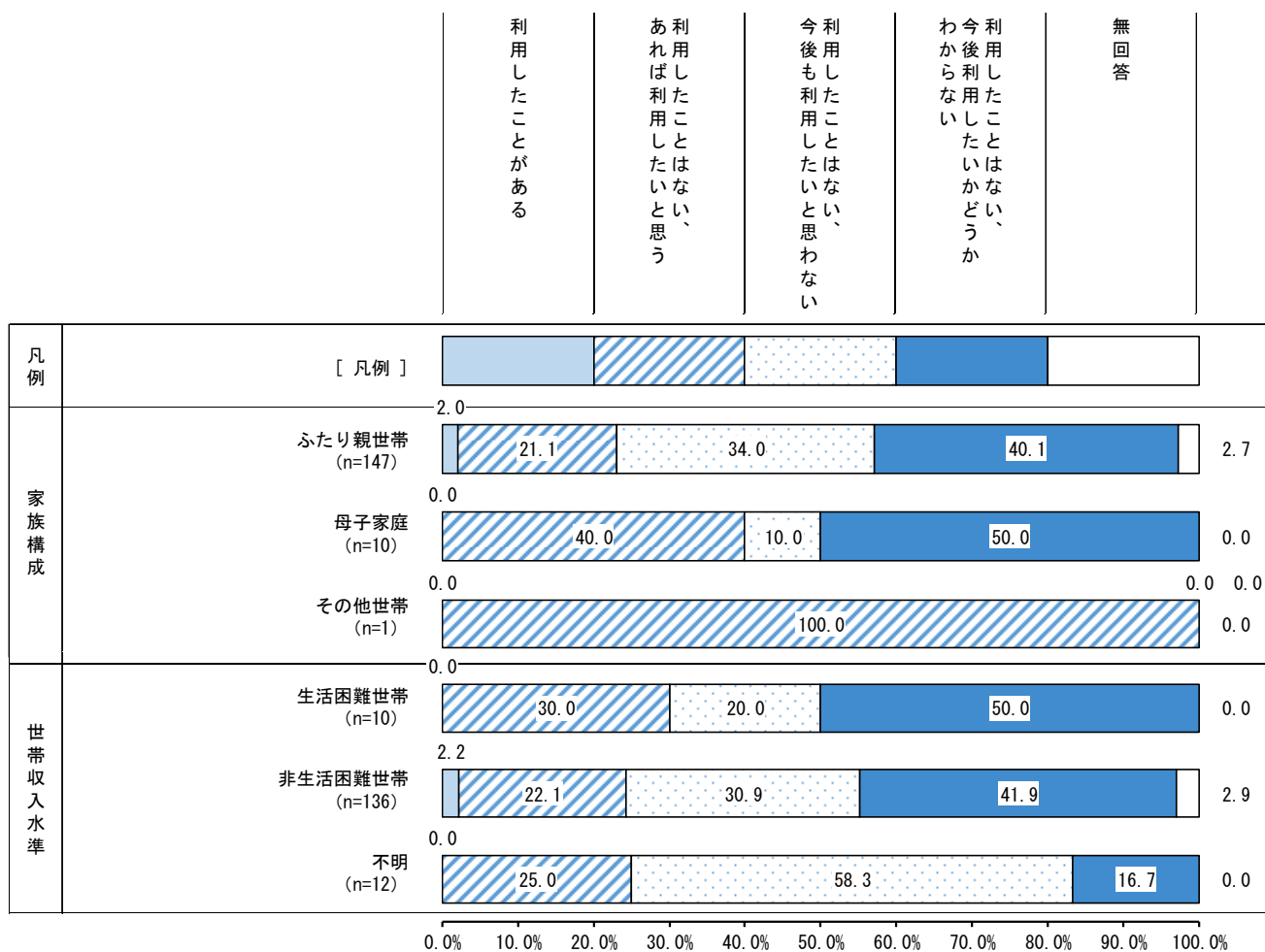
【家族構成】

- (家や学校以外で) 何でも相談できる場所について、「利用したことはない、あれば利用したいと思う」はふたり親世帯が 21.1%となっているのに対し、母子家庭は 40.0%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「利用したことはない、あれば利用したいと思う」は非生活困難世帯が 22.1%となっているのに対し、生活困難世帯は 30.0%と多くなっています。

【(家や学校以外で) 何でも相談できる場所】



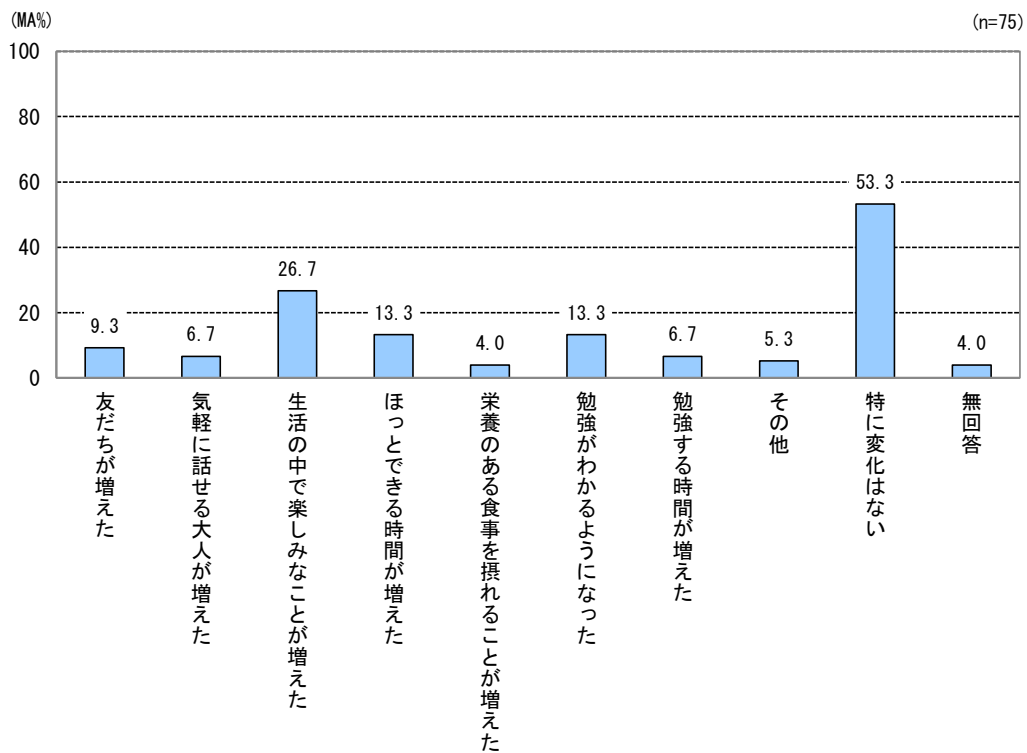
（６）居場所の利用で変化したこと

問18 問17の場所を利用したことで、以下のような変化がありましたか。（MA）（前の質問で「１．利用したことがある」を選んだ人）

【全体】

- 利用して変化したことについて、「特に変化はない」が 53.3%で最も多く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が 26.7%、「ほっとできる時間が増えた」「勉強がわかるようになった」が 13.3%となっています。

【利用して変化したこと（MA）】



10. 子どもの心理的な状態

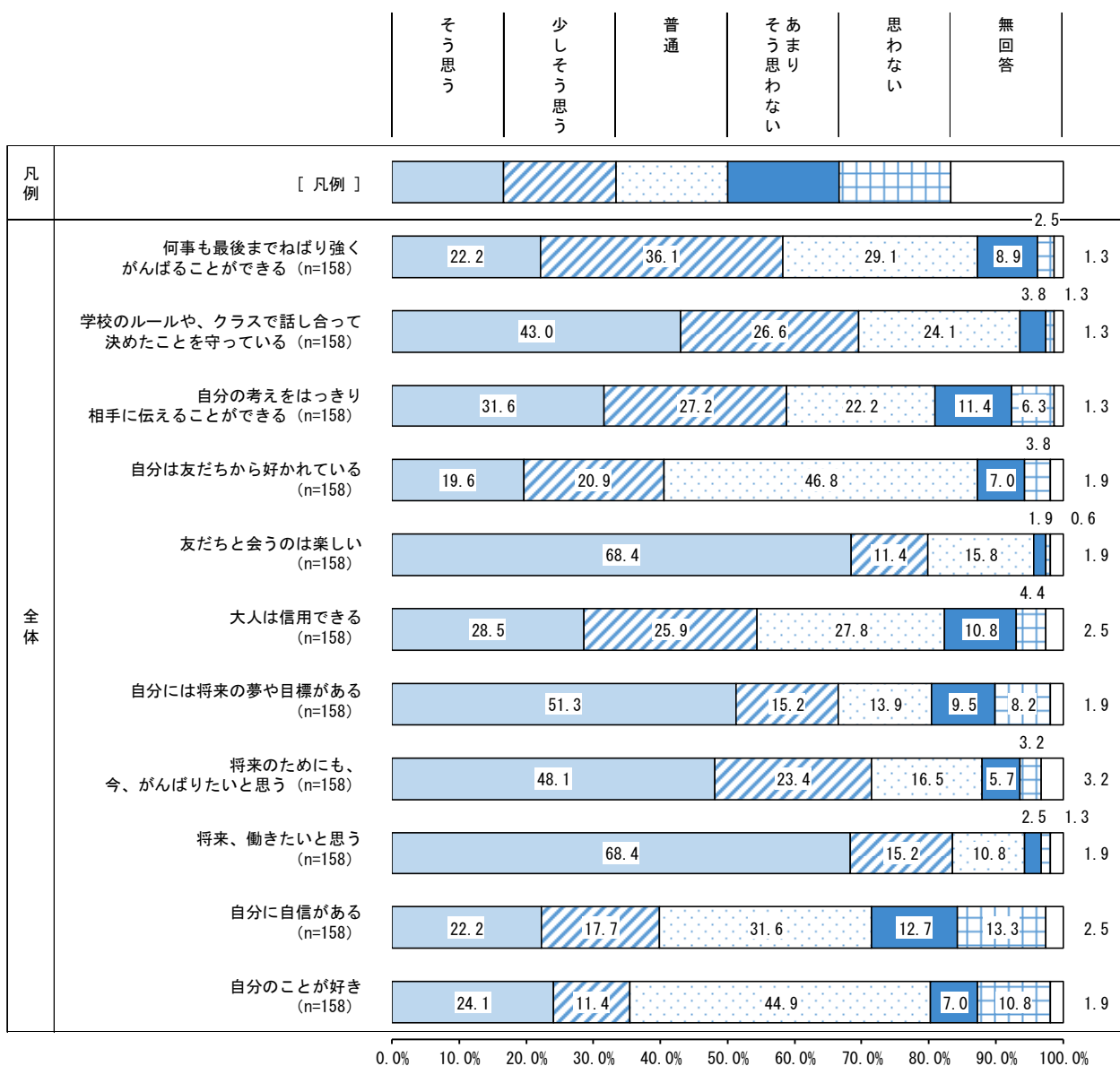
(1) 自分自身の考え

問19 あなたはふだん、次の質問について、どのように考えていますか。

【全体】

- 自分自身の考えについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は将来、働きたいと思うが83.6%、友だちと会うのは楽しいが79.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”は自分に自信があるが26.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【自分自身の考え】



（２）何事も最後までねばり強くがんばることができるか

問19a 何事も最後までねばり強くがんばることができますか。

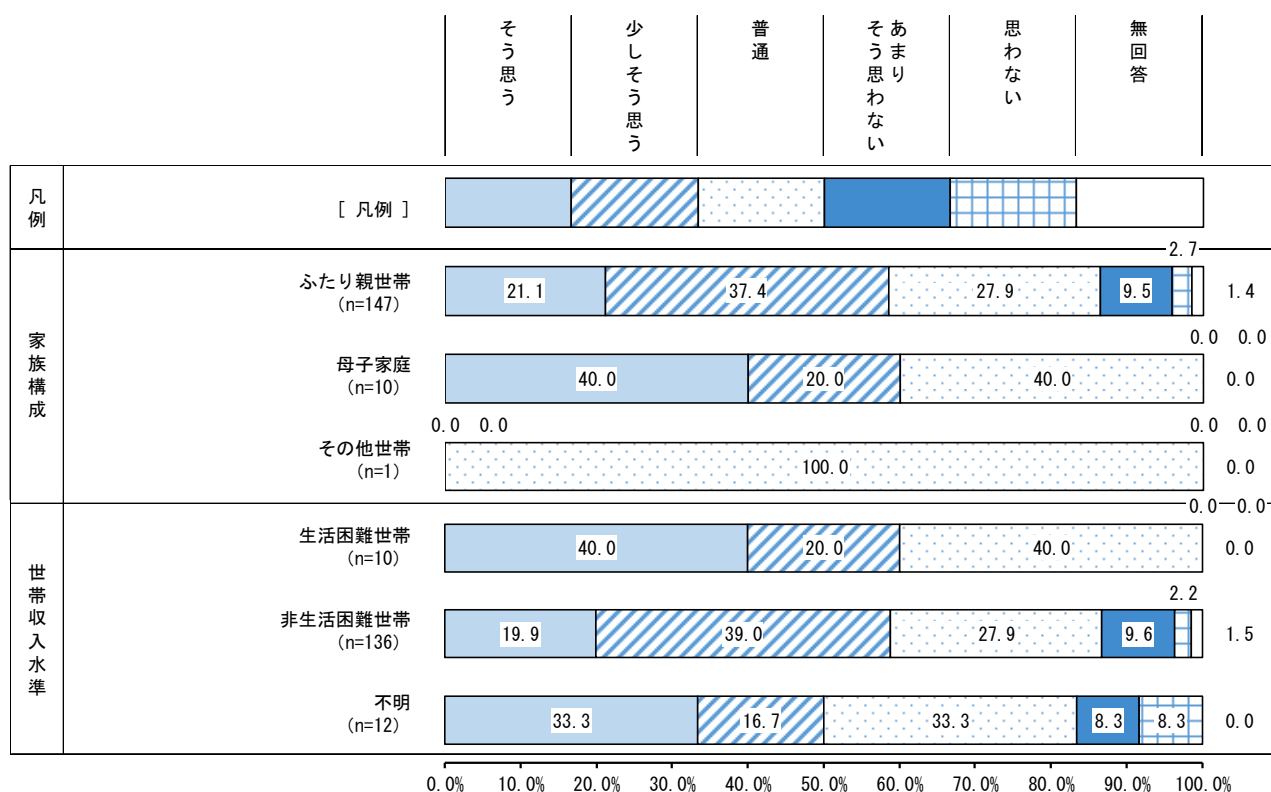
【家族構成】

- 何事も最後までねばり強くがんばることができるかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は母子家庭が60.0%、ふたり親世帯が58.5%となっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”は母子家庭が0.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は12.2%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は生活困難世帯が60.0%、非生活困難世帯が58.9%となっています。
- “そう思わない人”は生活困難世帯が0.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は11.8%と多くなっています。

【何事も最後までねばり強くがんばることができるか】



(3) 学校のルールや、クラスで話し合って決めたことを守っているか

問19b 学校のルールや、クラスで話し合って決めたことを守っていますか。

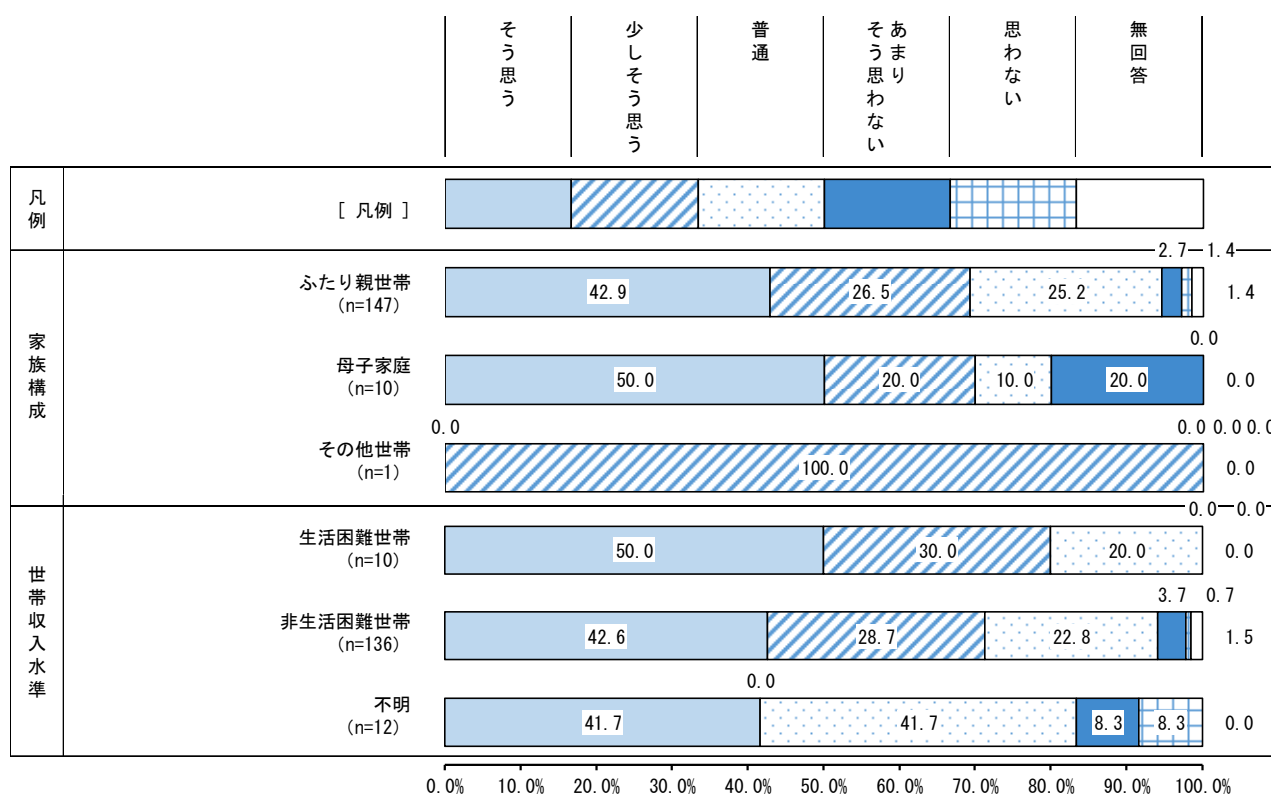
【家族構成】

- 学校のルールや、クラスで話し合って決めたことを守っているかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は母子家庭が70.0%、ふたり親世帯が69.4%となっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”はふたり親世帯が4.1%となっているのに対し、母子家庭は20.0%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は非生活困難世帯が71.3%となっているのに対し、生活困難世帯は80.0%と多くなっています。
- “そう思わない人”は非生活困難世帯が4.4%、生活困難世帯が0.0%となっています。

【学校のルールや、クラスで話し合って決めたことを守っているか】



(4) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができるか

問19c 自分の考えをはっきり相手に伝えることができますか。

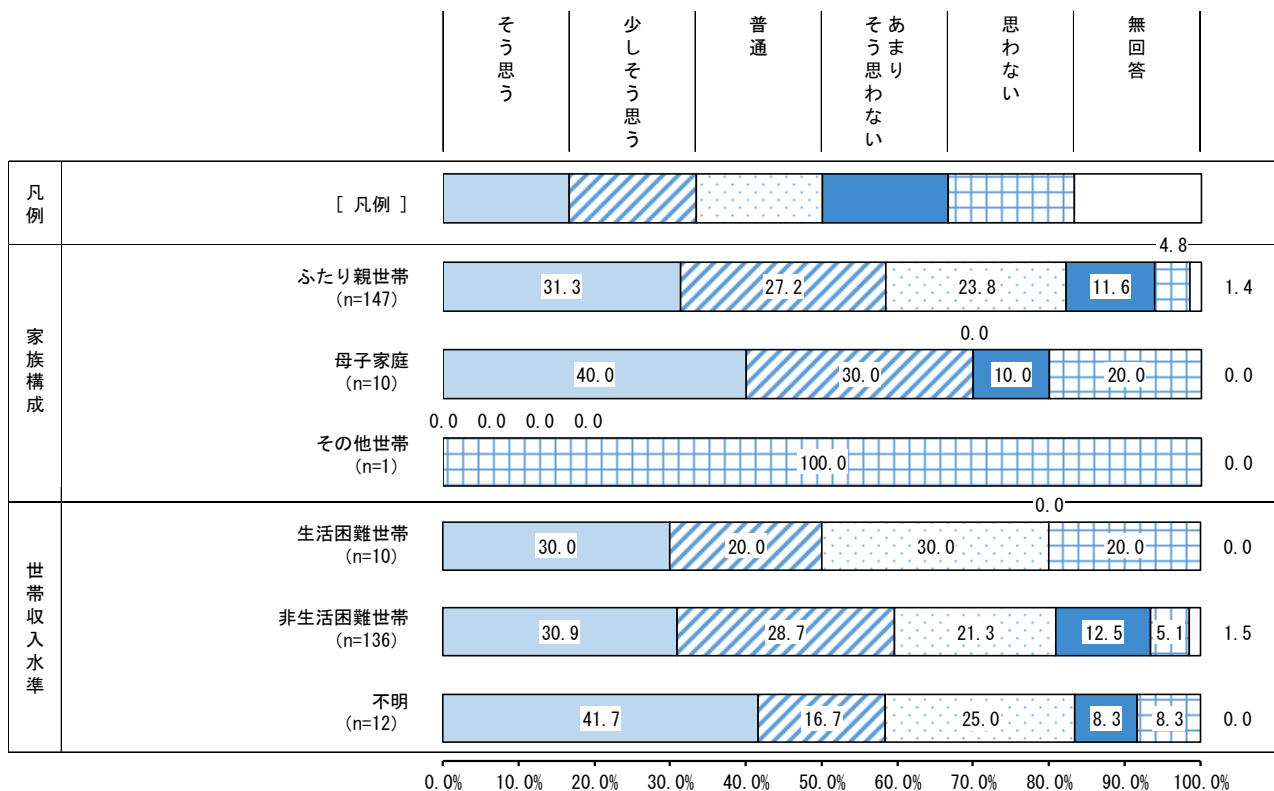
【家族構成】

- 自分の考えをはっきり相手に伝えることができるかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”はふたり親世帯が 58.5%となっているのに対し、母子家庭は 70.0%と多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”はふたり親世帯が 16.4%となっているのに対し、母子家庭は 30.0%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は生活困難世帯が 50.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 59.6%と多くなっています。
- “そう思わない人”は生活困難世帯が 20.0%、非生活困難世帯が 17.6%となっています。

【自分の考えをはっきり相手に伝えることができるか】



(5) 自分は友だちから好かれているか

問19d 自分は友だちから好かれていますか。

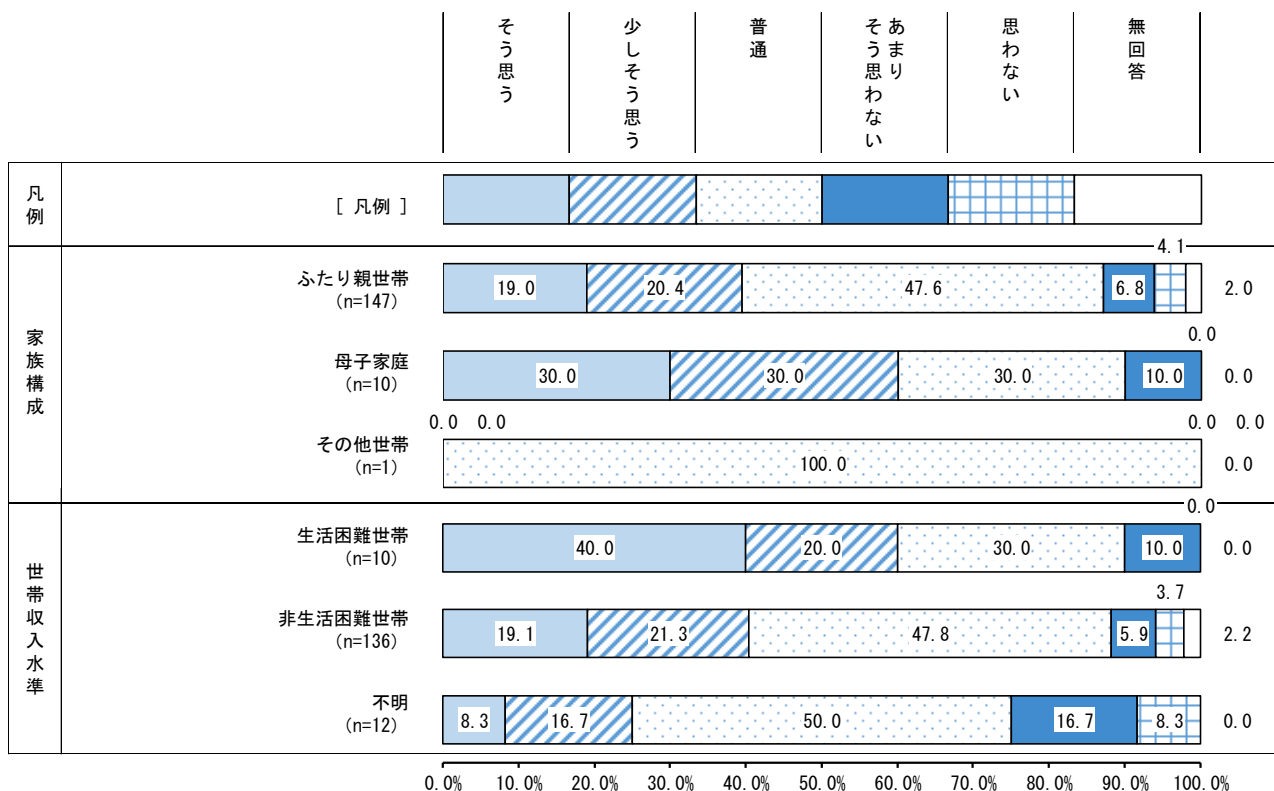
【家族構成】

- 自分は友だちから好かれているかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”はふたり親世帯が 39.4%となっているのに対し、母子家庭は 60.0%と多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”はふたり親世帯が 10.9%、母子家庭が 10.0%となっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は非生活困難世帯が 40.4%となっているのに対し、生活困難世帯は 60.0%と多くなっています。
- “そう思わない人”は生活困難世帯が 10.0%、非生活困難世帯が 9.6%となっています。

【自分は友だちから好かれているか】



（６）友だちと会うのは楽しいか

問19e 友だちと会うのは楽しいですか。

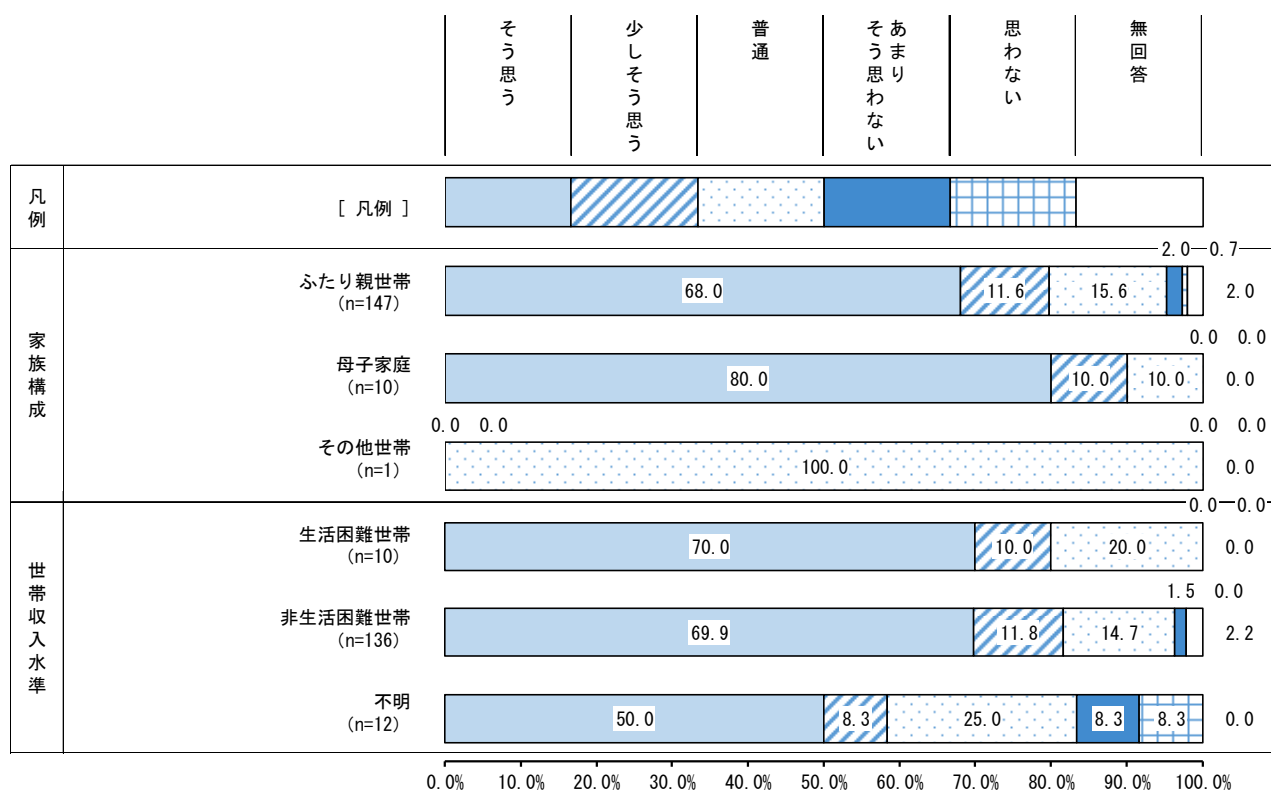
【家族構成】

- 友だちと会うのは楽しいかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”はふたり親世帯が 79.6%となっているのに対し、母子家庭は 90.0%と多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”はふたり親世帯が 2.7%、母子家庭が 0.0%となっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は非生活困難世帯が 81.7%、生活困難世帯が 80.0%となっています。
- “そう思わない人”は非生活困難世帯が 1.5%、生活困難世帯が 0.0%となっています。

【友だちと会うのは楽しいか】



(7) 大人は信用できるか

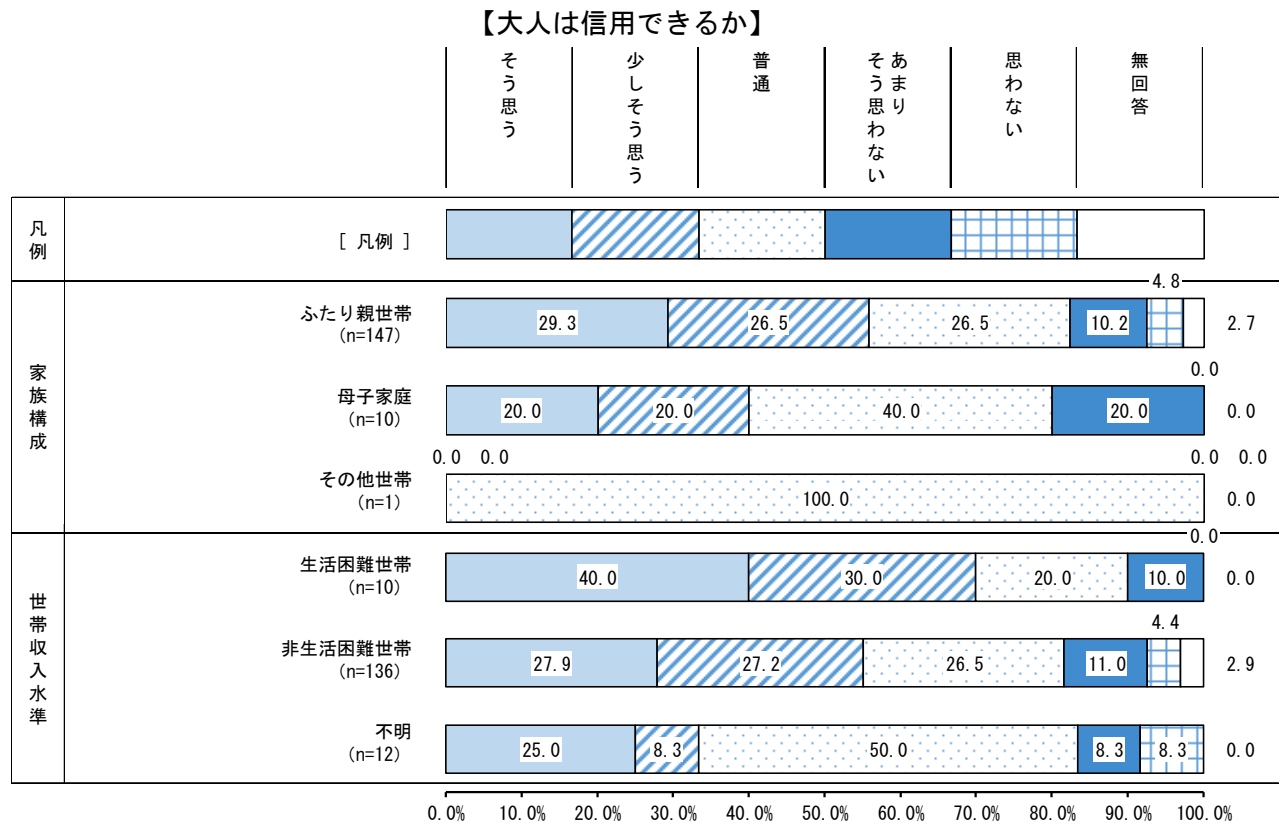
問19f 大人は信用できますか。

【家族構成】

- 大人は信用できるかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は母子家庭が40.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は55.8%と多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”は母子家庭が20.0%、ふたり親世帯が15.0%となっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は非生活困難世帯が55.1%となっているのに対し、生活困難世帯は70.0%と多くなっています。
- “そう思わない人”は生活困難世帯が10.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は15.4%と多くなっています。



（８）自分には将来の夢や目標があるか

問19g 自分には将来の夢や目標がありますか。

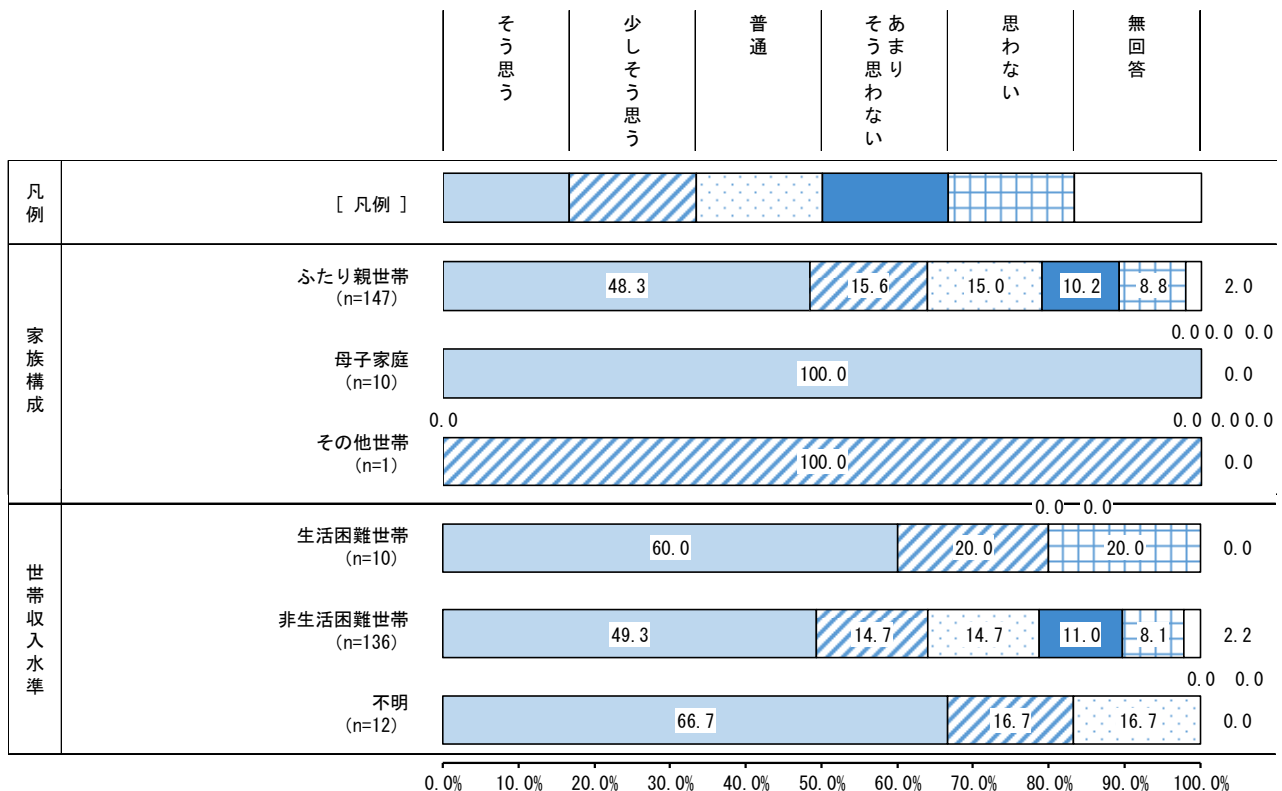
【家族構成】

- 自分には将来の夢や目標があるかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”はふたり親世帯が63.9%となっているのに対し、母子家庭は100.0%と多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”は母子家庭が0.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は19.0%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は非生活困難世帯が64.0%となっているのに対し、生活困難世帯は80.0%と多くなっています。
- “そう思わない人”は生活困難世帯が20.0%、非生活困難世帯が19.1%となっています。

【自分には将来の夢や目標があるか】



（９）将来のためにも、今、がんばりたいと思うか

問19h 将来のためにも、今、がんばりたいと思いますか。

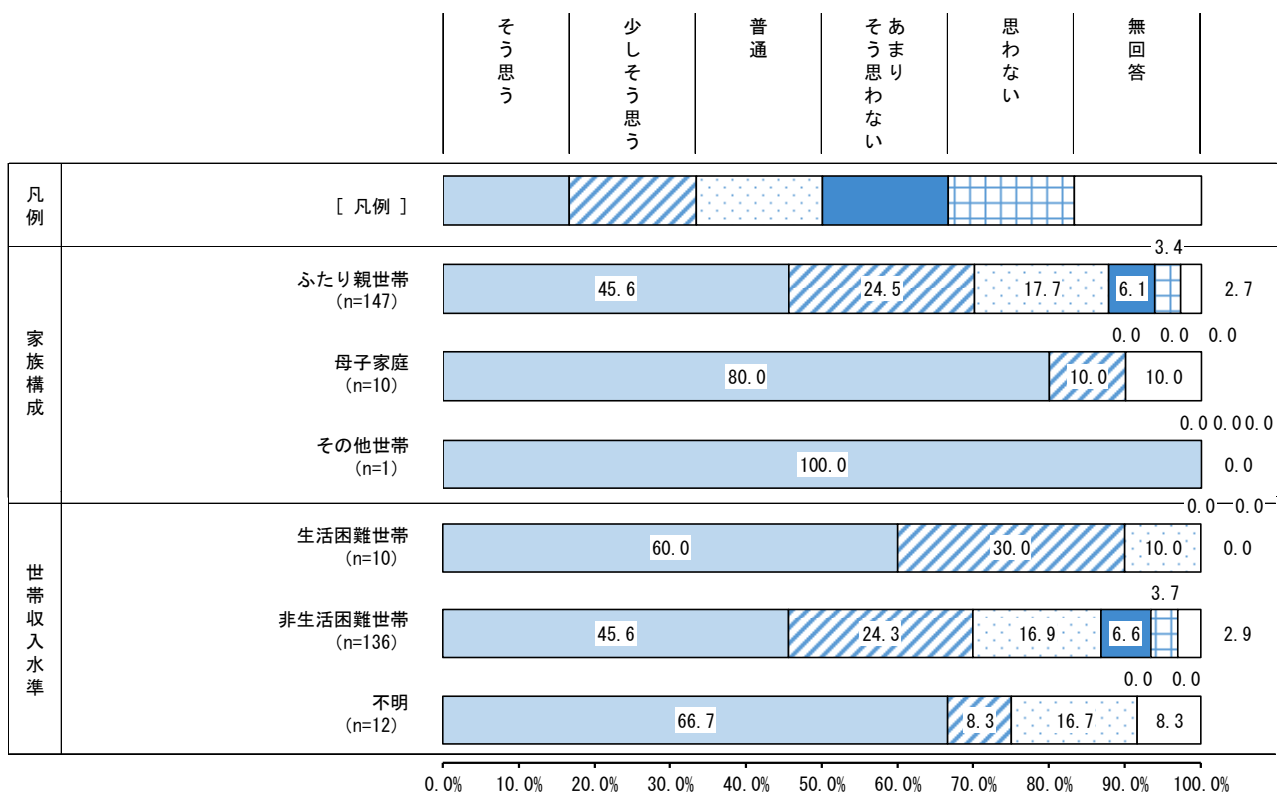
【家族構成】

- 将来のためにも、今、がんばりたいと思うかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”はふたり親世帯が 70.1%となっているのに対し、母子家庭は 90.0%と多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”は母子家庭が 0.0%となっているのに対し、ふたり親世帯が 9.5%となっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は非生活困難世帯が 69.9%となっているのに対し、生活困難世帯は 90.0%と多くなっています。
- “そう思わない人”は生活困難世帯が 0.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 10.3%と多くなっています。

【将来のためにも、今、がんばりたいと思うか】



(10) 将来、働きたいと思うか

問19i 将来、働きたいと思いますか。

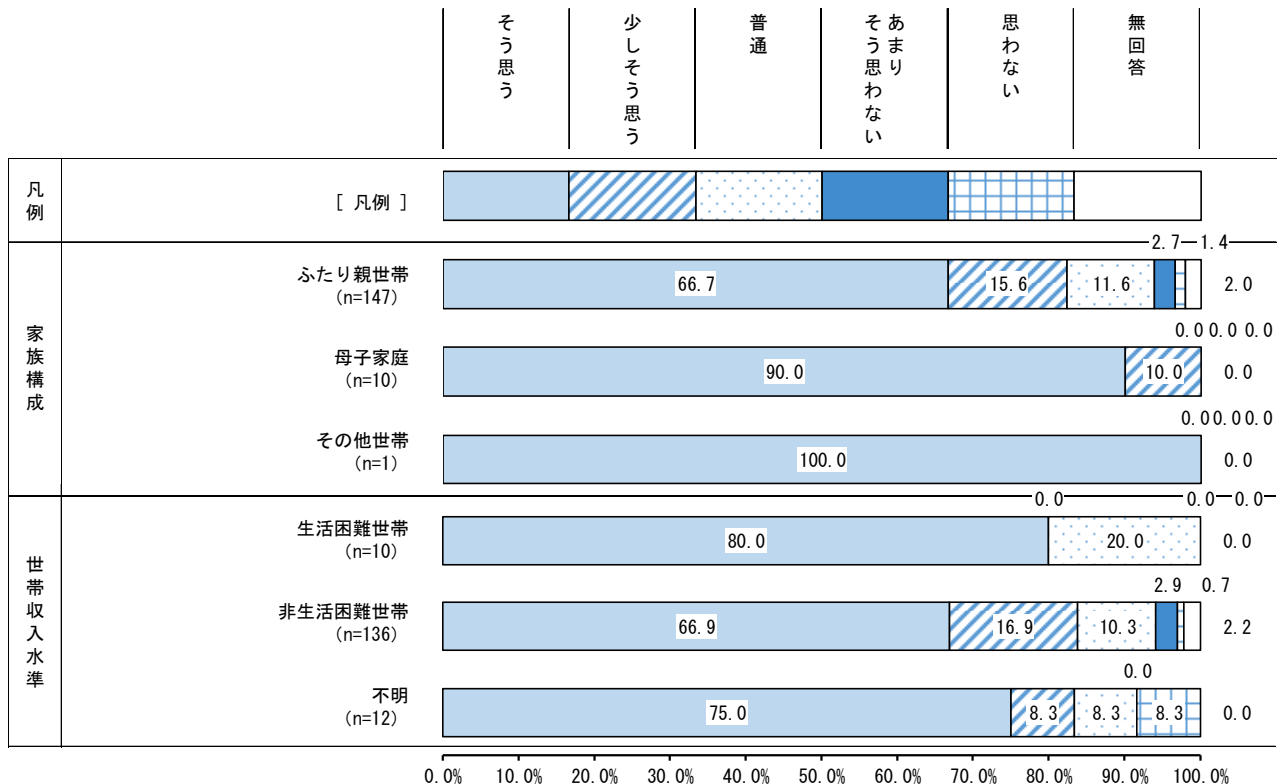
【家族構成】

- 将来、働きたいと思うか「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”はふたり親世帯が82.3%となっているのに対し、母子家庭は100.0%と多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”は母子家庭が0.0%、ふたり親世帯が4.1%となっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は非生活困難世帯が83.8%、生活困難世帯が80.0%となっています。
- “そう思わない人”は生活困難世帯が0.0%、非生活困難世帯が3.6%となっています。

【将来、働きたいと思うか】



(11) 自分に自信があるか

問19j 自分に自信がありますか。

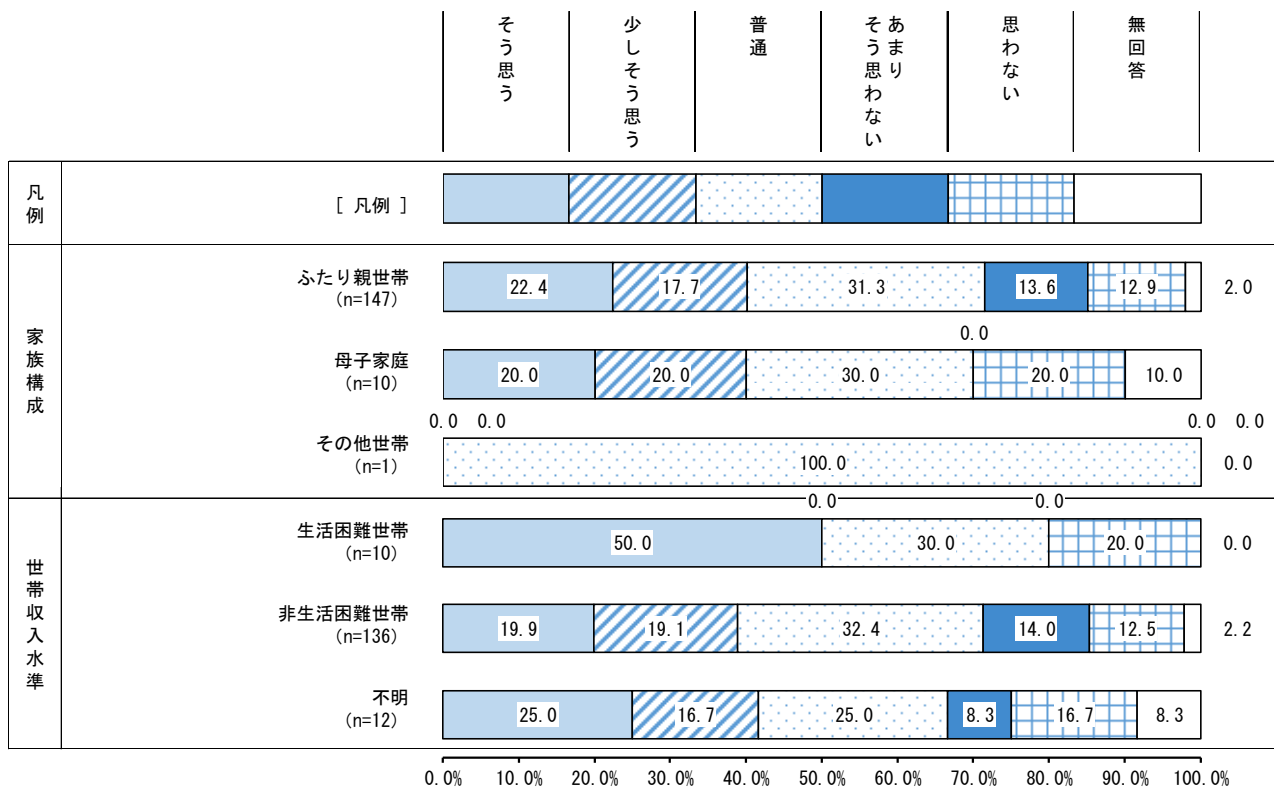
【家族構成】

- 自分に自信があるかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”はふたり親世帯が 40.1%、母子家庭が 40.0%となっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”は母子家庭が 20.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は 26.5%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は非生活困難世帯が 39.0%となっているのに対し、生活困難世帯は 50.0%と多くなっています。
- “そう思わない人”は生活困難世帯が 20.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 26.5%と多くなっています。

【自分に自信があるか】



(12) 自分のことが好きか

問19k 自分のことが好きですか。

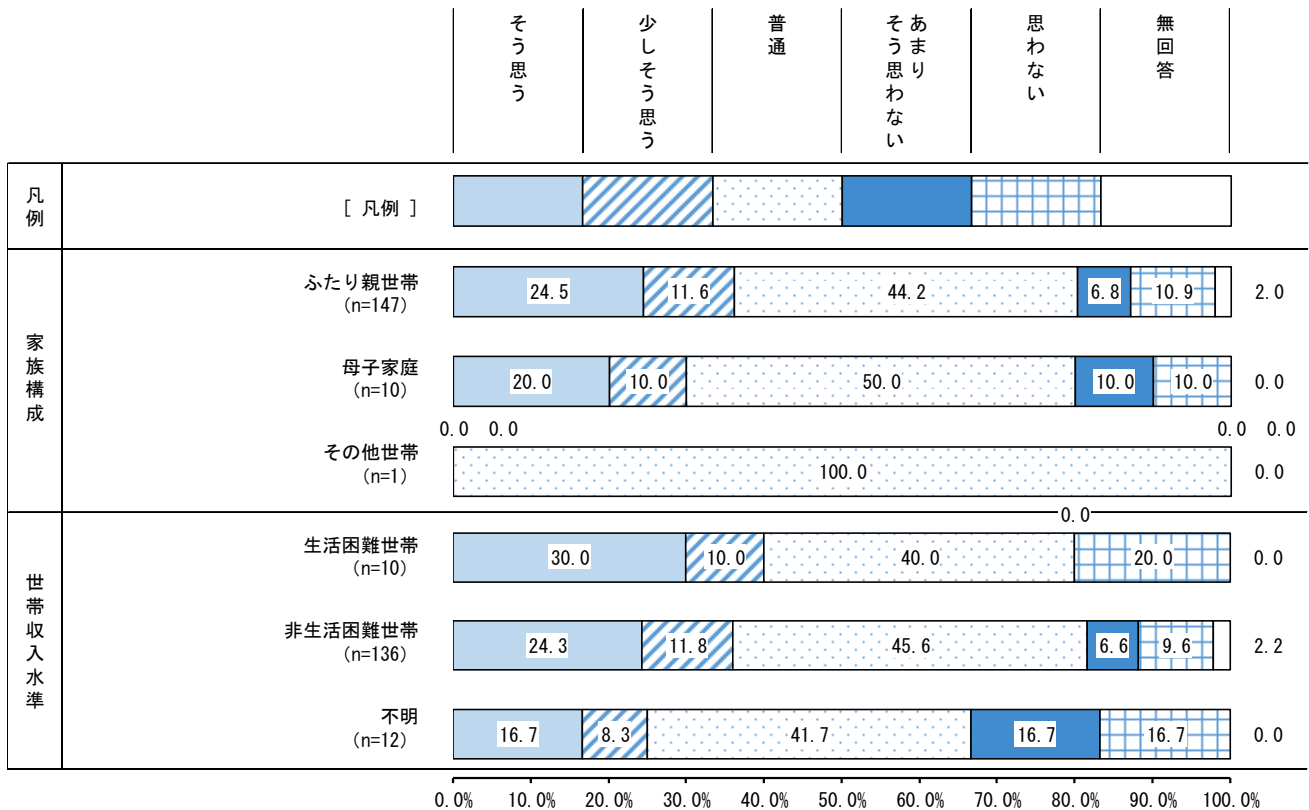
【家族構成】

- 自分のことが好きかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は母子家庭が30.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は36.1%と多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”は母子家庭が20.0%、ふたり親世帯が17.7%となっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は生活困難世帯が40.0%、非生活困難世帯が36.1%となっています。
- “そう思わない人”は生活困難世帯が20.0%、非生活困難世帯が16.2%となっています。

【自分のことが好きか】



Ⅲ 小学生（アンケート結果からの分析）

1. 学習状況

学校の授業以外での勉強方法において、自主学習が最も多く、また、塾や家族からの教育支援もみられます。しかし、休日では勉強時間が著しく減少します。特に母子家庭や生活困難世帯では、平日、休日ともに、30分以下が多いことがうかがえます。

成績の自己評価においては、学業成績に自信のある児童は少なく、母子家庭や生活困難世帯では成績下位の評価が多くなっていますが、授業の理解度において、わからない人（「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた割合）は家庭環境等による差異が大きくありません。

2. 進学希望

希望する進学先について、「まだわからない」が19.0%、無回答が34.2%と半数以上を占めていますが、小学生のうちから「高校卒業以降も進学したい」と考える子どもは全体の41.9%います。しかし、生活困難世帯の子どもではその割合が30.0%であり、非生活困難世帯の44.8%と比べて少なくなっています。

さらに、進学したい理由として具体的な目標や理由を持って進学を希望する子どもが多い一方で、一部の子どもは特に理由がないまま進学を希望している現状も明らかとなっています。

3. 部活動等への参加状況

地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動への参加状況について、「参加している」が26.6%と少なくなっており、生活困難世帯と比べて非生活困難世帯は少なくなっています。

参加していない理由として、「入りたいクラブ・部活動がないから」が51.5%で、「塾や習い事が忙しいから」が27.9%となっています。

4. 日常的な生活の状況

食事の頻度では、生活困難世帯において、朝食を「週1～2日、ほとんど食べない」という人が10.0%となっています。

5. 心身の健康状態

こころの健康状態が悪い人（「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合わせた割合）が身体の健康状態が悪い人よりも多くなっています。母子家庭においては、身体健康状態が「良い」と答えた人がふたり親世帯より少なく、また、生活困難世帯においては、心の健康状態が「良い」と答えた人が非生活困難世帯より少ないことが課題となっています。

6. 毎月のおこづかい

毎月のおこづかいでは、ふたり親世帯で「もらっていない」が多くなっています。一方で、足りない人（「やや足りない」と「まったく足りない」を合わせた割合）は母子家庭で特に多くなっています。

7. 居場所の利用

居場所について、母子家庭、生活困難世帯ともに、平日の夜や休日を過ごすことができる場所、勉強を無料でみてくれる場所の利用がふたり親世帯や非生活困難世帯よりも多くなっています。また、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所については、全体として利用は少ないものの、利用したことはないが、あれば利用したいと思うと回答している人は多くなっています。

一方で、何でも相談できる場所は、母子家庭、生活困難世帯ともに利用意向はあるものの利用はありません。

IV 小学生の保護者

1. 基本属性等

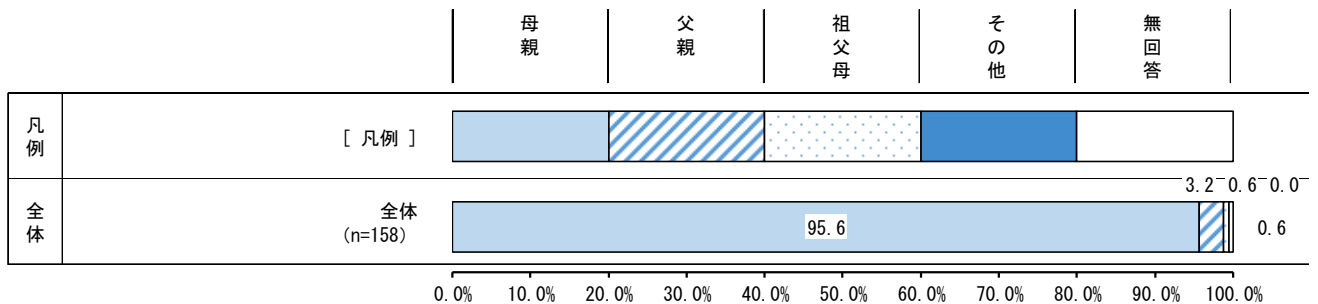
(1) 子どもとの続柄

問1 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。

【全体】

- お子さんとの関係性について、「母親」が 95.6%で最も多く、次いで「父親」が 3.2%、「祖父母」が 0.6%となっています。

【お子さんとの関係性】



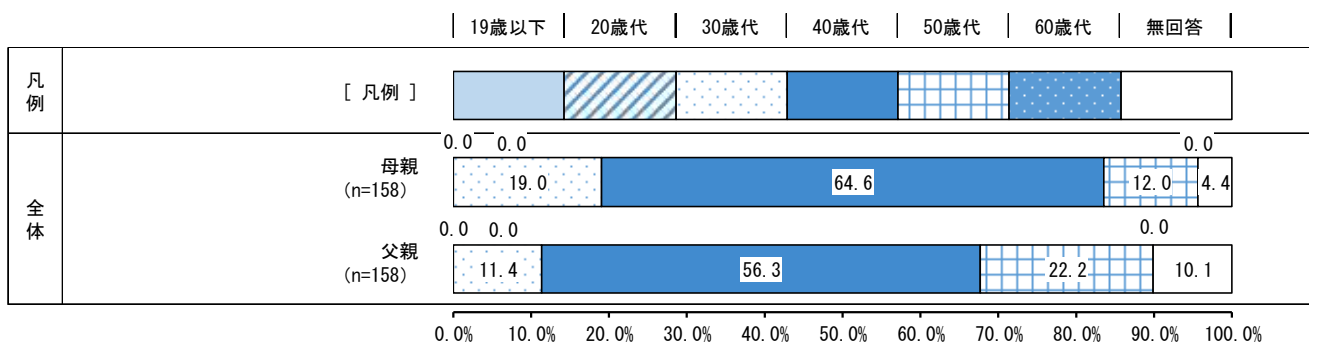
(2) 保護者の年齢

問4 お子さんからみた母親、父親の年齢をお答えください。

【全体】

- 母親の年齢について、「40 歳代」が 64.6%で最も多く、次いで「30 歳代」が 19.0%、「50 歳代」が 12.0%となっています。
- 父親の年齢について、「40 歳代」が 56.3%で最も多く、次いで「50 歳代」が 22.2%、「30 歳代」が 11.4%となっています。

【保護者の年齢】



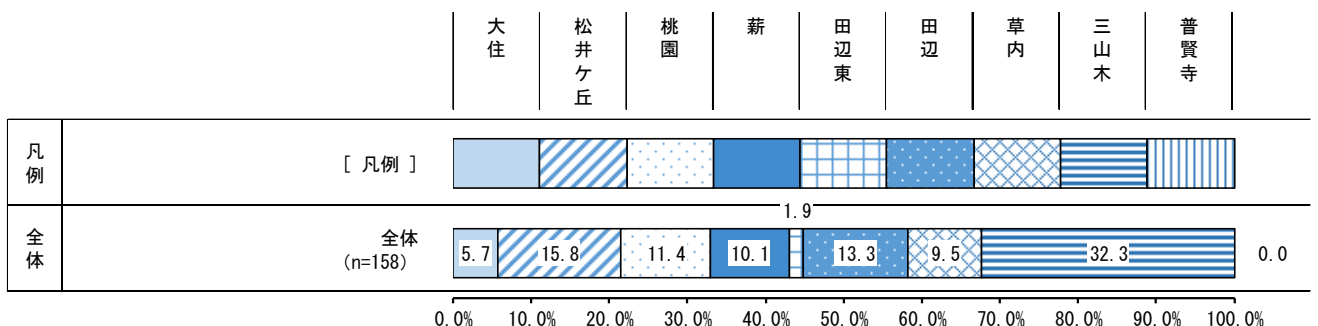
(4) お住いの小学校区

問2 あなたがお住まいの小学校の学区を教えてください。

【全体】

- 小学校区について、「三山木」が 32.3%で最も多く、次いで「松井ヶ丘」が 15.8%、「田辺」が 13.3%となっています。

【小学校区】



（５）家族構成

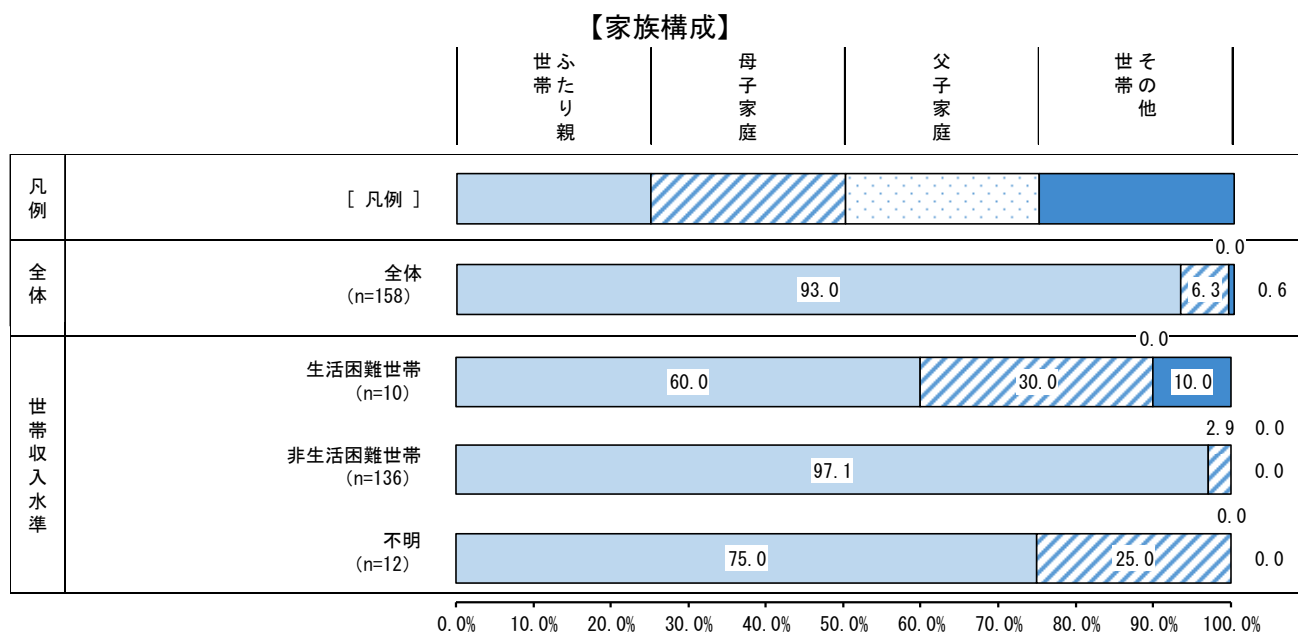
問３ お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。

【全体】

- 家族構成について、「ふたり親世帯」が 93.0%で最も多く、次いで「母子家庭」が 6.3%、「その他世帯」が 0.6%となっています。

【世帯収入水準】

- 「ふたり親世帯」は非生活困難世帯が 97.1%と他の区分に比べて多くなっています。

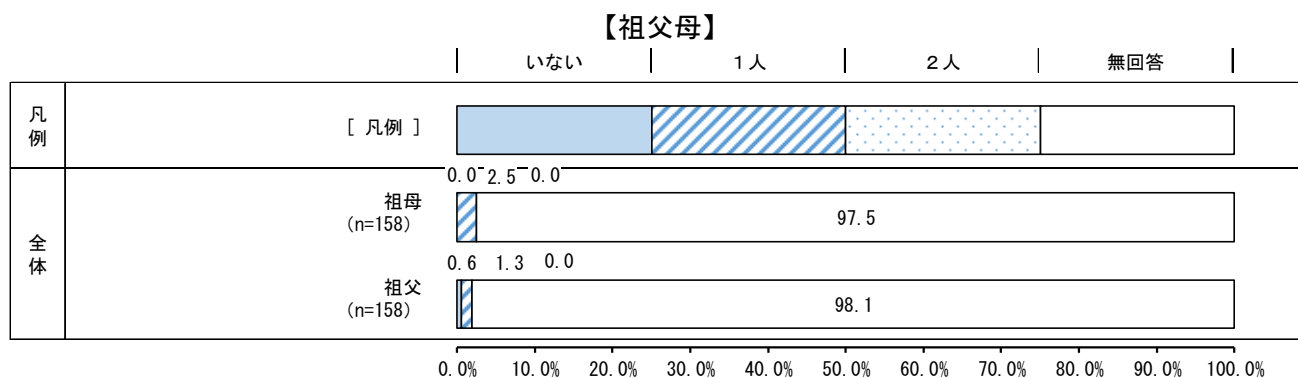


（６）同居家族の人数

問３a お子さんからみた祖父母と同居していますか。

【全体】

- 祖母について、「１人」が 2.5%となっています。
○ 祖父について、「１人」が 1.3%、「いない」が 0.6%となっています。

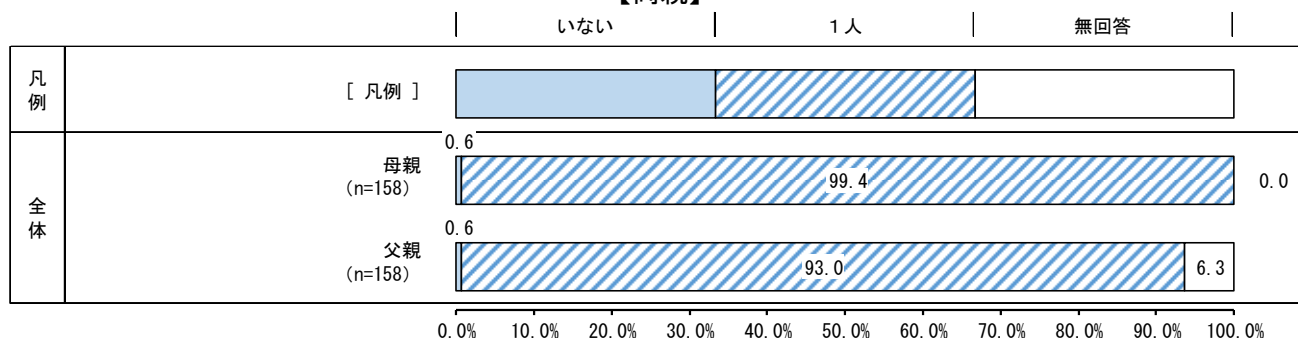


問3b お子さんからみた母親、父親と同居していますか。

【全体】

- 母親について、「1人」が99.4%、「いない」が0.6%となっています。
- 父親について、「1人」が93.0%、「いない」が0.6%となっています。

【両親】

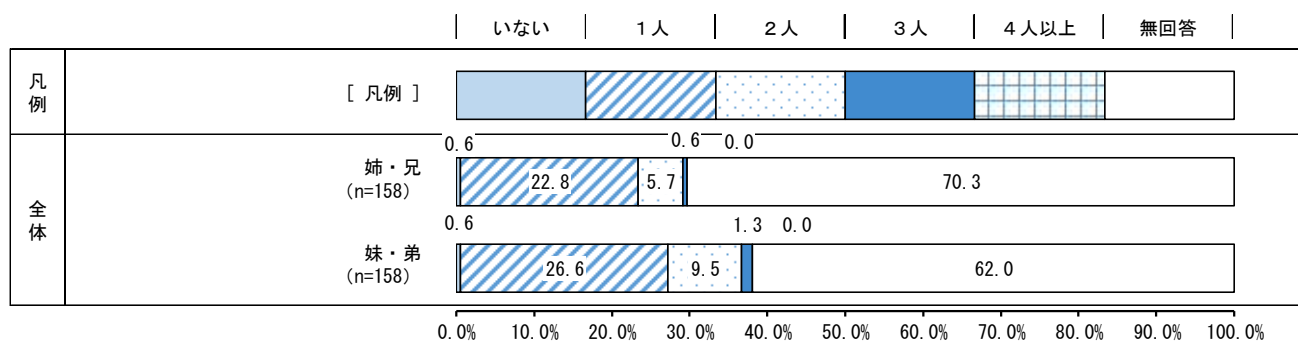


問3c お子さんにきょうだいはいますか。

【全体】

- 姉・兄について、「1人」が22.8%で最も多く、次いで「2人」が5.7%、「いない」「3人」が0.6%となっています。
- 妹・弟について、「1人」が26.6%で最も多く、次いで「2人」が9.5%、「3人」が1.3%となっています。

【きょうだい】

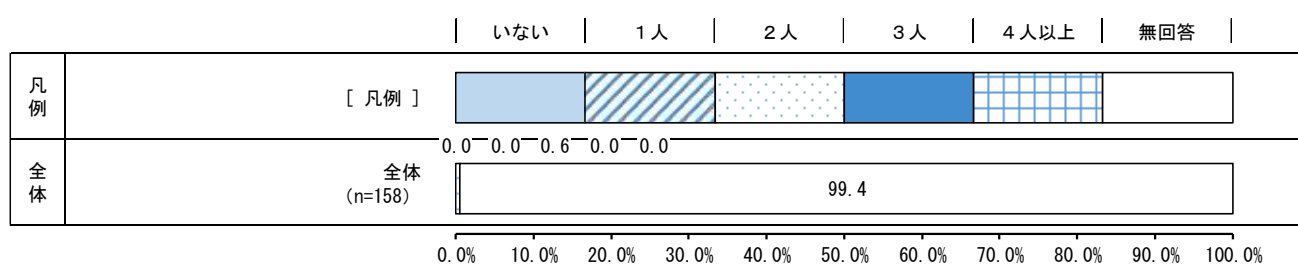


問3d その他、同居しているご家族はいますか。

【全体】

- その他について、「2人」が0.6%となっています。

【その他】

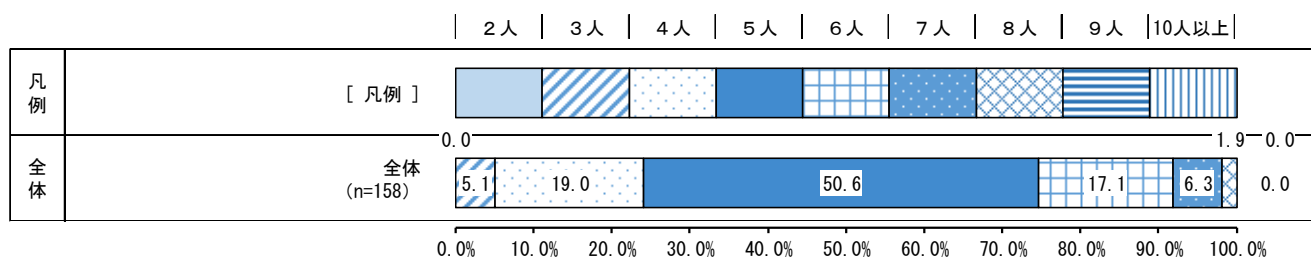


問3e ご家族の合計人数を教えてください。(あなたや対象のお子さんを含む。)

【全体】

- 合計 (あなたや対象のお子さんを含む。) について、「5人」が50.6%で最も多く、次いで「4人」が19.0%、「6人」が17.1%となっています。

【合計 (あなたや対象のお子さんを含む。)]

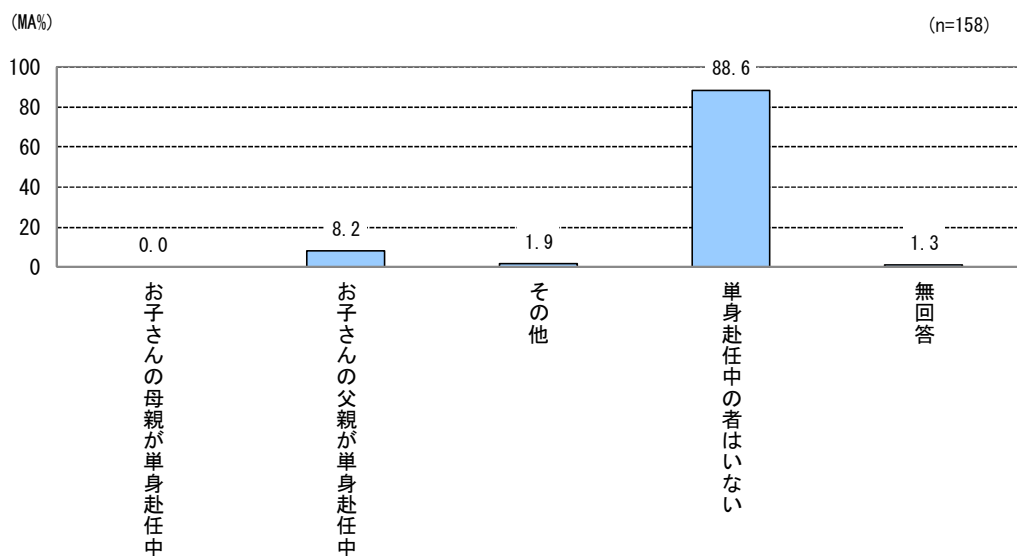


問5 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。(MA)

【全体】

- 現在単身赴任中の方はいるかについて、「単身赴任中の者はいない」が88.6%で最も多く、次いで「お子さんの父親が単身赴任中」が8.2%、「その他」が1.9%となっています。

【現在単身赴任中の方はいるか (MA)】



(7) 婚姻状況

問6 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。

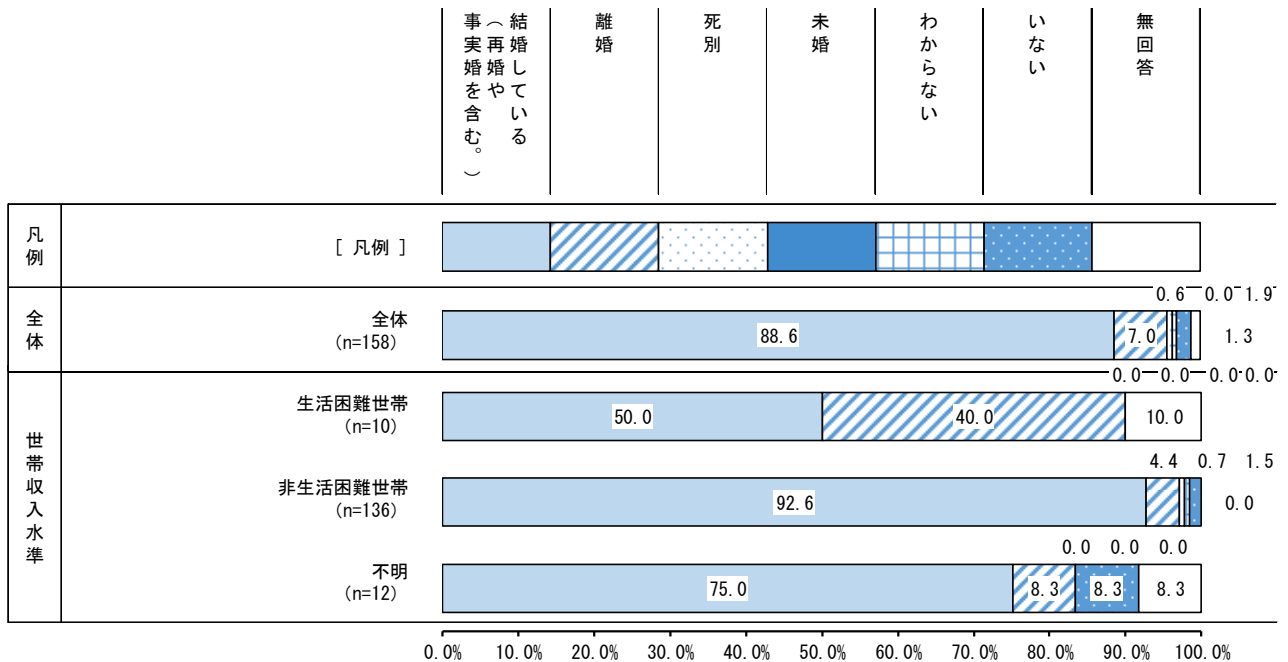
【全体】

- お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況について、「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」が88.6%で最も多く、次いで「離婚」が7.0%、「いない」が1.9%となっています。

【世帯収入水準】

- 「離婚」は非生活困難世帯が4.4%となっているのに対し、生活困難世帯は40.0%と多くなっています。

【お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況】



2. 最終学歴

(1) 母親と父親の最終学歴

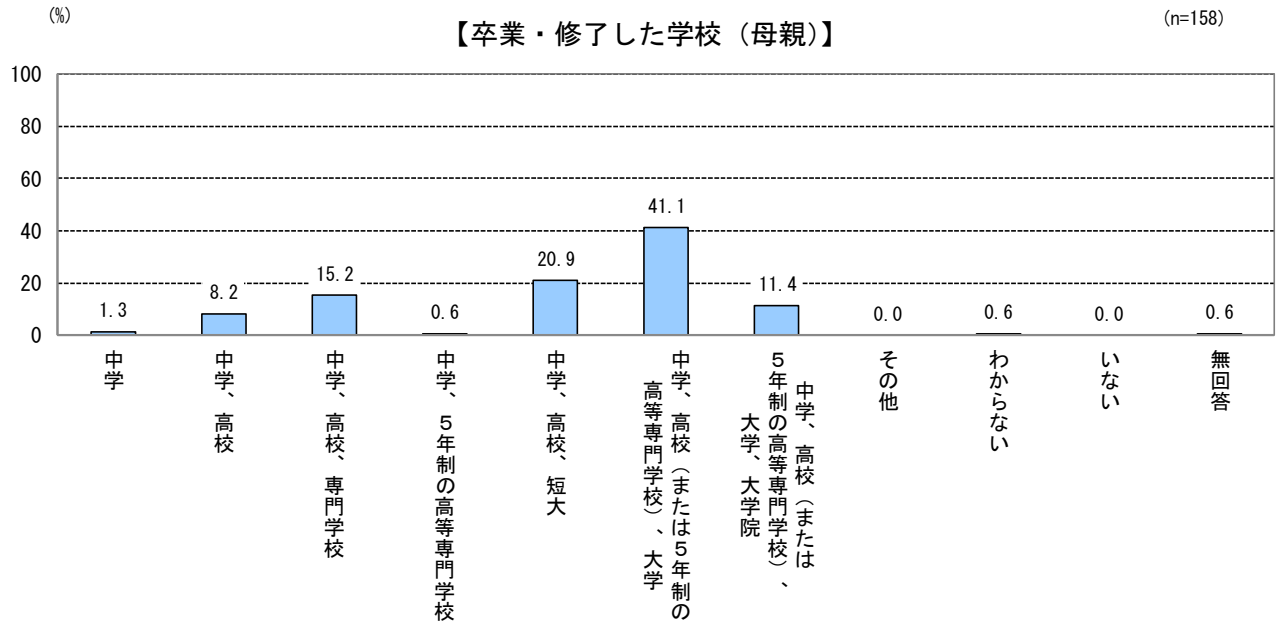
問 8 a 卒業・修了した学校をお答えください。(母親)

【全体】

- 卒業・修了した学校（母親）について、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が 41.1%で最も多く、次いで「中学、高校、短大」が 20.9%、「中学、高校、専門学校」が 15.2%となっています。

【世帯収入水準】

- 「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」は生活困難世帯が 30.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 44.1%と多くなっています。
- 「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院」は非生活困難世帯が 11.0%、生活困難世帯が 10.0%となっています。



単位：％

		母数 (n)	卒業・修了した学校（母親）					
			中学	中学、 高校	中学、 高校、 専門学校	5 中 学、 年制 の高等 専門学校	中学、 高校、 短大	高等 中 専 学、 門 校、 学 校（ま たは 5 年制の
全体 (n=158)		158	1.3	8.2	15.2	0.6	20.9	41.1
入 世 水 帯 準 収	生活困難世帯 (n=10)	10	－	△ 20.0	20.0	－	20.0	▼ 30.0
	非生活困難世帯 (n=136)	136	1.5	8.1	14.0	0.7	20.6	44.1
	不明 (n=12)	12	－	－	25.0	－	25.0	▼ 16.7

単位：%

		母数 (n)	卒業・修了した学校（母親）				
			大学、5年制の 高等専門学校、 大学院	中学、 高校（または 5年制の高等 専門学校） 、	その他	わからない	いない
全体（n=158）		158	11.4	-	0.6	-	0.6
入世 水帯 準収	生活困難世帯（n=10）	10	10.0	-	-	-	-
	非生活困難世帯（n=136）	136	11.0	-	-	-	-
	不明（n=12）	12	16.7	-	8.3	-	8.3

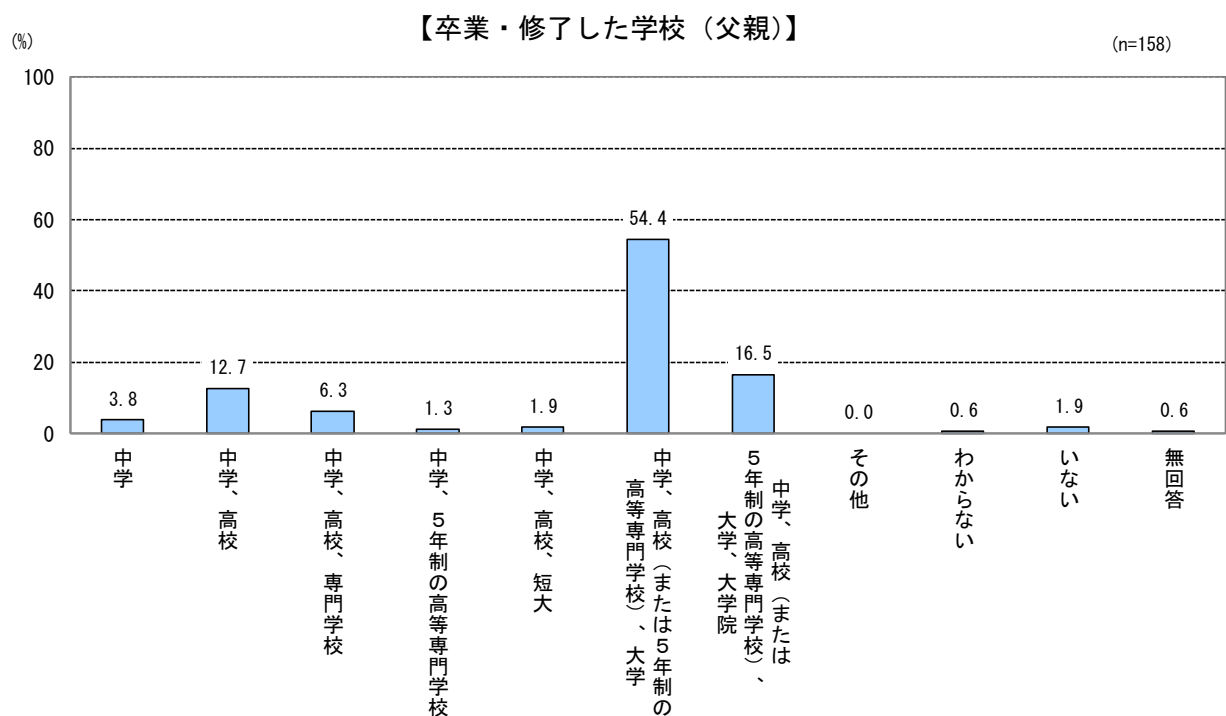
問 8b 卒業・修了した学校をお答えください。(父親)

【全体】

- 卒業・修了した学校（父親）について、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が54.4%で最も多く、次いで「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院」が16.5%、「中学、高校」が12.7%となっています。

【世帯収入水準】

- 「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」は生活困難世帯が20.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は58.1%と多くなっています。
- 「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院」は生活困難世帯が20.0%、非生活困難世帯は16.9%となっています。



単位：%

		母数 (n)	卒業・修了した学校（父親）					
			中学	中学、 高校	中学、 高校、 専門学校	中学、 5 年制の高等 専門学校	中学、 高校、 短大	中学、 高校（または5 年制の 高等専 門学校）、 大学
全体（n=158）		158	3.8	12.7	6.3	1.3	1.9	54.4
入世 水帯 準収	生活困難世帯（n=10）	10	-	20.0	△ 20.0	-	-	▼ 20.0
	非生活困難世帯（n=136）	136	4.4	11.0	5.9	0.7	2.2	58.1
	不明（n=12）	12	-	△ 25.0	-	8.3	-	▼ 41.7

単位：%

		母数 (n)	卒業・修了した学校（父親）					
			大学、5年制の 高等専門学校（または 大学院等）	中学、 高校	その他	わからない	いない	無 回 答
全体 (n=158)		158	16.5	-	-	0.6	1.9	0.6
入世帯 水準収	生活困難世帯 (n=10)	10	20.0	-	-	-	△ 20.0	-
	非生活困難世帯 (n=136)	136	16.9	-	-	-	0.7	-
	不明 (n=12)	12	8.3	-	-	8.3	-	8.3

3. 生活状況

(1) 母親と父親の就労状況

問 9a 就労状況をお答えください。(母親)

【全体】

- 就労状況（母親）について、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 40.5%で最も多く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が 26.6%、「働いていない（専業主婦／主夫を含む）」が 20.3%となっています。

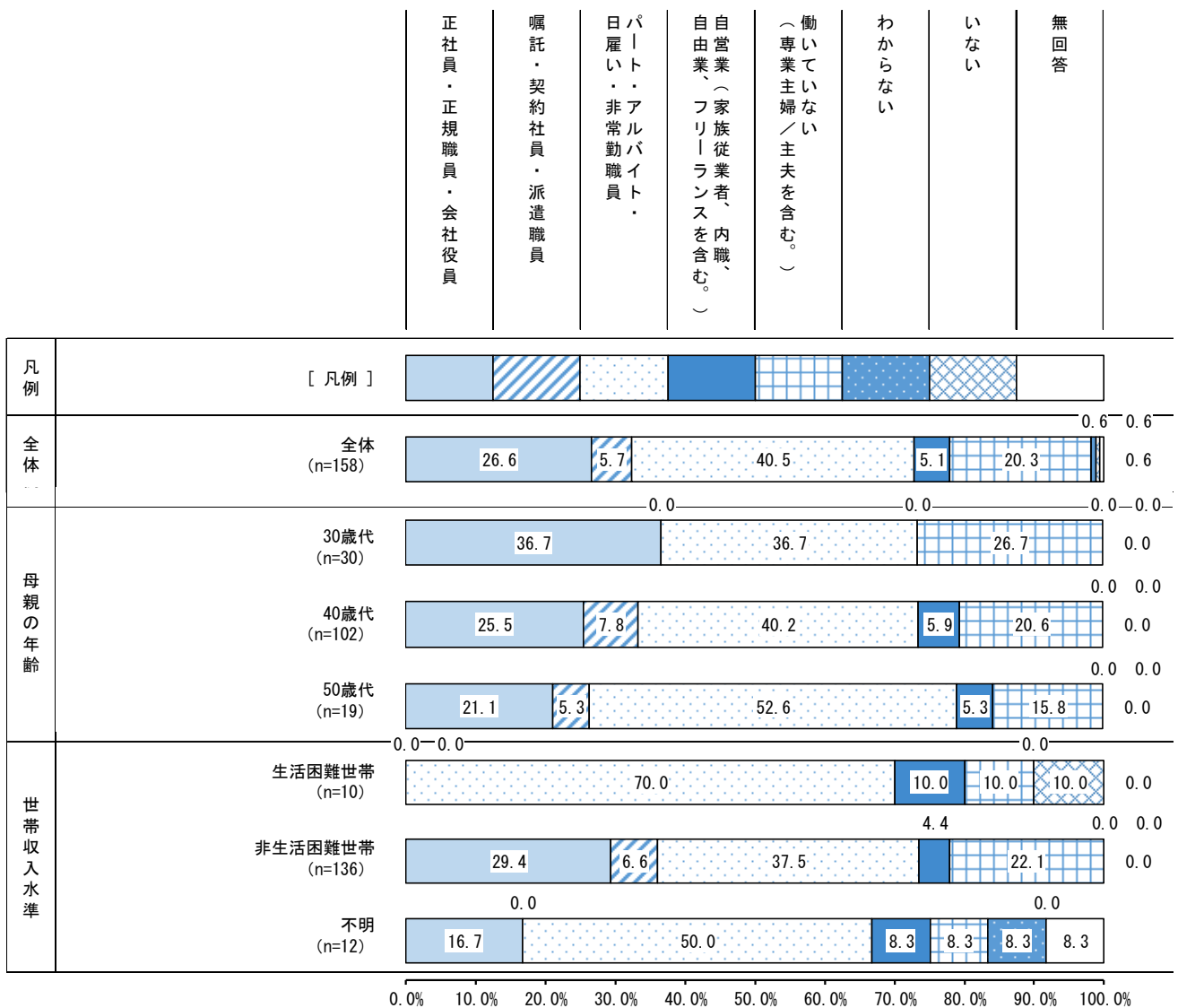
【母親の年齢】

- 「正社員・正規職員・会社役員」は 30 歳代が 36.7%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」は 50 歳代が 52.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「正社員・正規職員・会社役員」は生活困難世帯が 0.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 29.4%と多くなっています。

【就労状況（母親）】



問 9b 就労状況をお答えください。(父親)

【全体】

- 就労状況（父親）について、「正社員・正規職員・会社役員」が 67.1%で最も多く、次いで「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」が 7.0%、「いない」が 3.8%となっています。

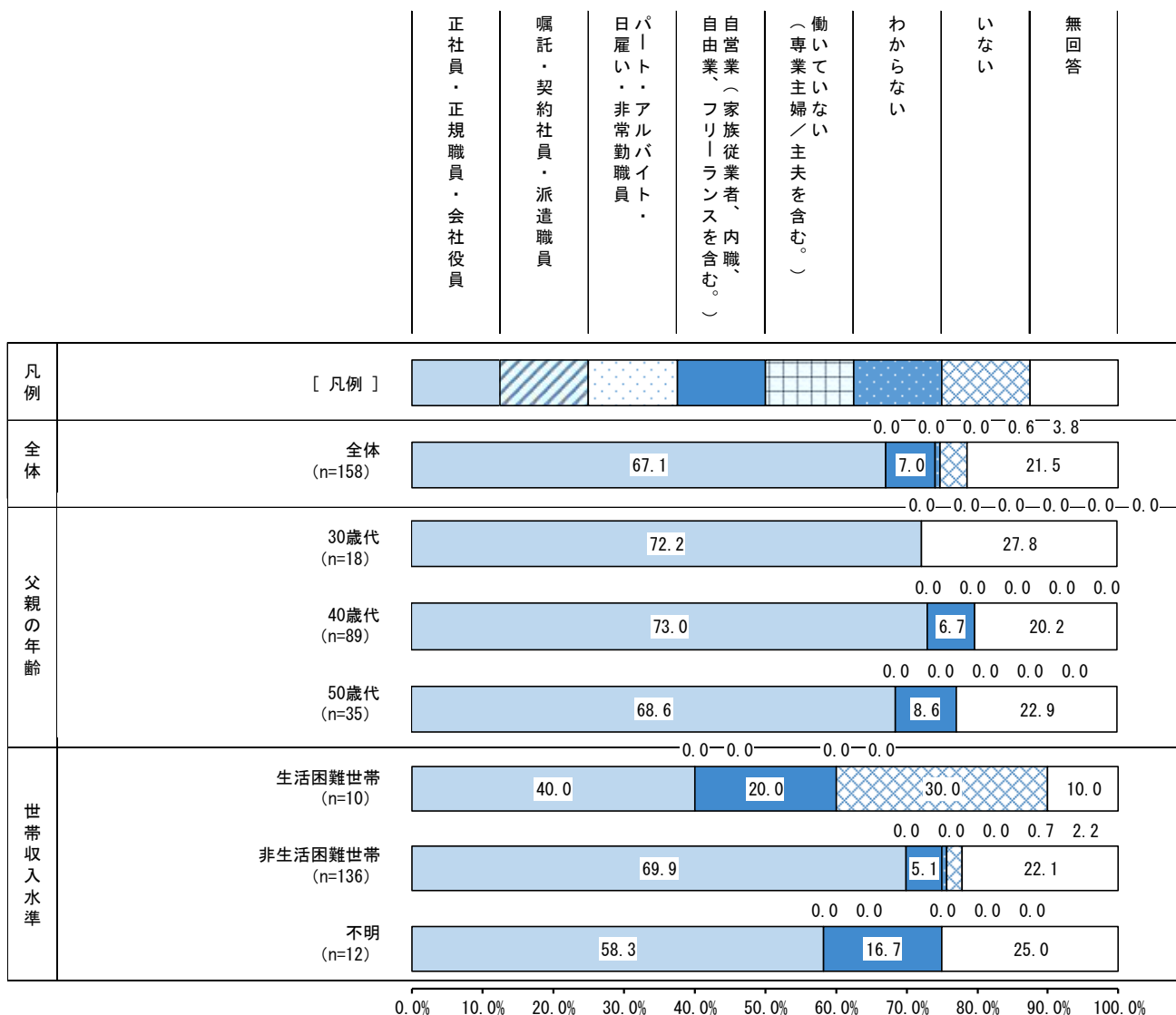
【父親の年齢】

- 「正社員・正規職員・会社役員」は 50 歳代が 68.6%と他の区分に比べて少なくなっています。

【世帯収入水準】

- 「正社員・正規職員・会社役員」は生活困難世帯が 40.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 69.9%と多くなっています。

【就労状況（父親）】



（２）働いていない理由

問10a 働いていない最も主な理由を教えてください。（母親）（前の質問で「５．働いていない」を選んだ人）

【全体】

- 働いていない最も主な理由（母親）について、「子育てを優先したいため」が 43.8%で最も多く、次いで「その他の理由」が 18.8%、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が 15.6%となっています。

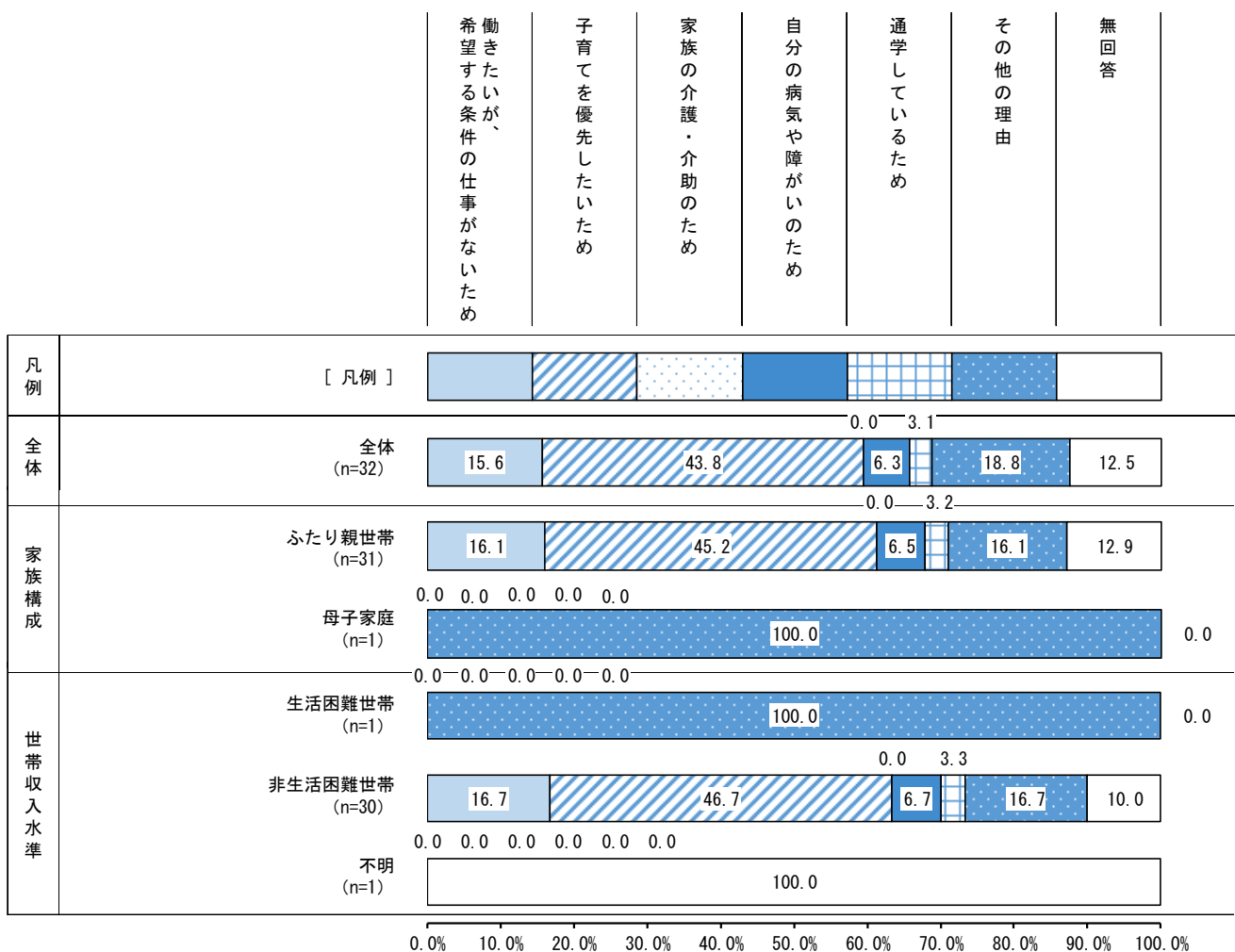
【家族構成】

- 「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」はふたり親世帯が 16.1%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」は非生活困難世帯が 16.7%と多くなっています。

【働いていない最も主な理由（母親）】



※問 10b 働いていない最も主な理由を教えてください。（父親）について、有効回答がありませんでした。

4. 保育の状況

(1) 子どもが0～2歳のときに通っていた教育・保育施設等

問11 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なものをお答えください。

【全体】

- お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等について、「もっぱら親・親族が面倒をみていた」が52.5%で最も多く、次いで「認可保育所・認定こども園」が37.3%、「その他」が3.8%となっています。

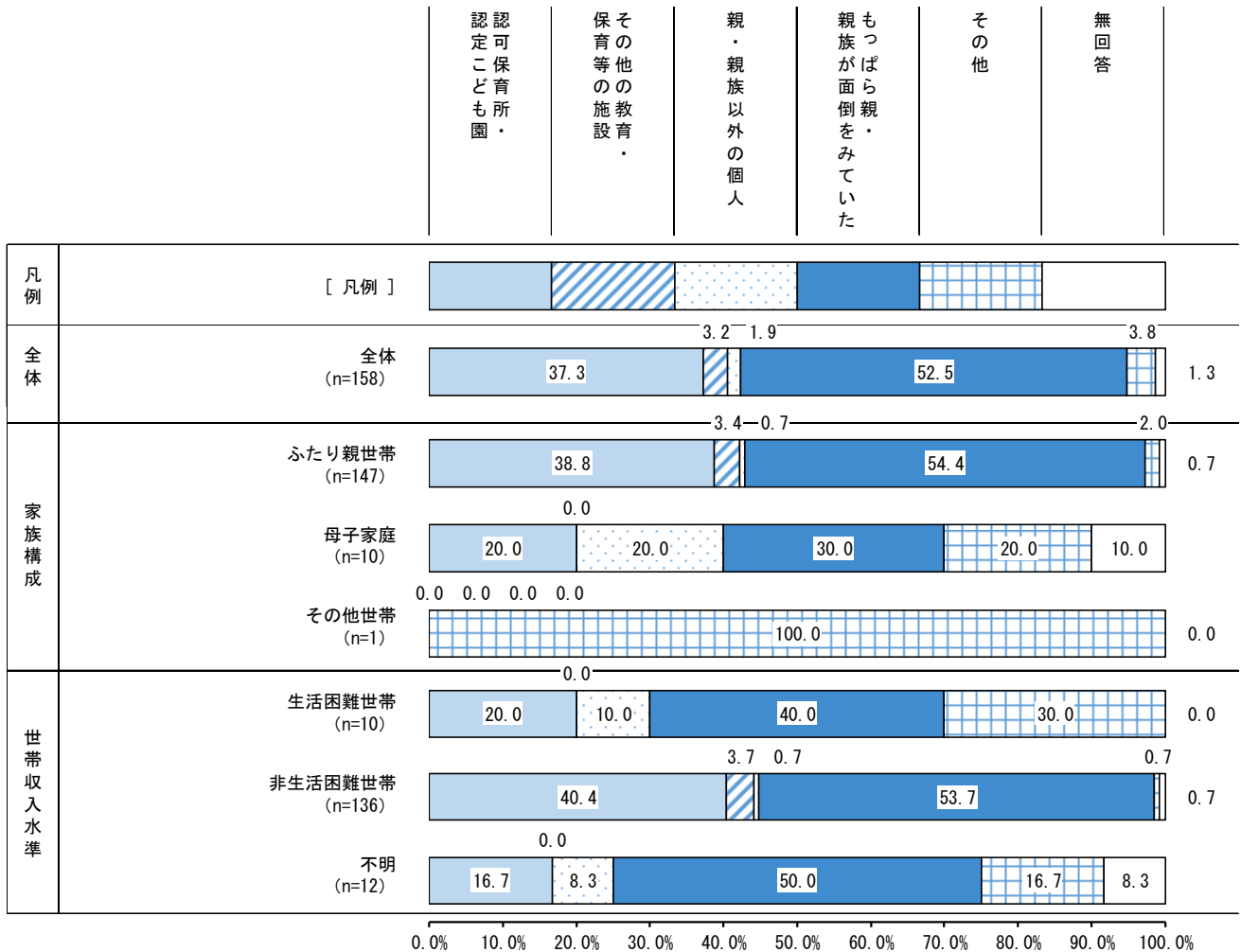
【家族構成】

- 「認可保育所・認定こども園」は母子家庭が20.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は38.8%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「認可保育所・認定こども園」は生活困難世帯が20.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は40.4%と多くなっています。
- 「もっぱら親・親族が面倒をみていた」は生活困難世帯が40.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は53.7%と多くなっています。

【お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等】



(2) こども3～5歳のときに通っていた教育・保育施設等

問12 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なものをお答えください。

【全体】

- お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等について、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が95.6%で最も多く、次いで「その他の教育・保育等の施設」が2.5%、「その他」が1.3%となっています。

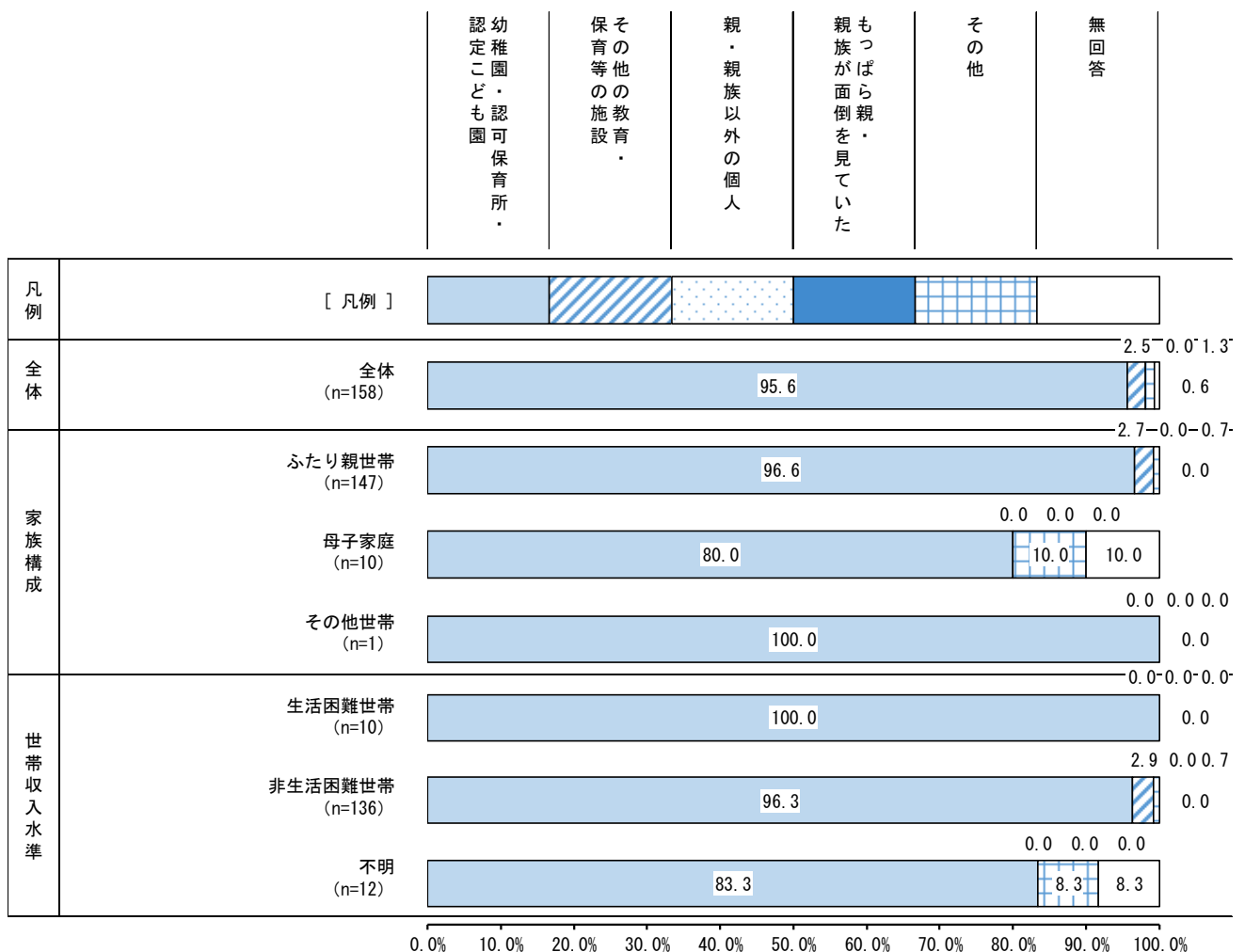
【家族構成】

- 「幼稚園・認可保育所・認定こども園」は母子家庭が80.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は96.6%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「幼稚園・認可保育所・認定こども園」は生活困難世帯が100.0%、非生活困難世帯が96.3%となっています。

【お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等】



5. 子どもとの関わり方

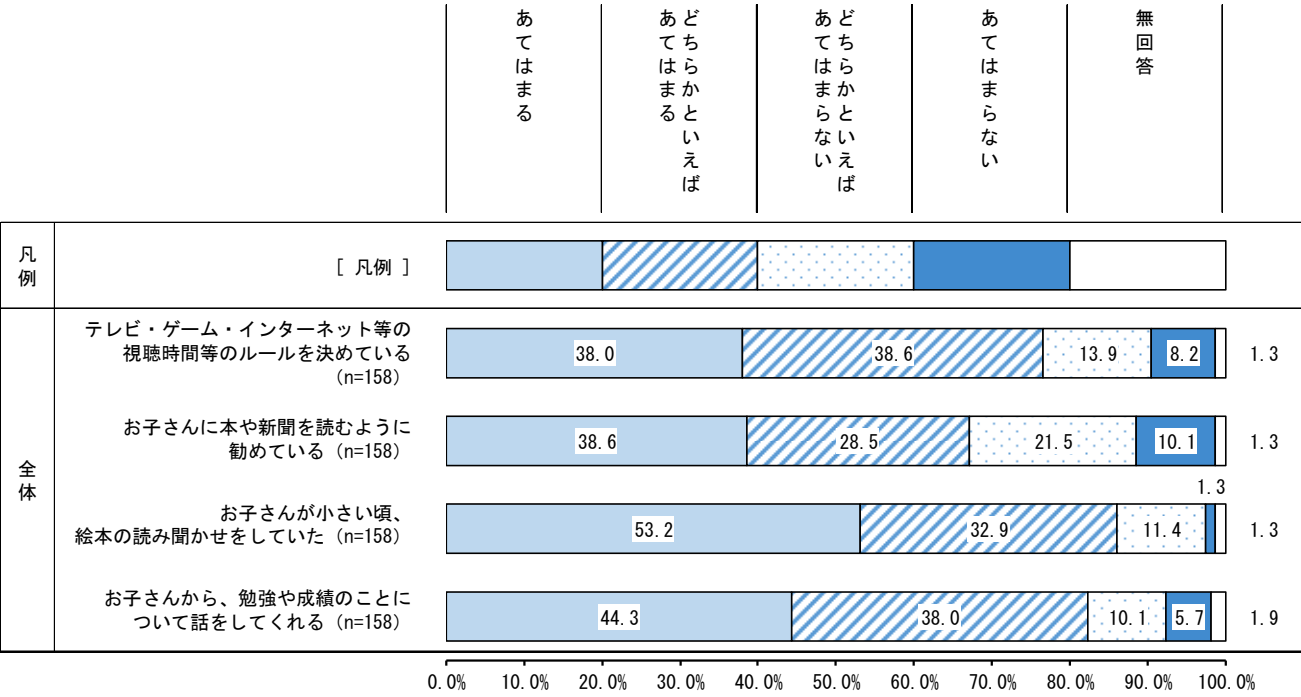
(1) 子どもとの関わり方

問13 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。

【全体】

- お子さんとの関わり方について、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる人”はお子さんが小さい頃、絵本の読み聞かせをしていたが86.1%、お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれるが82.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【お子さんとの関わり方】



（２）テレビ等のルールについて

問13a テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めていますか。

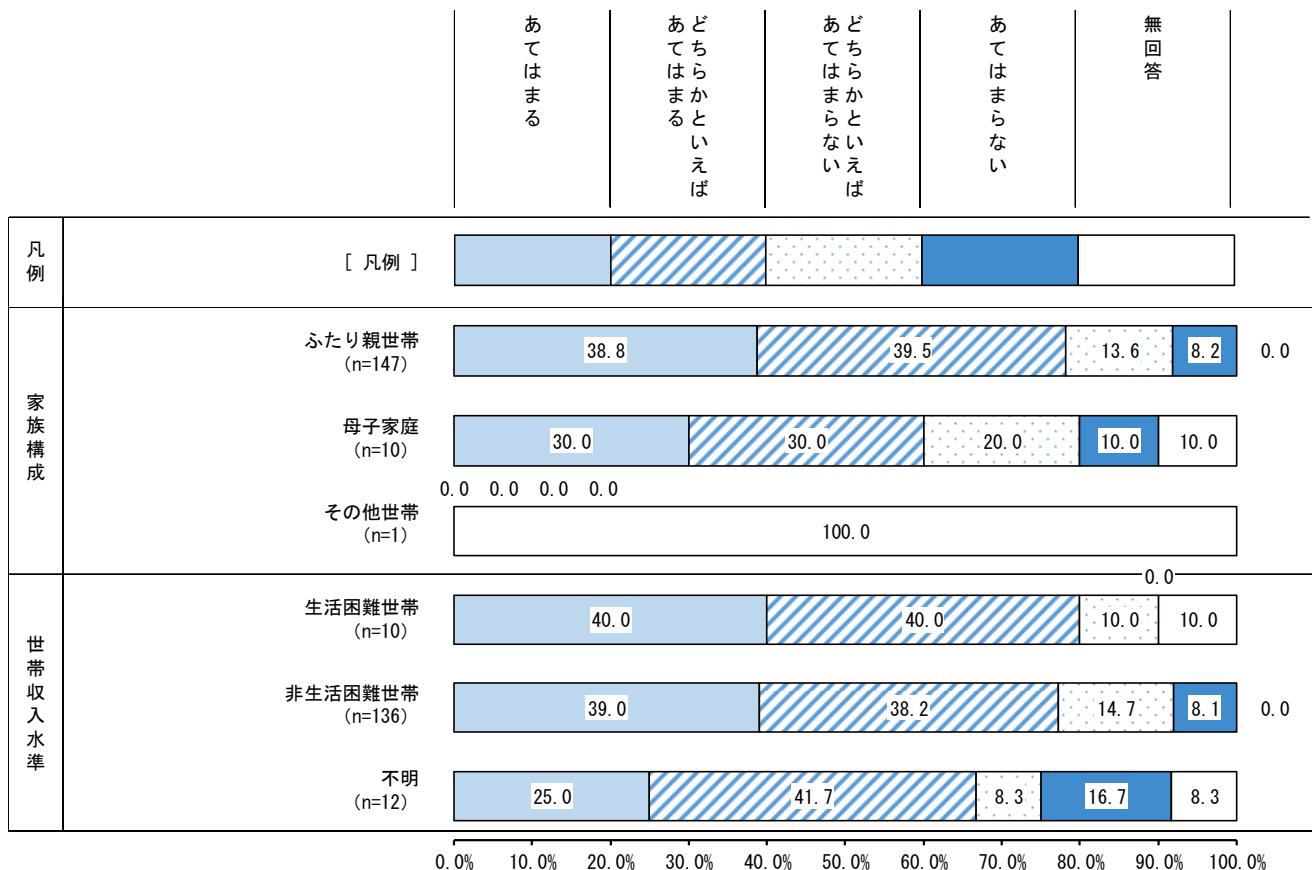
【家族構成】

- テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めているかについて、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる人”は母子家庭が 60.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は 78.3%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “あてはまる人”は生活困難世帯が 80.0%、非生活困難世帯が 77.2%となっています。

【テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めているか】



(3) 本や新聞を読むことについて

問13b お子さんに本や新聞を読むように勧めていますか。

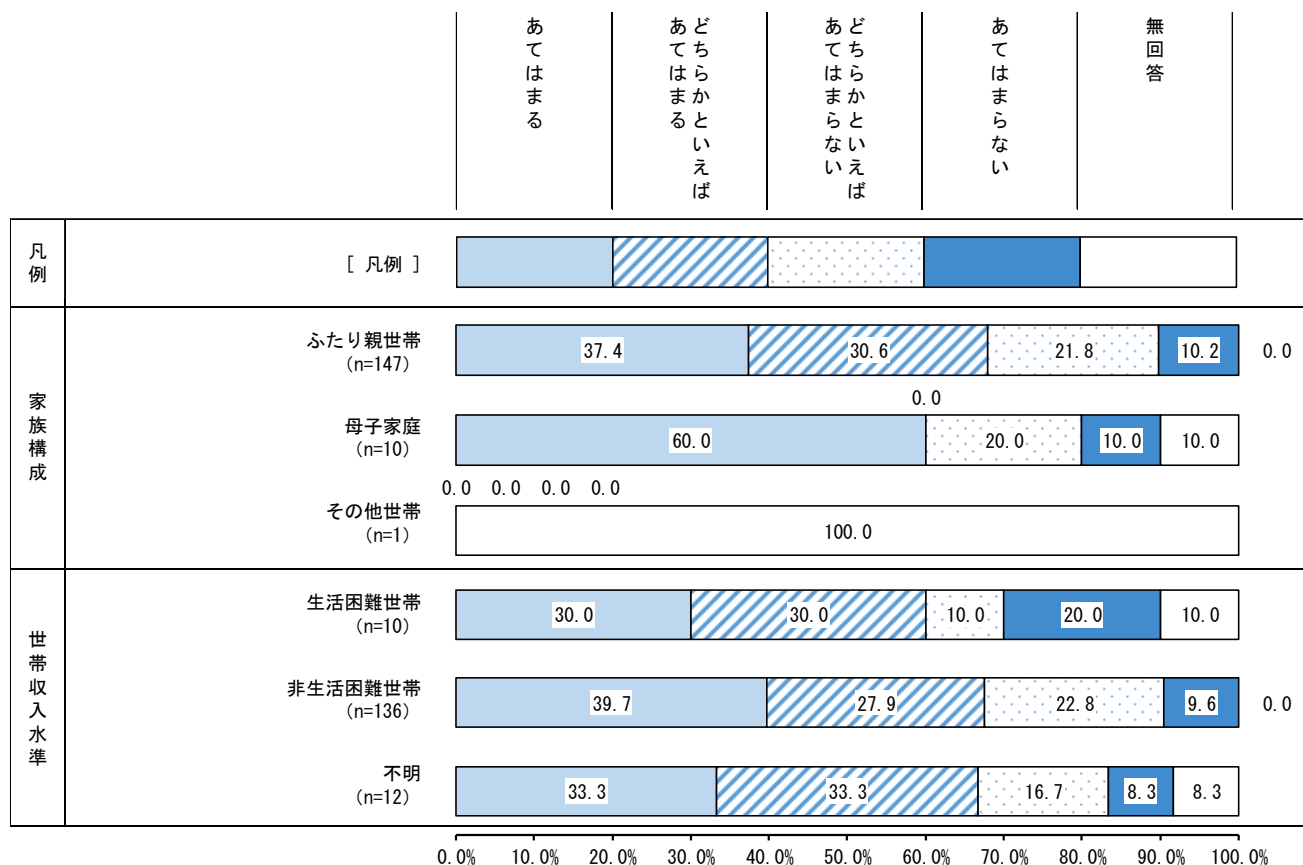
【家族構成】

- お子さんに本や新聞を読むように勧めているかについて、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる人”は母子家庭が 60.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は 68.0%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “あてはまる人”は生活困難世帯が 60.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 67.6%と多くなっています。

【お子さんに本や新聞を読むように勧めているか】



(4) 絵本の読み聞かせについて

問13c お子さんが小さい頃、絵本の読み聞かせをしていましたか。

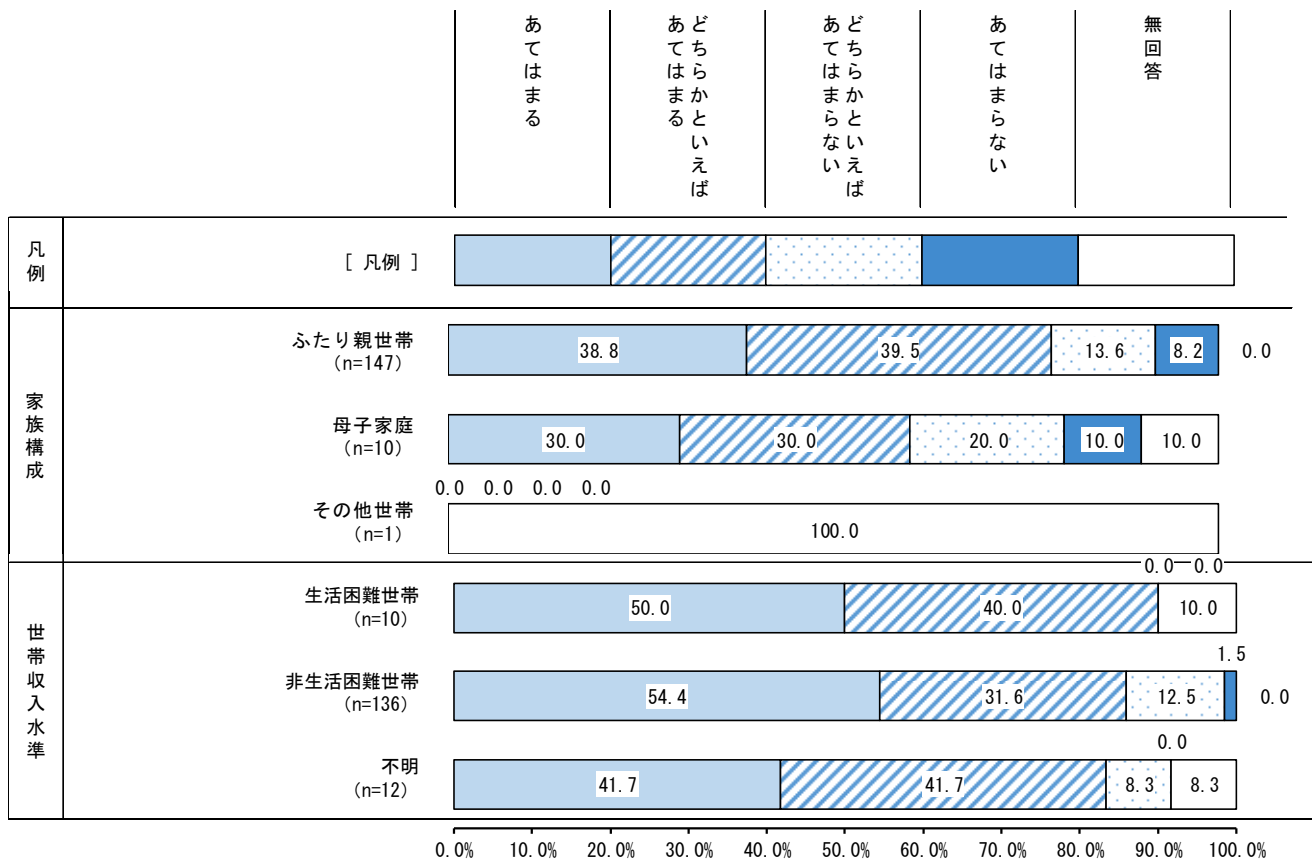
【家族構成】

- お子さんが小さい頃、絵本の読み聞かせをしていたかについて、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる人”は母子家庭が60.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は78.3%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “あてはまる人”は生活困難世帯が90.0%、非生活困難世帯が86.0%となっています。

【お子さんが小さい頃、絵本の読み聞かせをしていたか】



（５）勉強や成績のことについて

問13d お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれますか。

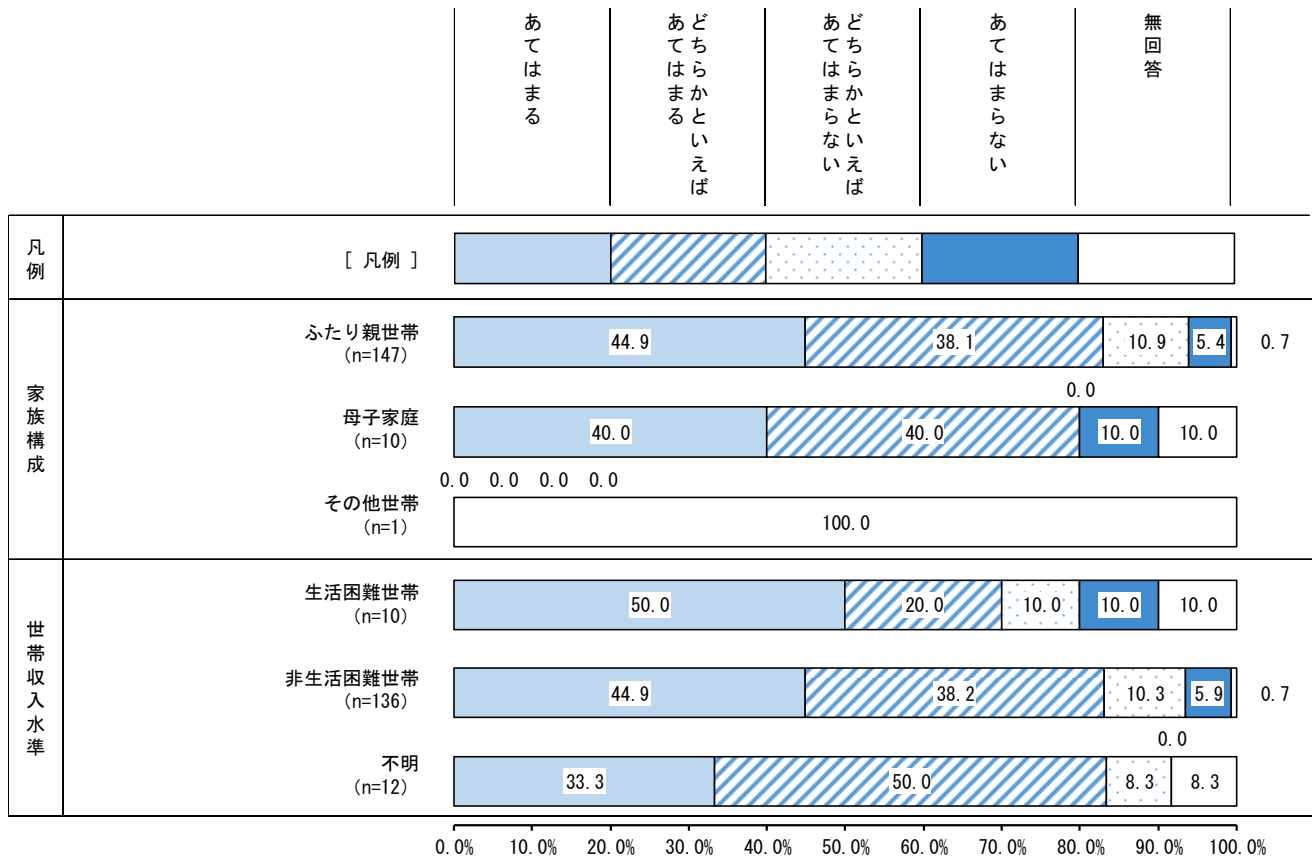
【家族構成】

- お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれるかについて、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる人”はふたり親世帯が 83.0%、母子家庭が 80.0%となっています。

【世帯収入水準】

- “あてはまる人”は生活困難世帯が 70.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 83.1%と多くなっています。

【お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれるか】



6. 学校との関わり・参加

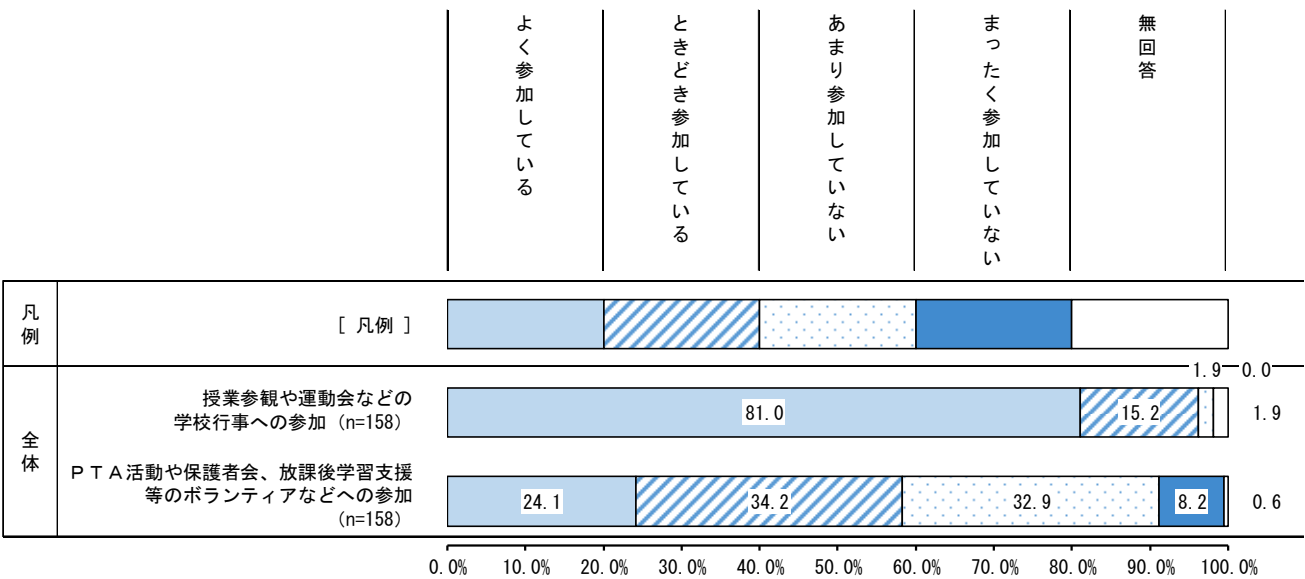
(1) 学校との関わり・参加

問14 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

【全体】

- 活動への参加について、「よく参加している」「ときどき参加している」を合わせた“参加している人”はPTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加が58.3%となっているのに対し、授業参観や運動会などの学校行事への参加は96.2%と多くなっています。
- 「あまり参加していない」「ときどき参加している」を合わせた“参加していない人”は授業参観や運動会などの学校行事への参加が1.9%となっているのに対し、PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加は41.1%と多くなっています。

【活動への参加】



(2) 学校行事への参加

問14a 授業参観や運動会などの学校行事へ参加していますか。

【家族構成】

- 授業参観や運動会などの学校行事への参加について、「よく参加している」「ときどき参加している」を合わせた“参加している人”はふたり親世帯で96.6%、母子家庭が90.0%となっています。

【母親の年齢】

- “参加している人”は40歳代が97.1%、30歳代が96.6%、50歳代が94.8%となっています。

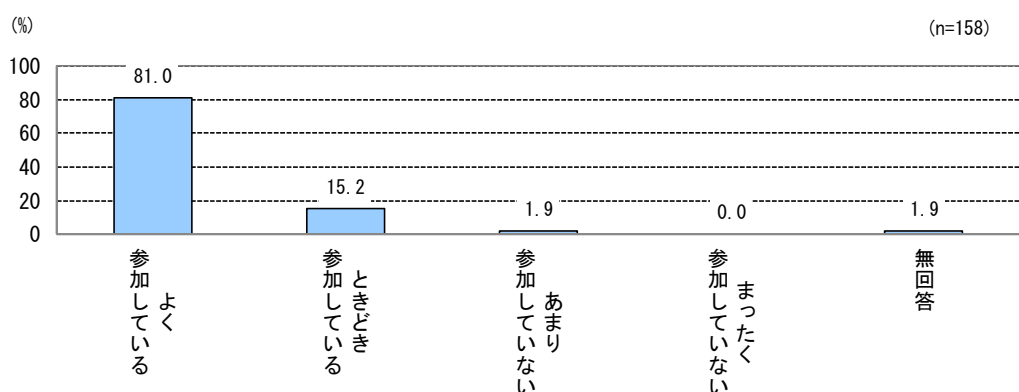
【父親の年齢】

- “参加している人”は50歳代が97.2%、40歳代が96.7%、30歳代が94.5%となっています。

【世帯収入水準】

- “参加している人”は生活困難世帯が100.0%、非生活困難世帯が97.0%となっています。

【授業参観や運動会などの学校行事への参加】



単位：%

		母数 (n)	授業参観や運動会などの学校行事への参加				
			しよ てく い 参 加	参 と 加 し ど き い る	しあ てま いり な 参 加	しま てつ いた な く い 参 加	無 回 答
全体 (n=158)		158	81.0	15.2	1.9	-	1.9
家 族 構 成	ふたり親世帯 (n=147)	147	83.7	12.9	2.0	-	1.4
	母子家庭 (n=10)	10	▼ 50.0	△ 40.0	-	-	10.0
	父子家庭 (n=0)	-	-	-	-	-	-
	その他世帯 (n=1)	1	-	△ 100.0	-	-	-
母 親 の 年 齢	19歳以下 (n=0)	-	-	-	-	-	-
	20歳代 (n=0)	-	-	-	-	-	-
	30歳代 (n=30)	30	73.3	23.3	3.3	-	-
	40歳代 (n=102)	102	85.3	11.8	2.0	-	1.0
	50歳代 (n=19)	19	73.7	21.1	-	-	5.3
	60歳代 (n=0)	-	-	-	-	-	-
父 親 の 年 齢	19歳以下 (n=0)	-	-	-	-	-	-
	20歳代 (n=0)	-	-	-	-	-	-
	30歳代 (n=18)	18	77.8	16.7	5.6	-	-
	40歳代 (n=89)	89	84.3	12.4	2.2	-	1.1
	50歳代 (n=35)	35	82.9	14.3	-	-	2.9
	60歳代 (n=0)	-	-	-	-	-	-
入 世 帯 収 入	生活困難世帯 (n=10)	10	80.0	20.0	-	-	-
	非生活困難世帯 (n=136)	136	81.6	15.4	2.2	-	0.7
	不明 (n=12)	12	75.0	8.3	-	-	16.7

(3) PTAへの参加

問14b PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへ参加していますか。

【家族構成】

- PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加について、「よく参加している」「ときどき参加している」を合わせた“参加している人”は母子家庭が30.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は60.6%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「あまり参加していない」「まったく参加していない」を合わせた“参加していない人”はふたり親世帯が39.5%となっているのに対し、母子家庭は60.0%と多くなっています。

【母親の年齢】

- “参加している人”は40歳代が65.7%、30歳代が43.3%、50歳代が42.1%となっています。
- “参加していない人”は50歳代が57.9%、30歳代が56.7%、40歳代が34.3%となっています。

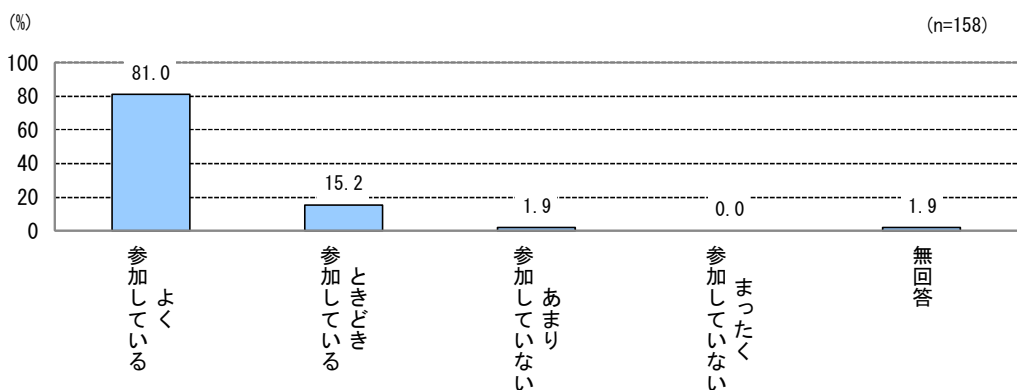
【父親の年齢】

- “参加している人”は40歳代が64.0%、50歳代が62.8%、30歳代が38.9%となっています。
- “参加していない人”は30歳代が61.2%、50歳代が37.2%、40歳代が35.9%となっています。

【世帯収入水準】

- “参加している人”は生活困難世帯が60.0%、非生活困難世帯が58.8%となっています。

【PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加】



単位：%

		母数 (n)	PTA活動や保護者会、放課後学習支援等の ボランティアなどへの参加				
			しよ てく い 参 加	参 と 加 き し ど き い る	しあ てま いり な 参 い 加	しま てい た く い 参 加	無 回 答
全体 (n=158)		158	24.1	34.2	32.9	8.2	0.6
家 族 構 成	ふたり親世帯 (n=147)	147	24.5	36.1	32.0	7.5	-
	母子家庭 (n=10)	10	20.0	▼ 10.0	40.0	△ 20.0	10.0
	父子家庭 (n=0)	-	-	-	-	-	-
	その他世帯 (n=1)	1	-	-	△100.0	-	-
母 親 の 年 齢	19歳以下 (n=0)	-	-	-	-	-	-
	20歳代 (n=0)	-	-	-	-	-	-
	30歳代 (n=30)	30	20.0	▼ 23.3	△ 50.0	6.7	-
	40歳代 (n=102)	102	26.5	39.2	26.5	7.8	-
	50歳代 (n=19)	19	15.8	26.3	△ 47.4	10.5	-
	60歳代 (n=0)	-	-	-	-	-	-
父 親 の 年 齢	19歳以下 (n=0)	-	-	-	-	-	-
	20歳代 (n=0)	-	-	-	-	-	-
	30歳代 (n=18)	18	22.2	▼ 16.7	△ 55.6	5.6	-
	40歳代 (n=89)	89	24.7	39.3	30.3	5.6	-
	50歳代 (n=35)	35	25.7	37.1	28.6	8.6	-
	60歳代 (n=0)	-	-	-	-	-	-
入 世 帯 準 収	生活困難世帯 (n=10)	10	30.0	30.0	30.0	10.0	-
	非生活困難世帯 (n=136)	136	23.5	35.3	33.1	8.1	-
	不明 (n=12)	12	25.0	25.0	33.3	8.3	8.3

7. 進学期待・展望

(1) 子どもの進学段階に関する希望・展望

問15 お子さんは将来、現実的にみてどの学校に進学すると思いますか。

【全体】

- お子さんは将来、現実的にみてどの学校に進学すると思うかについて、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が 67.7%で最も多く、次いで「まだわからない」が 10.8%、「中学、高校、専門学校」が 7.0%となっています。

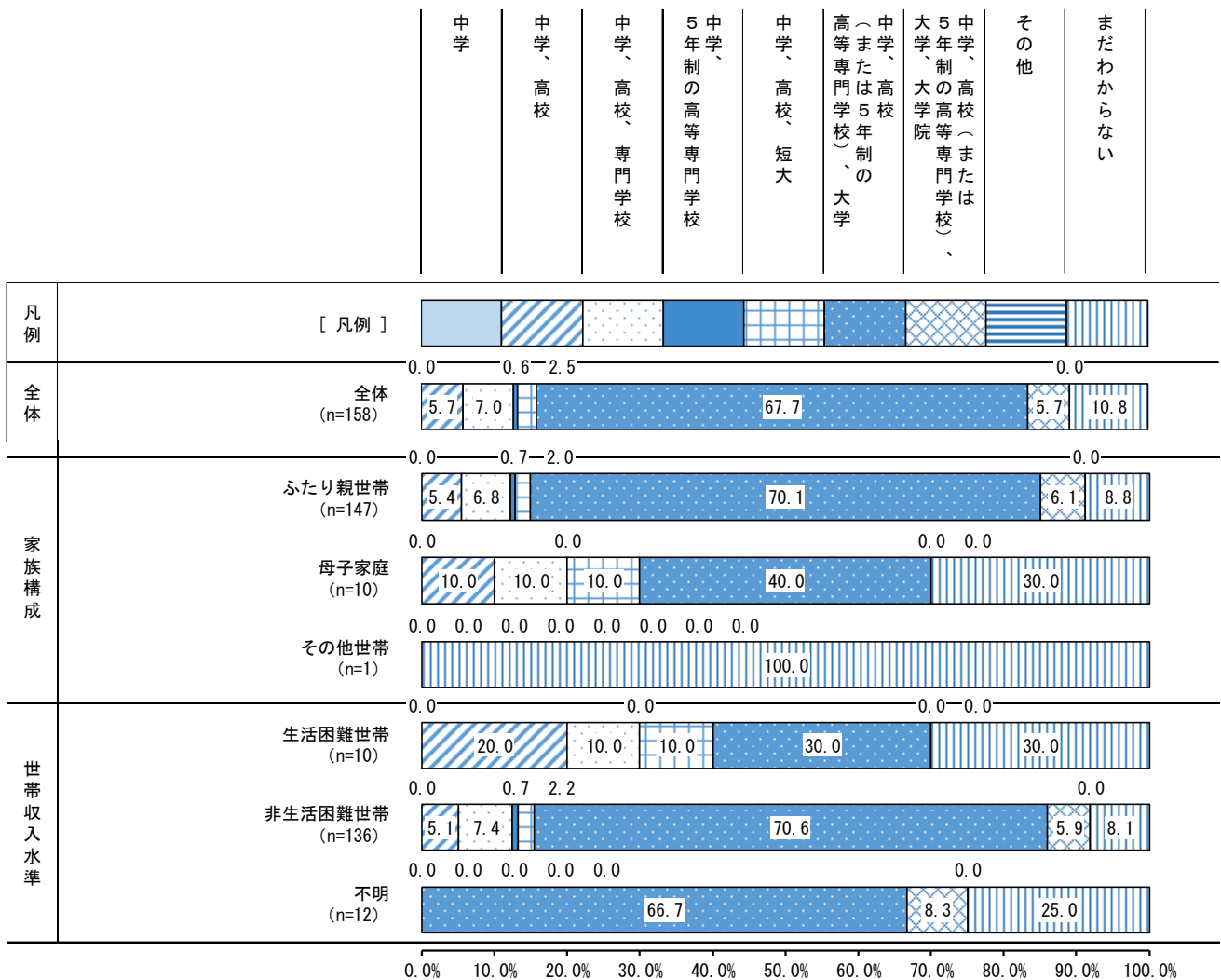
【家族構成】

- 「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」は母子家庭が 40.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は 70.1%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」は生活困難世帯が 30.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 70.6%と多くなっています。

【お子さんは将来、現実的にみてどの学校に進学すると思うか】



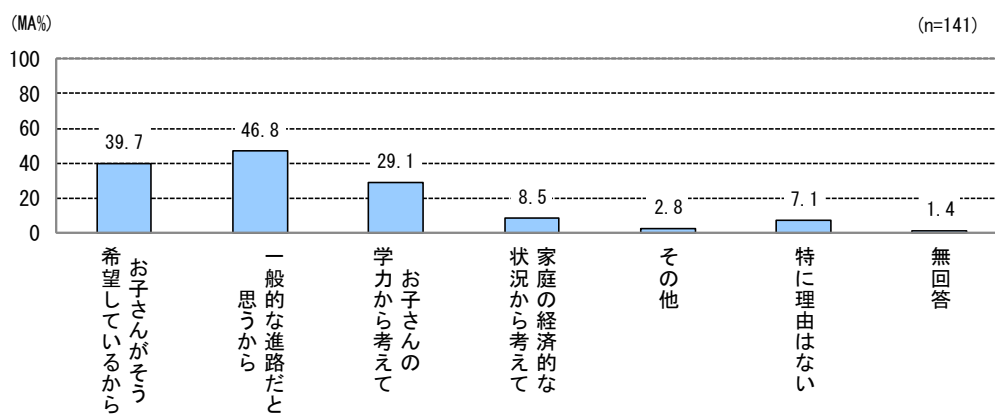
（２）進学段階に関する希望・展望についてそう考える理由

問16 進学すると思う理由は何ですか。(MA) (前の質問で「9. まだわからない」以外を選んだ人)

【全体】

- 進学すると思う理由について、「一般的な進路だと思うから」が 46.8%で最も多く、次いで「お子さんがそう希望しているから」が 39.7%、「お子さんの学力から考えて」が 29.1%となっています。

【進学すると思う理由 (MA)】



8. 頼れる人の有無・相手

(1) 子育てに関する相談

問17a-1 子育てに関する相談で頼れる人はいますか。

【全体】

- 子育てに関する相談について、「頼れる人がいる」が 90.5%で最も多く、次いで「いない」が 0.6%となっています。

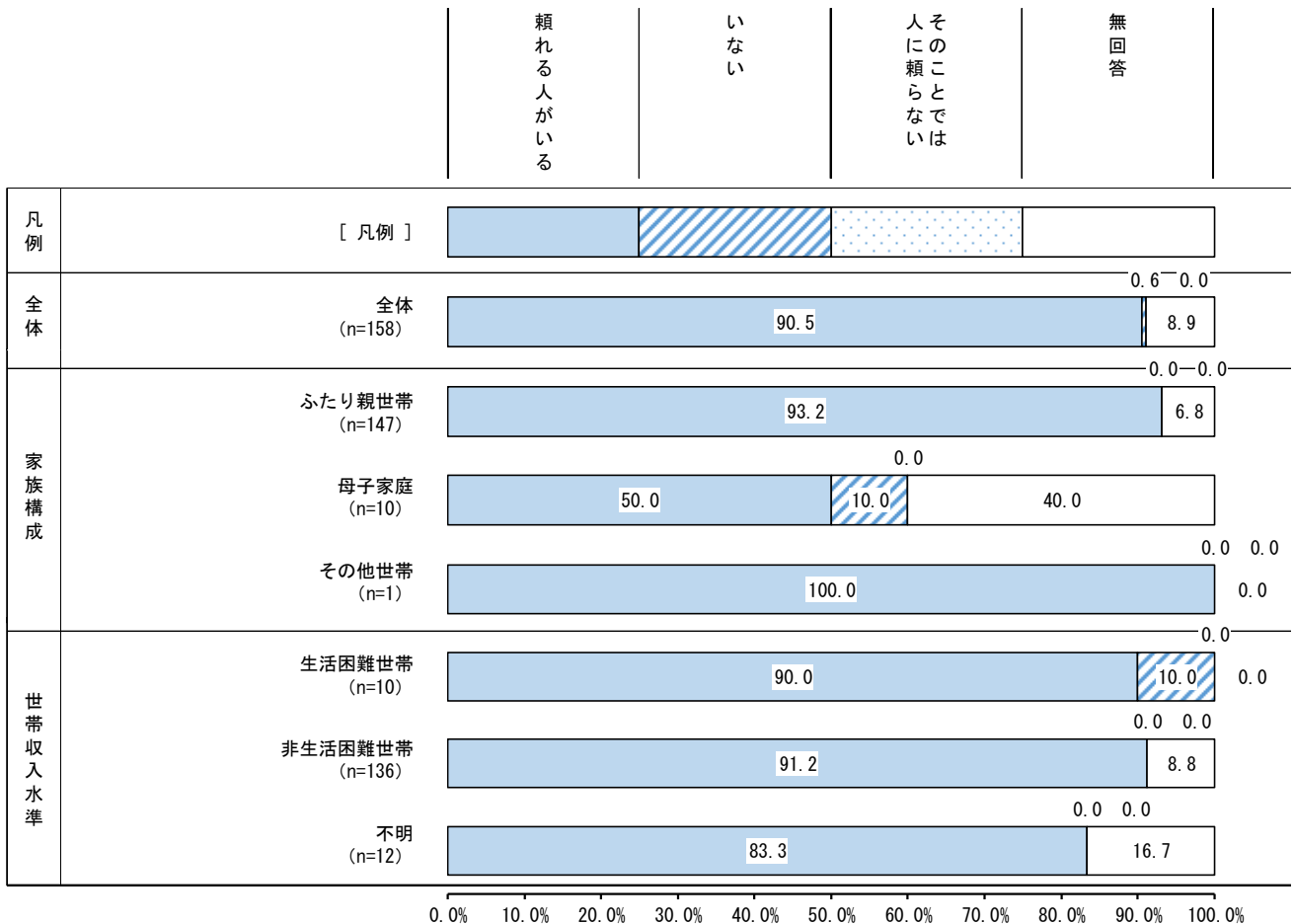
【家族構成】

- 「頼れる人がいる」は母子家庭が 50.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は 93.2%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「頼れる人がいる」は非生活困難世帯が 91.2%、生活困難世帯が 90.0%となっています。

【子育てに関する相談】

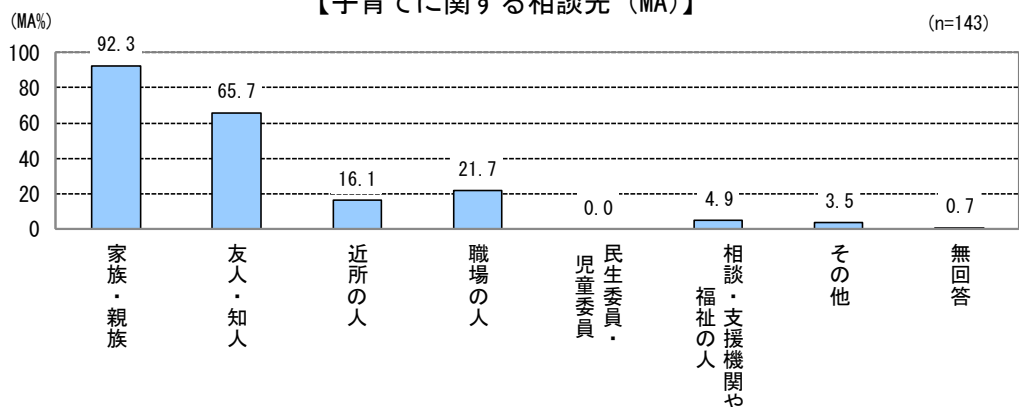


問17a-2 頼れる人とは誰ですか。(MA)

【全体】

- 子育てに関する相談先について、「家族・親族」が 92.3%で最も多く、次いで「友人・知人」が 65.7%、「職場の人」が 21.7%となっています。

【子育てに関する相談先 (MA)】



(2) 重要な事柄の相談

問17b-1 重要な事柄の相談で頼れる人はいますか。

【全体】

- 重要な事柄の相談について、「頼れる人がいる」が 90.5%で最も多く、次いで「いない」が 0.6%となっています。

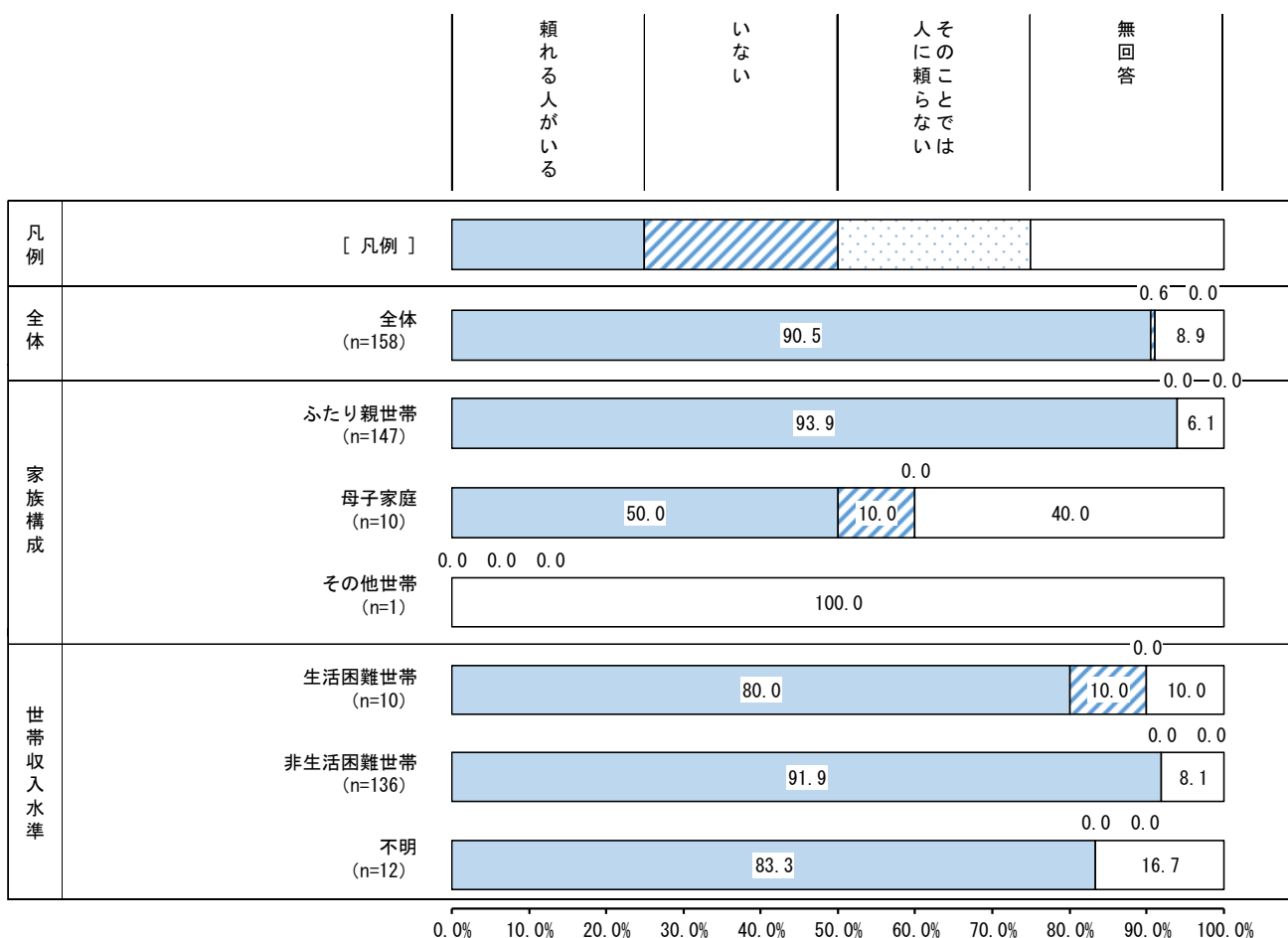
【家族構成】

- 「頼れる人がいる」は母子家庭が 50.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は 93.9%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「頼れる人がいる」は非生活困難世帯が 91.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【重要な事柄の相談】

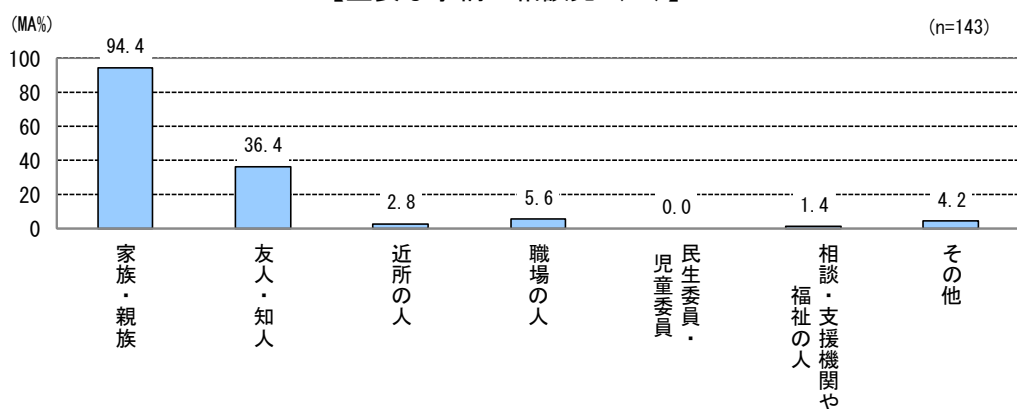


問17b-2 頼れる人は誰ですか。(MA)

【全体】

- 重要な事柄の相談先について、「家族・親族」が 94.4%で最も多く、次いで「友人・知人」が 36.4%、「職場の人」が 5.6%となっています。

【重要な事柄の相談先 (MA)】



(3) いざというときのお金の援助

問17c-1 いざというときのお金の援助で頼れる人はいますか。

【全体】

- いざというときのお金の援助について、「頼れる人がいる」が 69.6%で最も多く、次いで「いない」が 1.9%、「そのことでは人に頼らない」が 1.3%となっています。

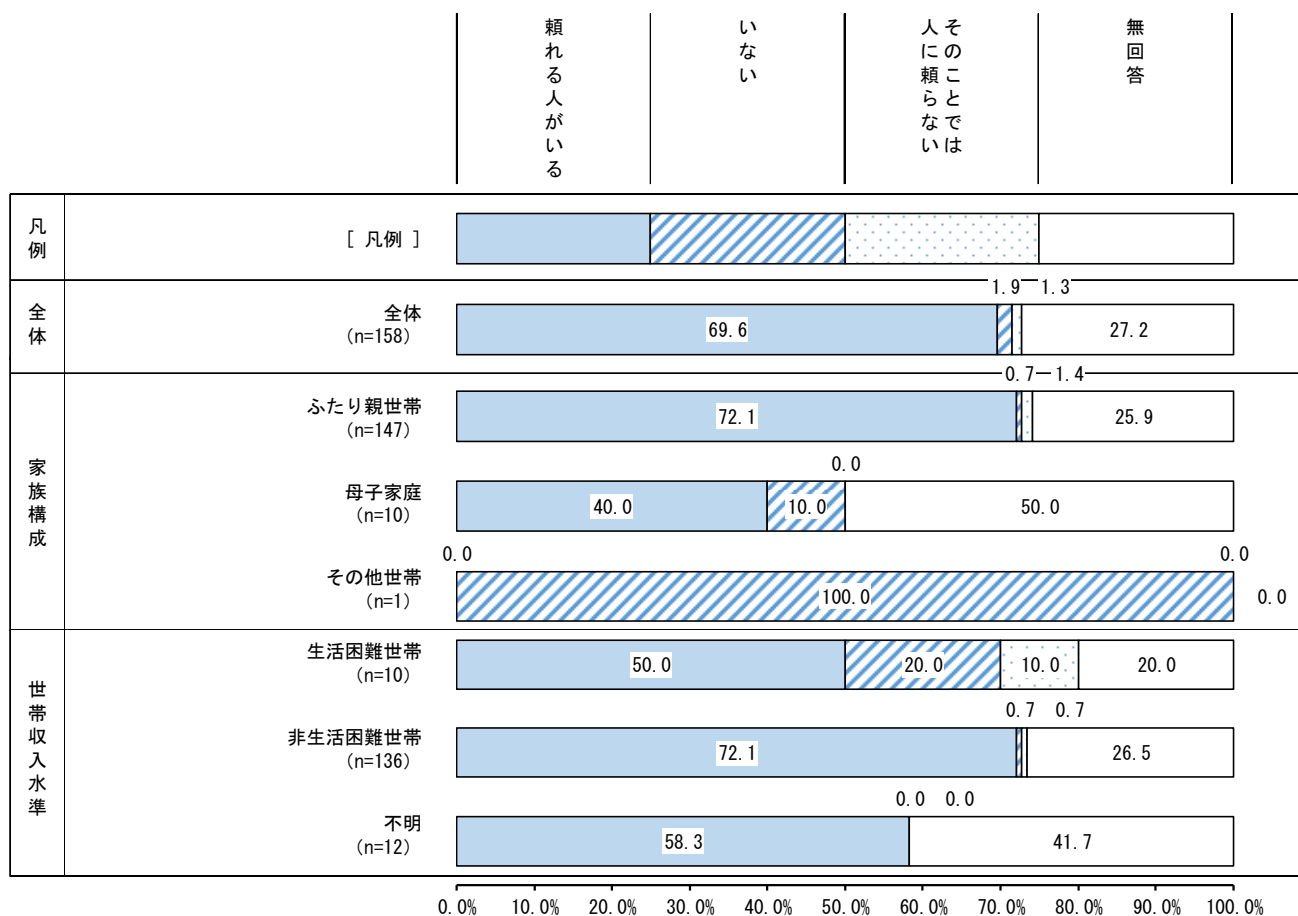
【家族構成】

- 「頼れる人がいる」は母子家庭が 40.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は 72.1%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「頼れる人がいる」は生活困難世帯が 50.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 72.1%と多くなっています。

【いざというときのお金の援助】

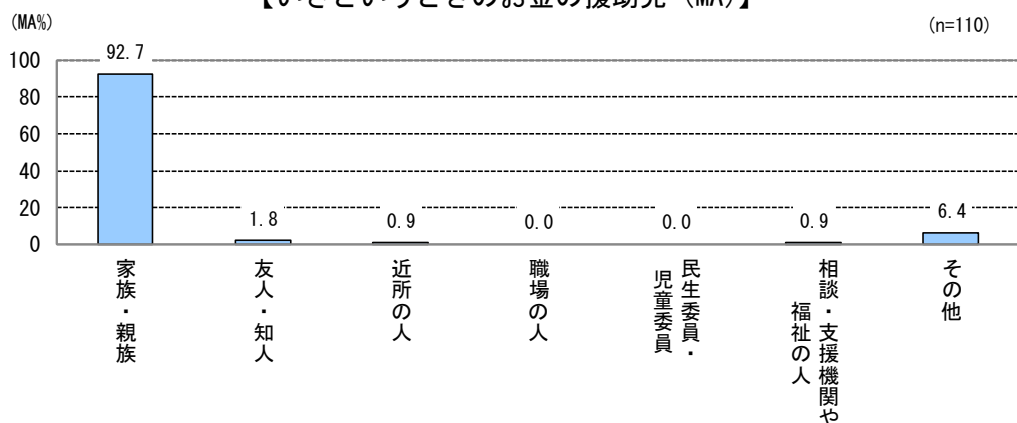


問17c-2 頼れる人は誰ですか。(MA)

【全体】

- いざというときのお金の援助先について、「家族・親族」が 92.7%で最も多く、次いで「その他」が 6.4%、「友人・知人」が 1.8%となっています。

【いざというときのお金の援助先 (MA)】



9. 経済的な状況、暮らしの状況

(1) 暮らしの状況についての認識

問18 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

【全体】

- 現在の暮らしの状況について、「普通」が 59.5%で最も多く、次いで「ゆとりがある」が 18.4%、「苦しい」が 16.5%となっています。
- 「大変ゆとりがある」「ゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある人”は 19.7%となっています。
- 「苦しい」「大変苦しい」を合わせた“苦しい人”は 20.3%となっています。

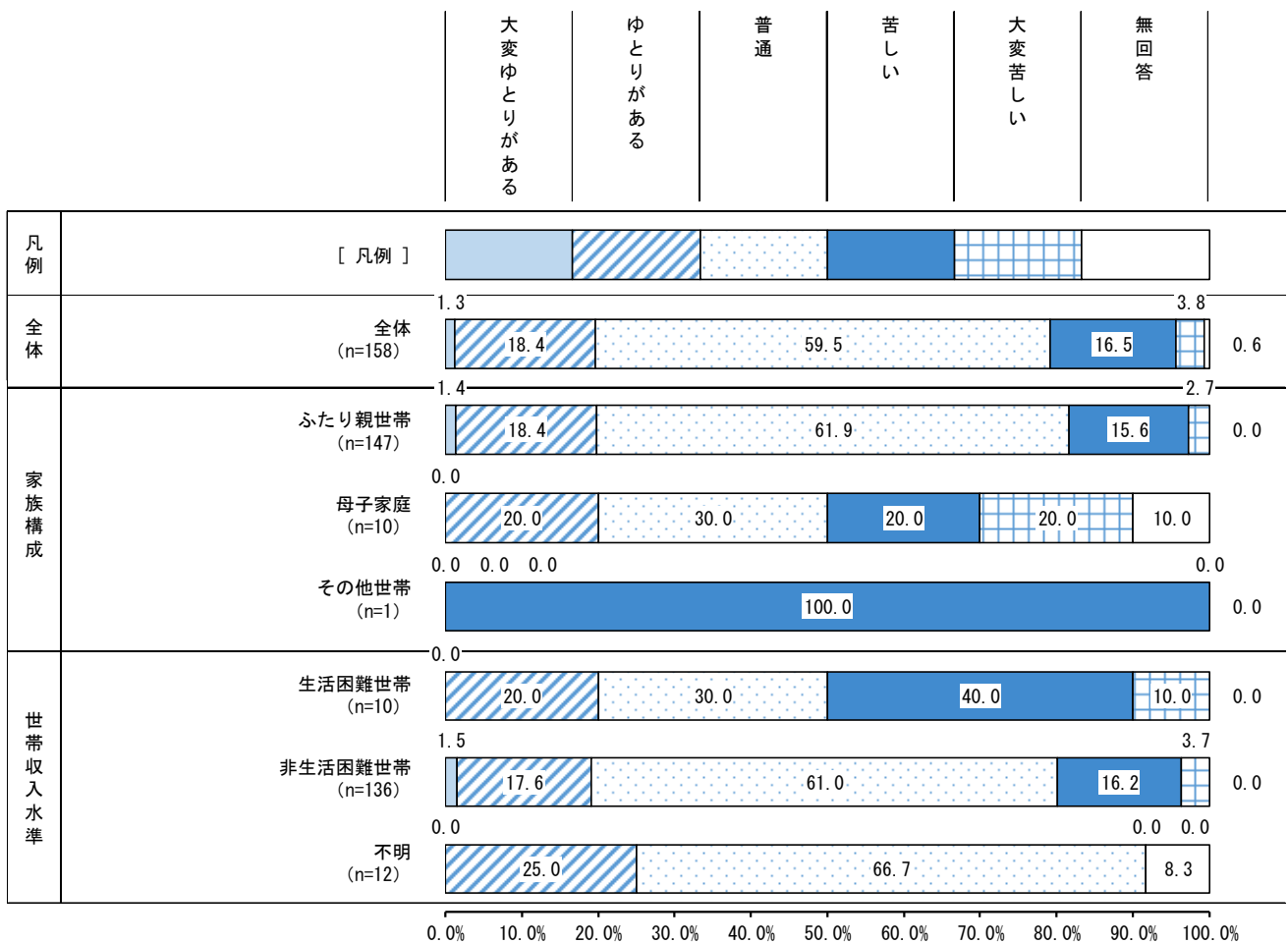
【家族構成】

- “ゆとりがある人”は母子家庭が 20.0%、ふたり親世帯が 19.8%となっています。
- “苦しい人”はふたり親世帯が 18.3%となっているのに対し、母子家庭は 40.0%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “ゆとりがある人”は生活困難世帯が 20.0%、非生活困難世帯が 19.1%となっています。
- “苦しい人”は非生活困難世帯が 19.9%となっているのに対し、生活困難世帯は 50.0%と多くなっています。

【現在の暮らしの状況】



(2) 世帯全体の年間収入

問19 世帯全体のおおその年間収入はいくらですか。

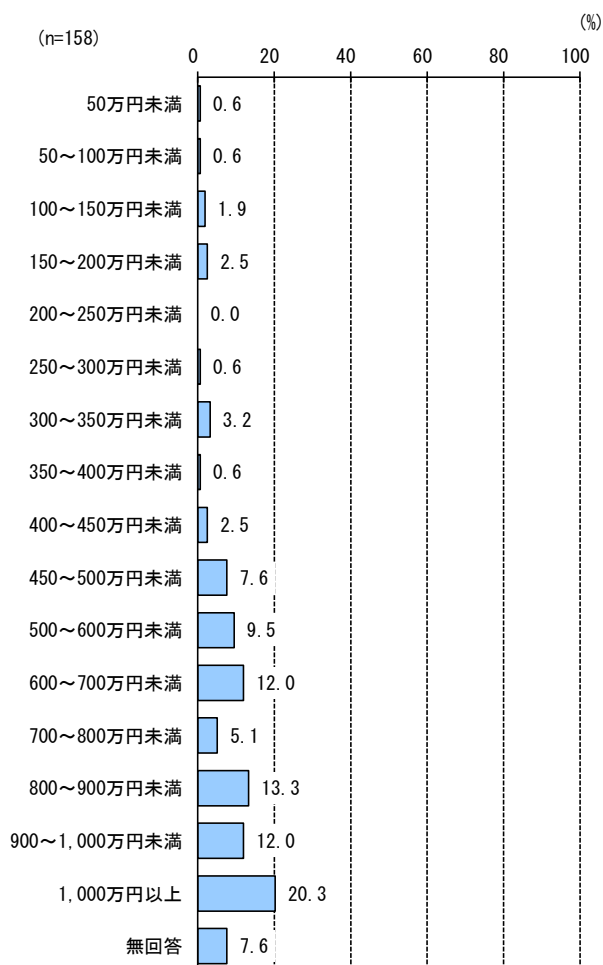
【全体】

- 世帯全体のおおその年間収入について、「1,000万円以上」が20.3%で最も多く、次いで「800～900万円未満」が13.3%、「600～700万円未満」「900～1,000万円未満」が12.0%となっています。
- 民間給与実態統計調査（令和4（2023）年度）の平均給与である458万円と比べると、高い傾向がみられます。

【家族構成】

- ふたり親世帯は「1,000万円以上」が21.8%と最も多くなっています。
- 母子家庭では「300～350万円未満」が20.0%と最も多くなっています。

【世帯全体のおおその年間収入】



単位：%

		母数 (n)	世帯全体のおおその年間収入								
			50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～250万円未満	250～300万円未満	300～350万円未満	350～400万円未満	400～450万円未満
全体 (n=158)		158	0.6	0.6	1.9	2.5	—	0.6	3.2	0.6	2.5
家族構成	ふたり親世帯 (n=147)	147	—	0.7	0.7	2.0	—	0.7	2.0	0.7	2.0
	母子家庭 (n=10)	10	10.0	—	10.0	10.0	—	—	△ 20.0	—	10.0
	父子家庭 (n=0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他世帯 (n=1)	1	—	—	△100.0	—	—	—	—	—	—

単位：%

		母数 (n)	世帯全体のおおその年間収入							無回答
			450～500万 円未満	500～600万 円未満	600～700万 円未満	700～800万 円未満	800～900万 円未満	900～1,000 万円未満	1,000万円 以上	
全体 (n=158)		158	7.6	9.5	12.0	5.1	13.3	12.0	20.3	7.6
家族 構 成	ふたり親世帯 (n=147)	147	7.5	10.2	12.9	5.4	14.3	12.9	21.8	6.1
	母子家庭 (n=10)	10	10.0	—	—	—	—	—	—	30.0
	父子家庭 (n=0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他世帯 (n=1)	1	—	—	—	—	—	—	—	—

問19-1 生活状況をお答えください。

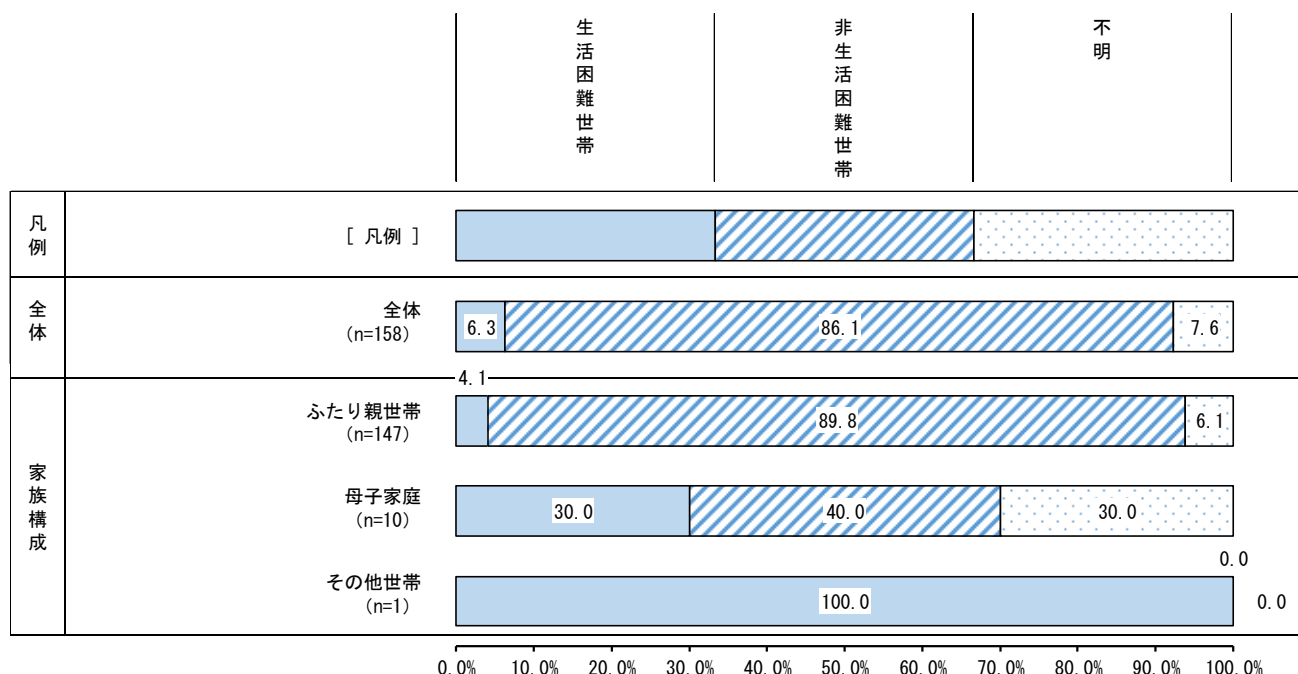
【全体】

- 生活困難世帯の判定について、「生活困難世帯」が 6.3%、「非生活困難世帯」が 86.1%となっています。

【家族構成】

- 「非生活困難世帯」はふたり親世帯が 89.8%と多くなっています。

【生活困難世帯の判定】



【生活困難世帯の判定方法】

本調査において、「問3 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。」と「問19 世帯全体のおおよその年間収入はいくらですか。」の情報を踏まえて下記のような処理をし、世帯年収水準を分類しています。

- 年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入値とする（例えば、「50万円未満」であれば25万円、「50～100万円未満」であれば75万円とする。なお、「1,000万円以上」は1,050万円とする。）。
- 上記の値を、同居家族の人数の平方根を取ったもので除す。
- 上記の方法で算出した値（等価可処分所得）を令和3（2021）年の貧困線（等価可処分所得の中央値の半分）にあたる127万円以下を生活困難世帯と判定する。

(3) 食料が買えなかった経験

問20 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。

【全体】

- お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがあったかについて、「まったくなかった」が89.2%で最も多く、次いで「まれにあった」が5.1%、「ときどきあった」が1.9%となっています。
- 「よくあった」「ときどきあった」を合わせた“あった人”は3.2%となっています。

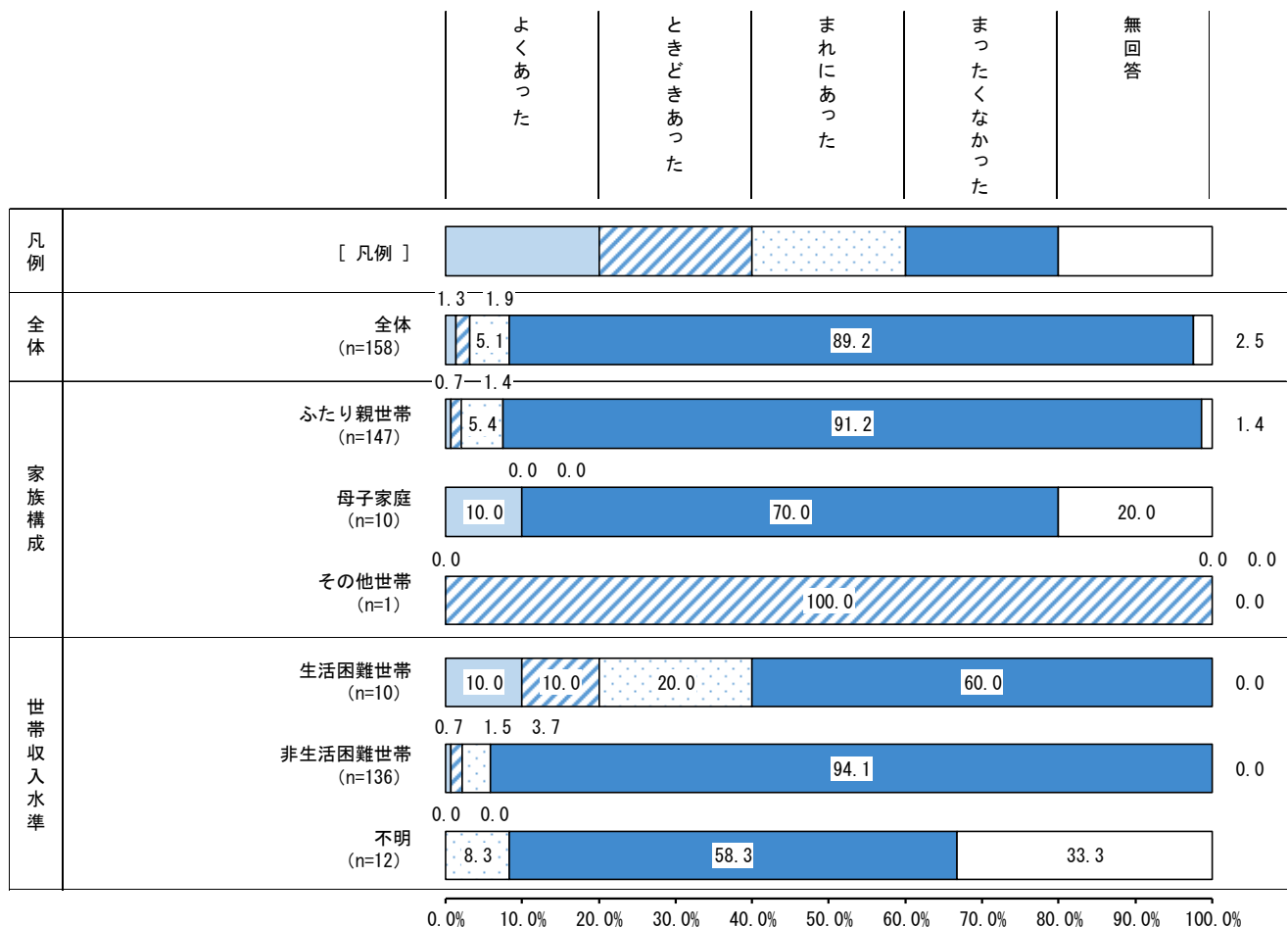
【家族構成】

- “あった人”はふたり親世帯が2.1%となっているのに対し、母子家庭は10.0%と多くなっています。
- 「まったくなかった」は母子家庭が70.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は91.2%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “あった人”は非生活困難世帯が2.2%となっているのに対し、生活困難世帯は20.0%と多くなっています。
- 「まったくなかった」は生活困難世帯が60.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は94.1%と多くなっています。

【お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがあったか】



(4) 衣服が買えなかった経験

問21 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。

【全体】

- お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがあったかについて、「まったくなかった」が84.2%で最も多く、次いで「まれにあった」が8.9%、「ときどきあった」が3.2%となっています。
- 「よくあった」「ときどきあった」を合わせた“あった人”は4.5%となっています。

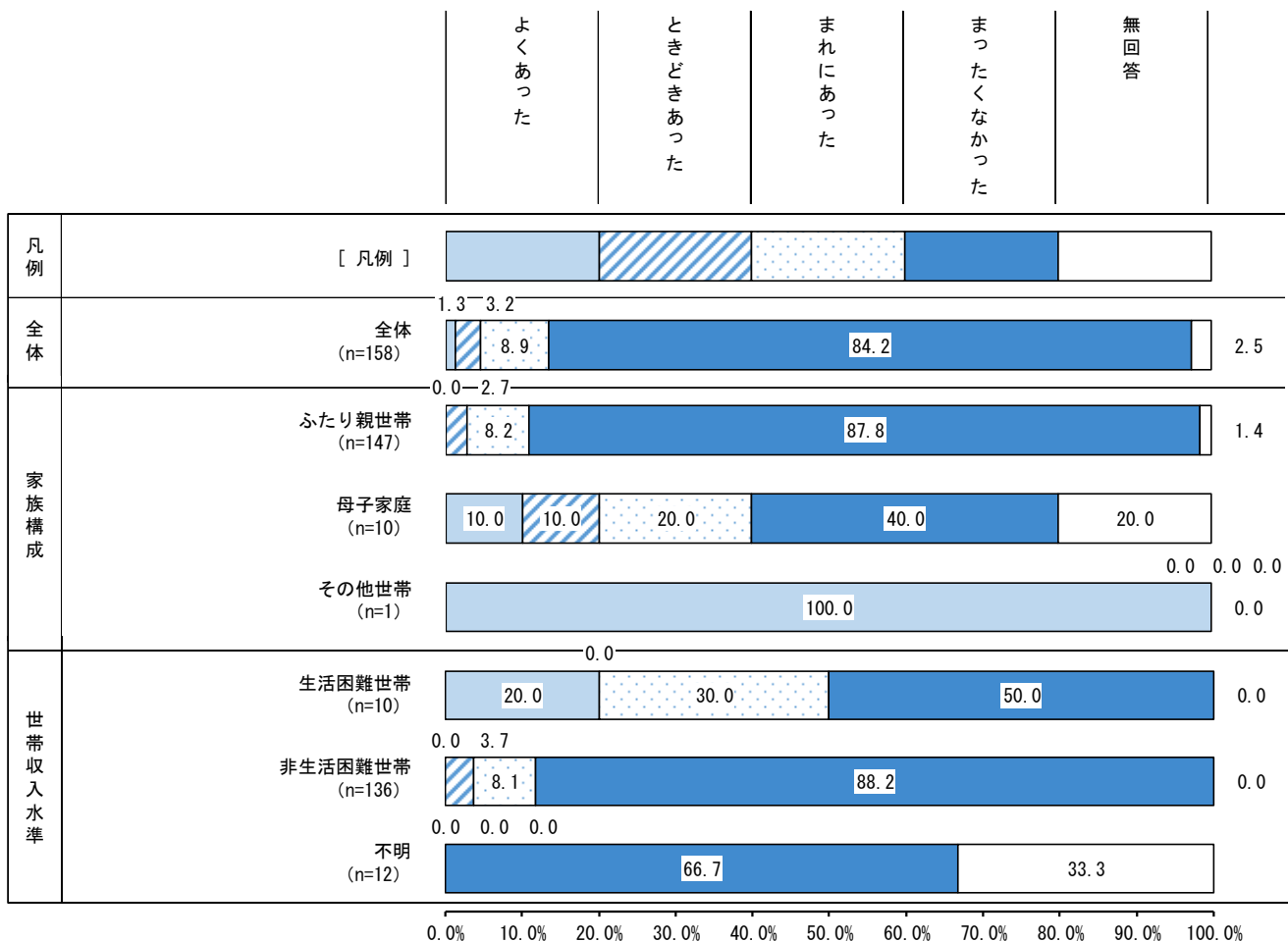
【家族構成】

- “あった人”はふたり親世帯が2.7%となっているのに対し、母子家庭は20.0%と多くなっています。
- 「まったくなかった」は母子家庭が40.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は87.8%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “あった人”は非生活困難世帯が3.7%となっているのに対し、生活困難世帯は20.0%と多くなっています。
- 「まったくなかった」は生活困難世帯が50.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は88.2%と多くなっています。

【お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがあったか】

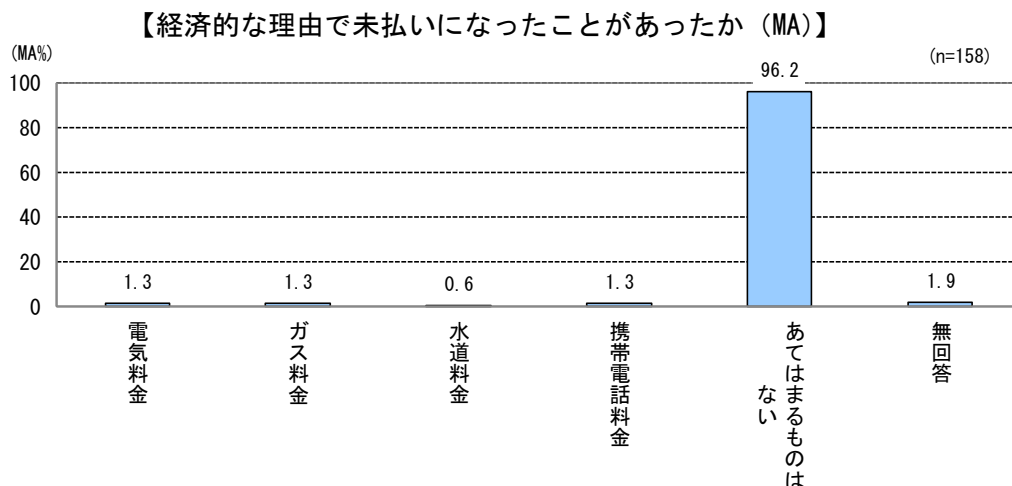


（５）未払いの経験

問22 あなたの世帯では、過去１年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありますか。（MA）

【全体】

- 経済的な理由で未払いになったことがあったかについて、「あてはまるものはない」が 96.2%で最も多く、次いで「電気料金」「ガス料金」「携帯電話料金」が 1.3%、「水道料金」が 0.6%となっています。



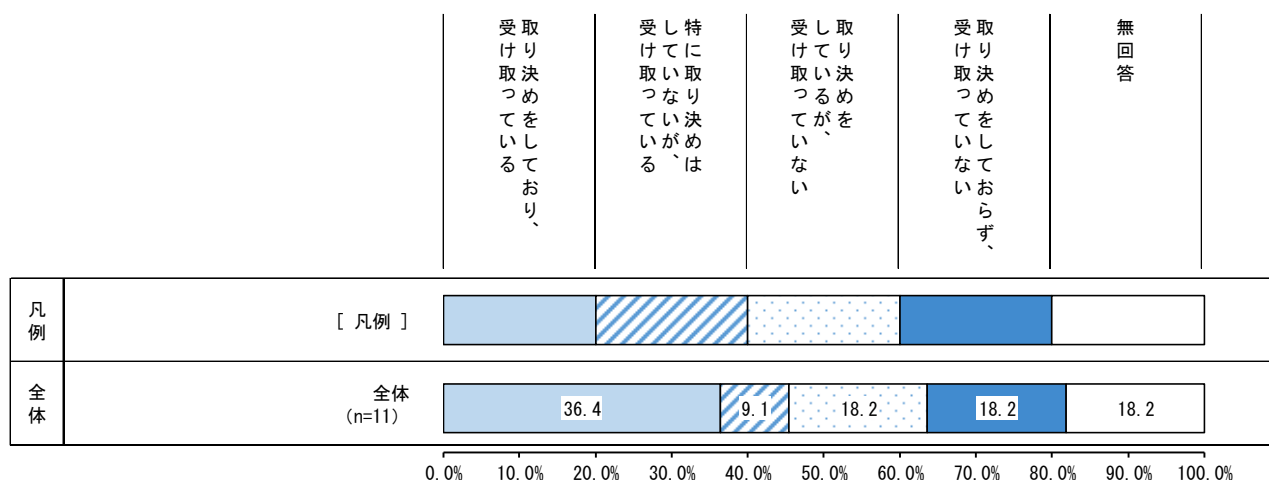
（６）養育費の取り決めの有無

問 7 離婚相手とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。（問6で「2. 離婚」を選んだ人）

【全体】

- 養育費について、「取り決めをしており、受け取っている」が36.4%で最も多く、次いで「取り決めをしているが、受け取っていない」「取り決めをしておらず、受け取っていない」が 18.2%、「特に取り決めはしていないが、受け取っている」が 9.1%となっています。
- 「取り決めをしており、受け取っている」「特に取り決めはしていないが、受け取っている」を合わせた“受け取っている人”は 45.5%となっています。
- 「取り決めをしているが、受け取っていない」「取り決めをしておらず、受け取っていない」を合わせた“受け取っていない人”は 36.4%となっています。

【養育費】



10. 保護者の心理的な状態

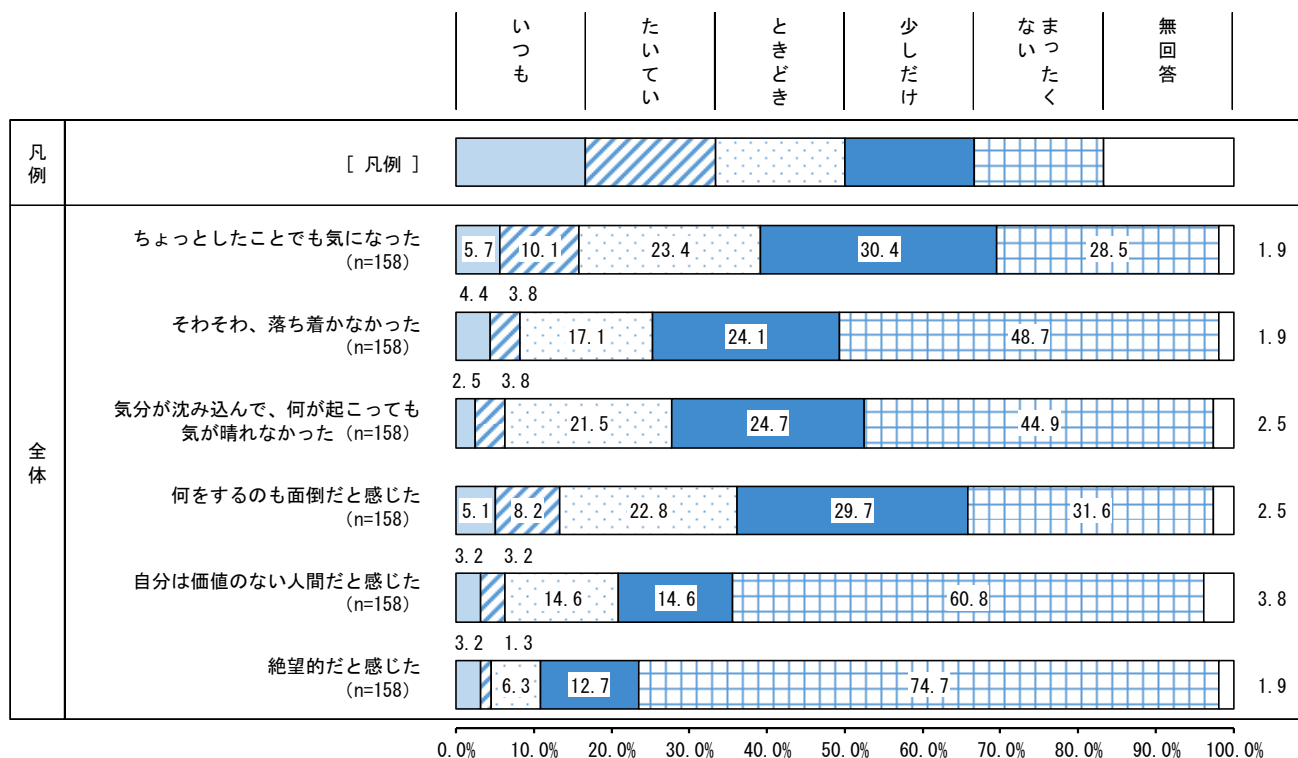
(1) 心理的な状態

問23 次の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようなでしたか。

【全体】

- 1か月間の気持ちについて、「いつも」はすべて10%以下と少なくなっています。
- 「まったくない」は絶望的だと感じたが74.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【1か月間の気持ち】



(2) ちょっとしたことでも気になったこと

問23a ちょっとしたことでも気になったことはありましたか。

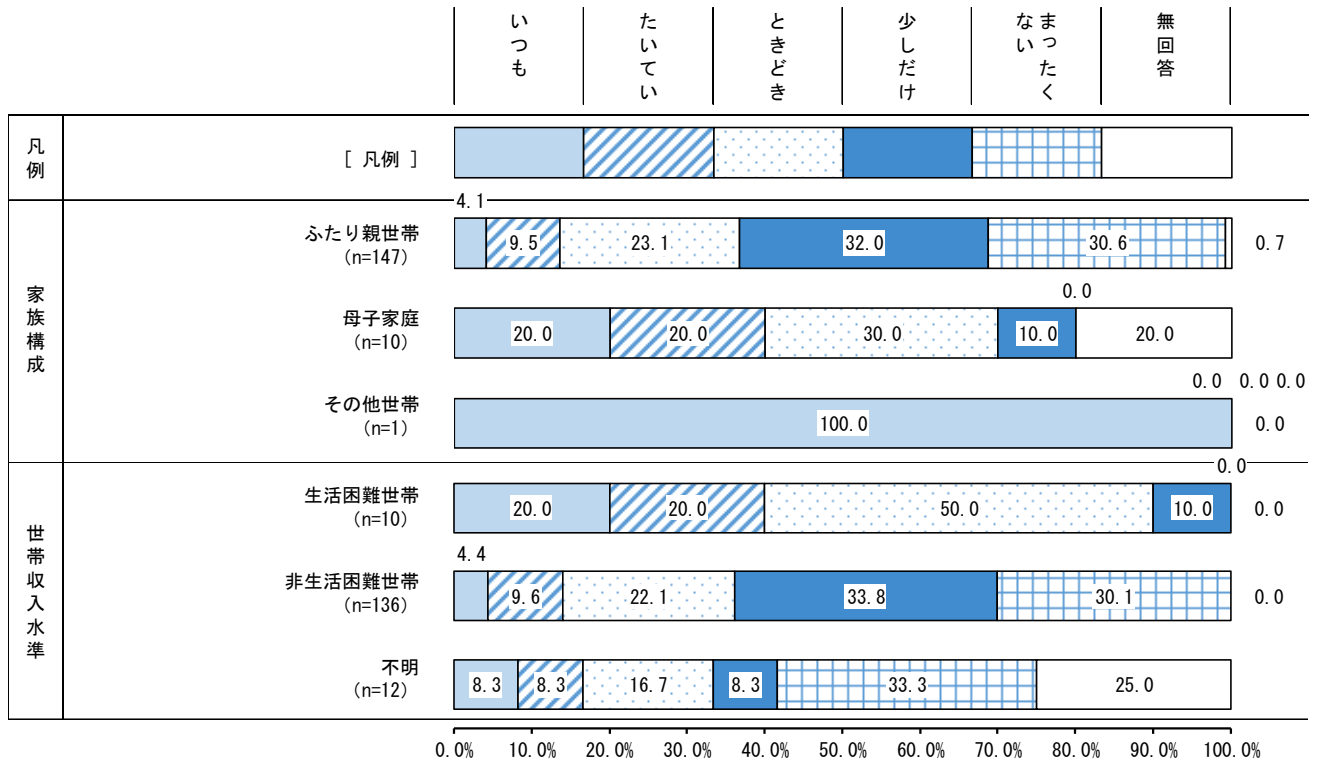
【家族構成】

- ちょっとしたことでも気になったことについて、「まったく」はふたり親世帯が 30.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「いつも」は生活困難世帯が 20.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【ちょっとしたことでも気になったこと】



(3) それぞれ、落ち着かなかったこと

問23b それぞれ、落ち着かなかったことはありましたか。

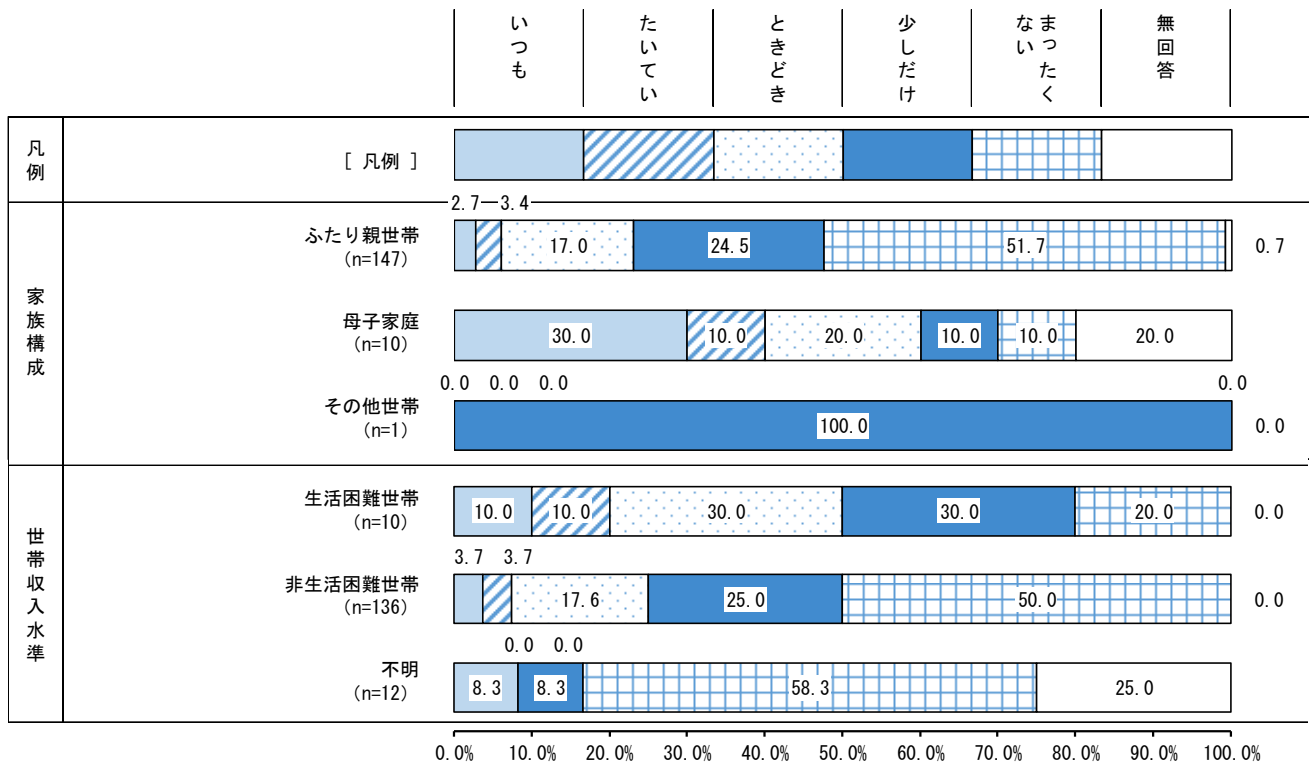
【家族構成】

- それぞれ、落ち着かなかったことについて、「いつも」は母子家庭が 30.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「まったくない」は生活困難世帯が 20.0%と他の区分に比べて少なくなっています。

【それぞれ、落ち着かなかったこと】



(4) 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れなかったこと

問23c 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れなかったことはありましたか。

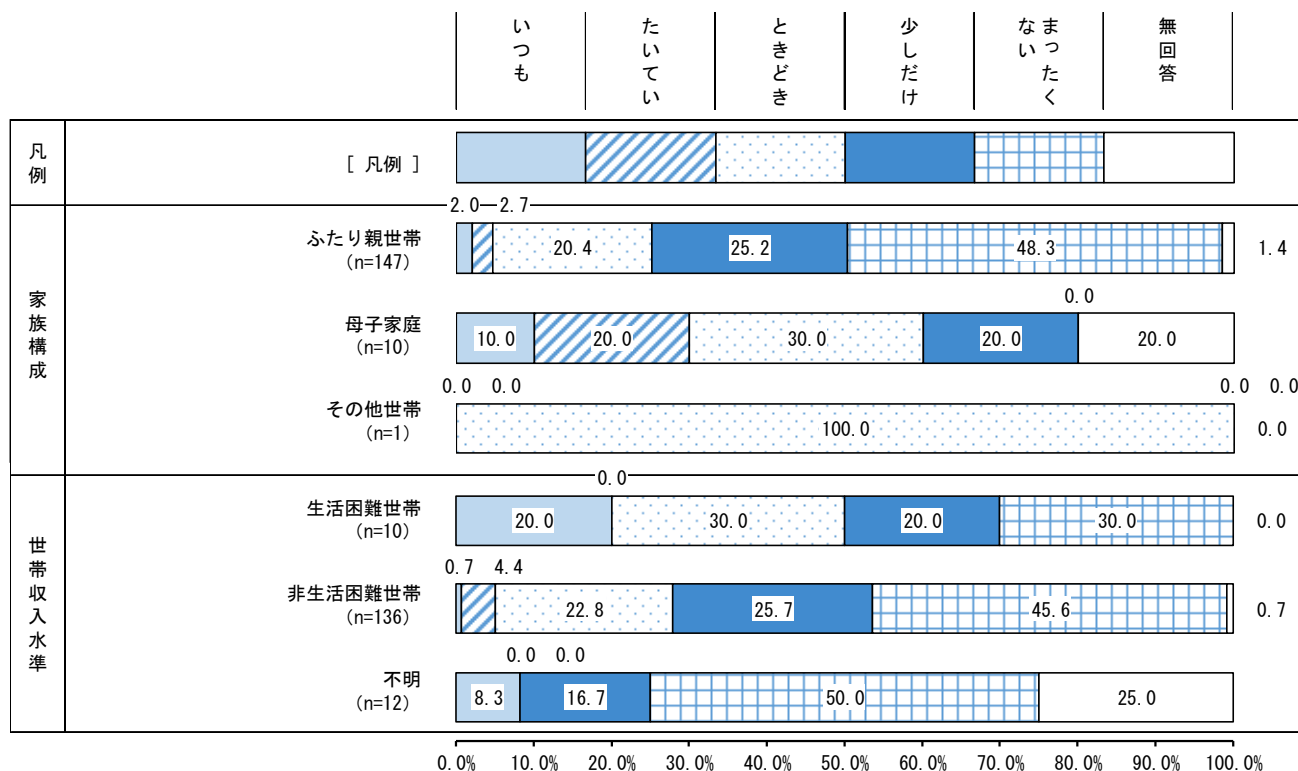
【家族構成】

- 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れなかったことについて、「まったく」はふたり親世帯が 48.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「いつも」は生活困難世帯が 20.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れなかったこと】



（５）何をするのも面倒だと感じたこと

問23d 何をするのも面倒だと感じたことはありましたか。

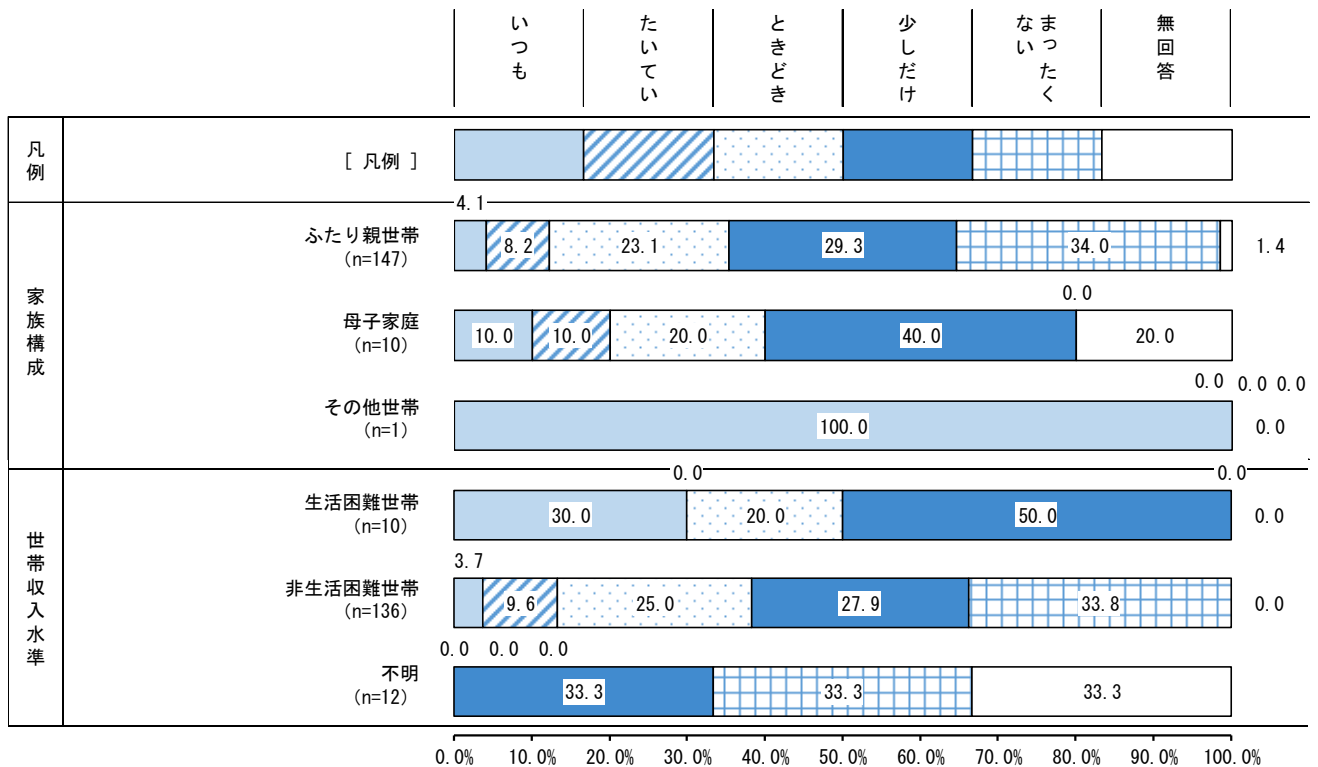
【家族構成】

- 何をするのも面倒だと感じたことについて、「まったく」はふたり親世帯が 34.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「いつも」は生活困難世帯が 30.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【何をするのも面倒だと感じたこと】



(6) 自分は価値のない人間だと感じたこと

問23e 自分は価値のない人間だと感じたことはありましたか。

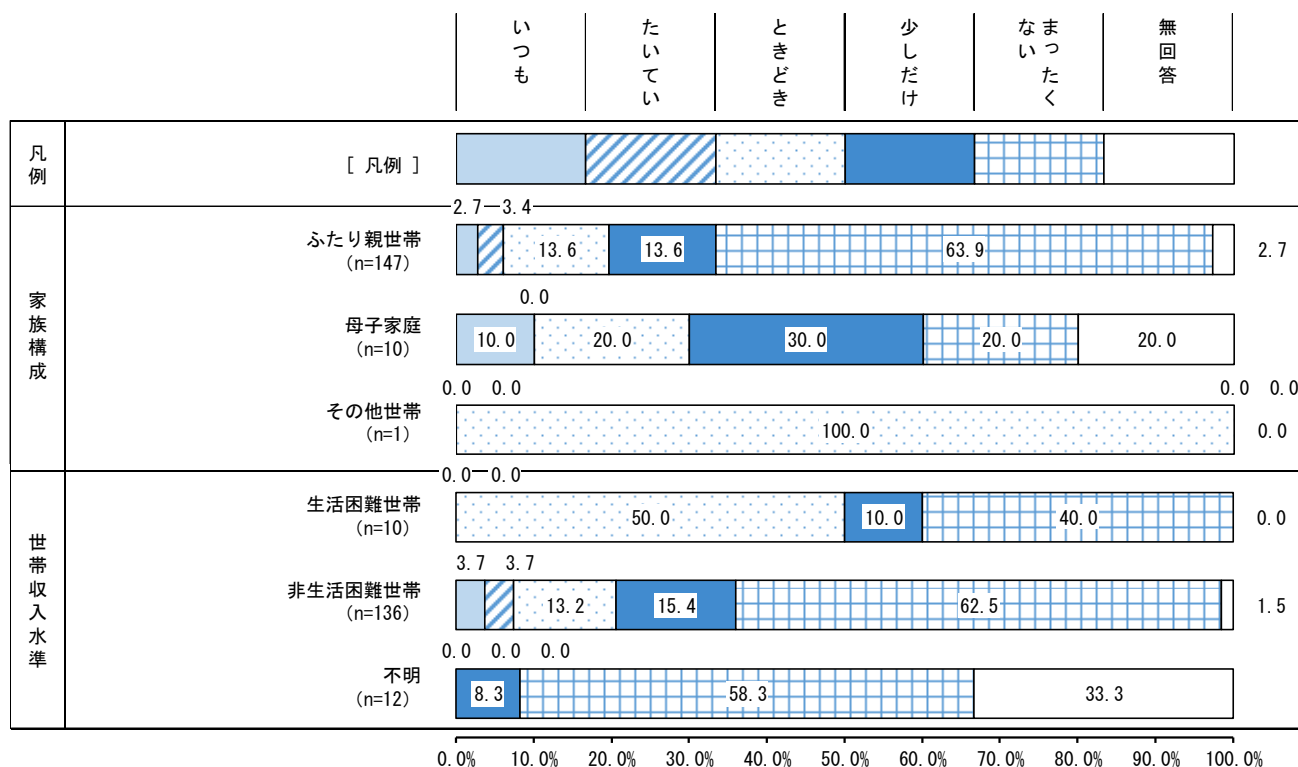
【家族構成】

- 自分は価値のない人間だと感じたことについて、「まったくない」はふたり親世帯が 63.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「まったくない」は生活困難世帯が 40.0%と他の区分に比べて少なくなっています。

【自分は価値のない人間だと感じたこと】



(7) 絶望的だと感じたこと

問23f 絶望的だと感じたことはありましたか。

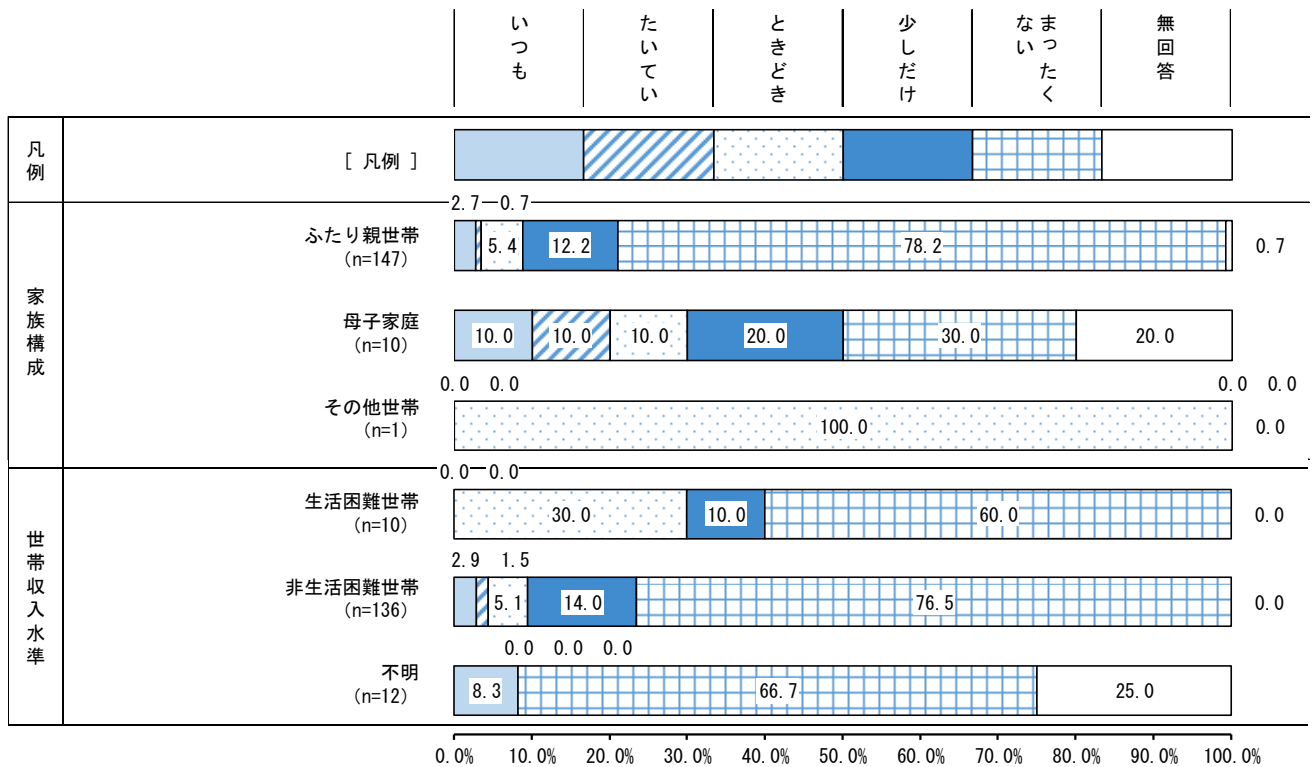
【家族構成】

- 絶望的だと感じたことについて、「まったくない」はふたり親世帯が 78.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「まったくない」は非生活困難世帯が 76.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【絶望的だと感じたこと】



1 1. 支援の利用状況

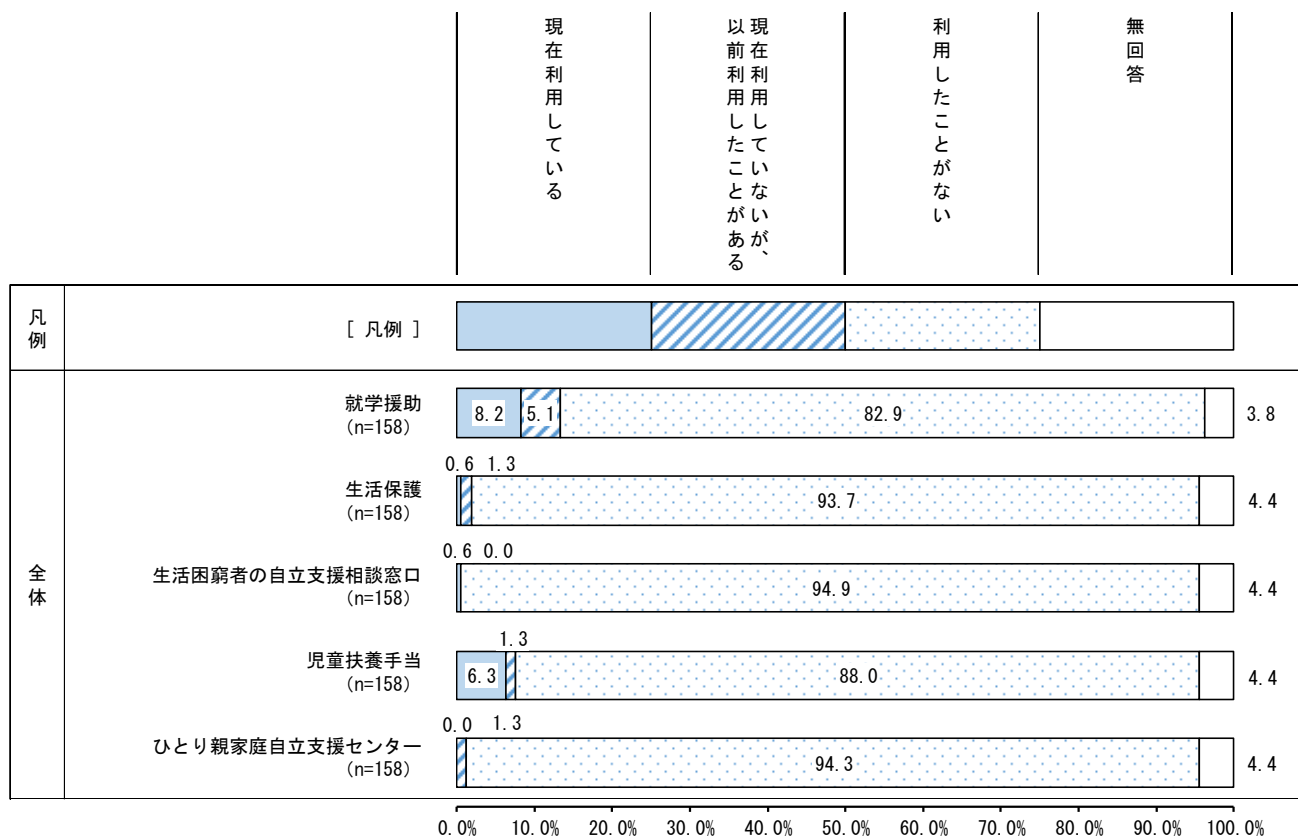
(1) 支援の利用状況

問24-1 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。

【全体】

- 支援制度の利用について、「現在利用している」は生活保護、生活困窮者の自立支援相談窓口、ひとり親家庭自立支援センターは 1.0%未満となっているのに対し、就学援助が 8.2%、児童扶養手当が 6.3%と多くなっています。
- 「利用したことがない」は生活困窮者の自立支援相談窓口が 94.9%、ひとり親家庭自立支援センターが 94.3%、生活保護が 93.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【支援制度の利用】



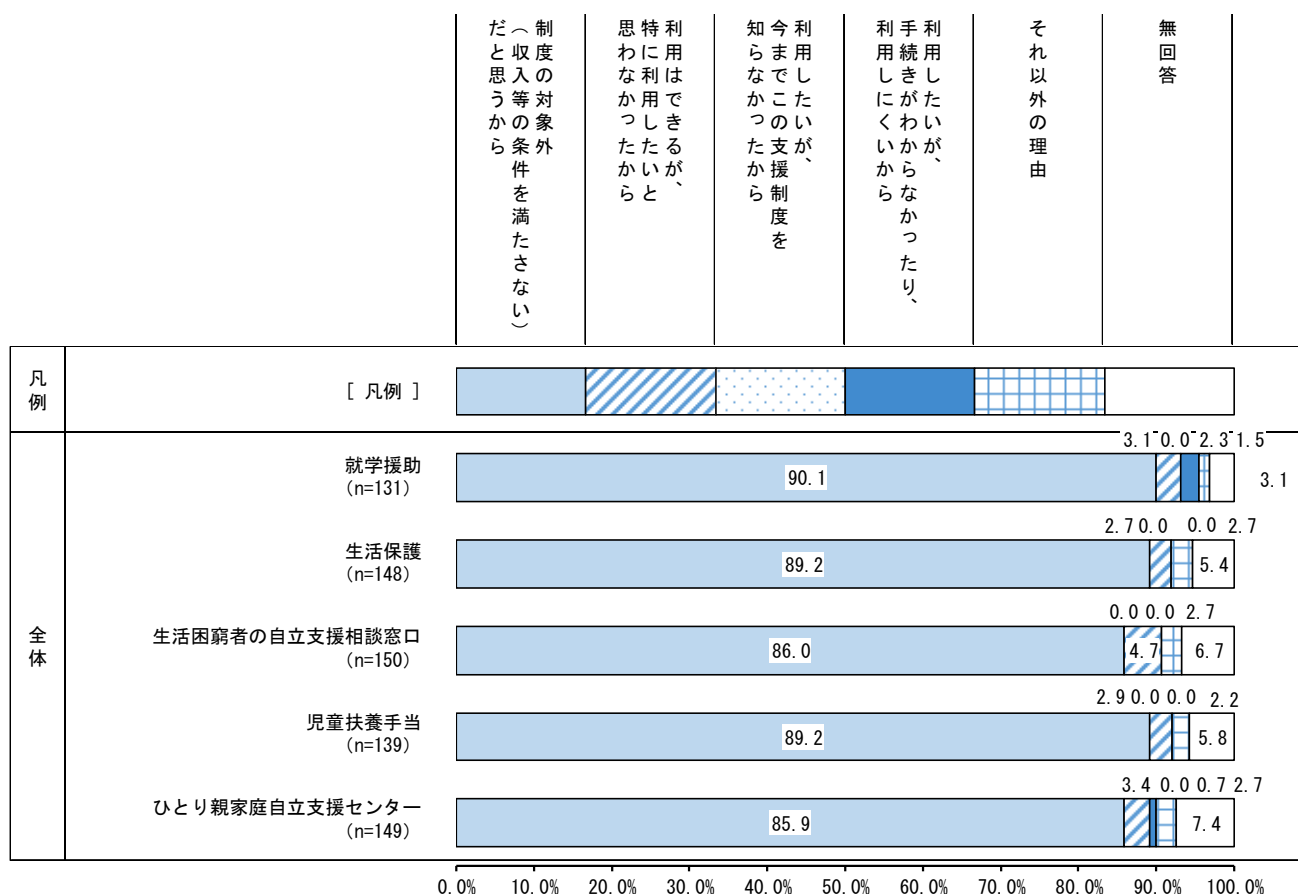
(2) 支援を利用したことがない理由

問24-2 利用したことがない理由は何ですか。(前の質問で「3. 利用したことがない」を選んだ人)

【全体】

- 利用したことがない理由について、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だ」と思うから」はすべて 85.0%以上と多くなっています。
- 「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた“利用の希望がある人”は就学援助が 2.3%、ひとり親家庭自立支援センターが 0.7%、生活保護、生活困窮者の自立支援相談窓口、児童扶養手当が 0.0%となっています。

【利用したことがない理由】



(3) 就学援助の利用状況

問24a-1 就学援助をこれまでに利用したことがありますか。

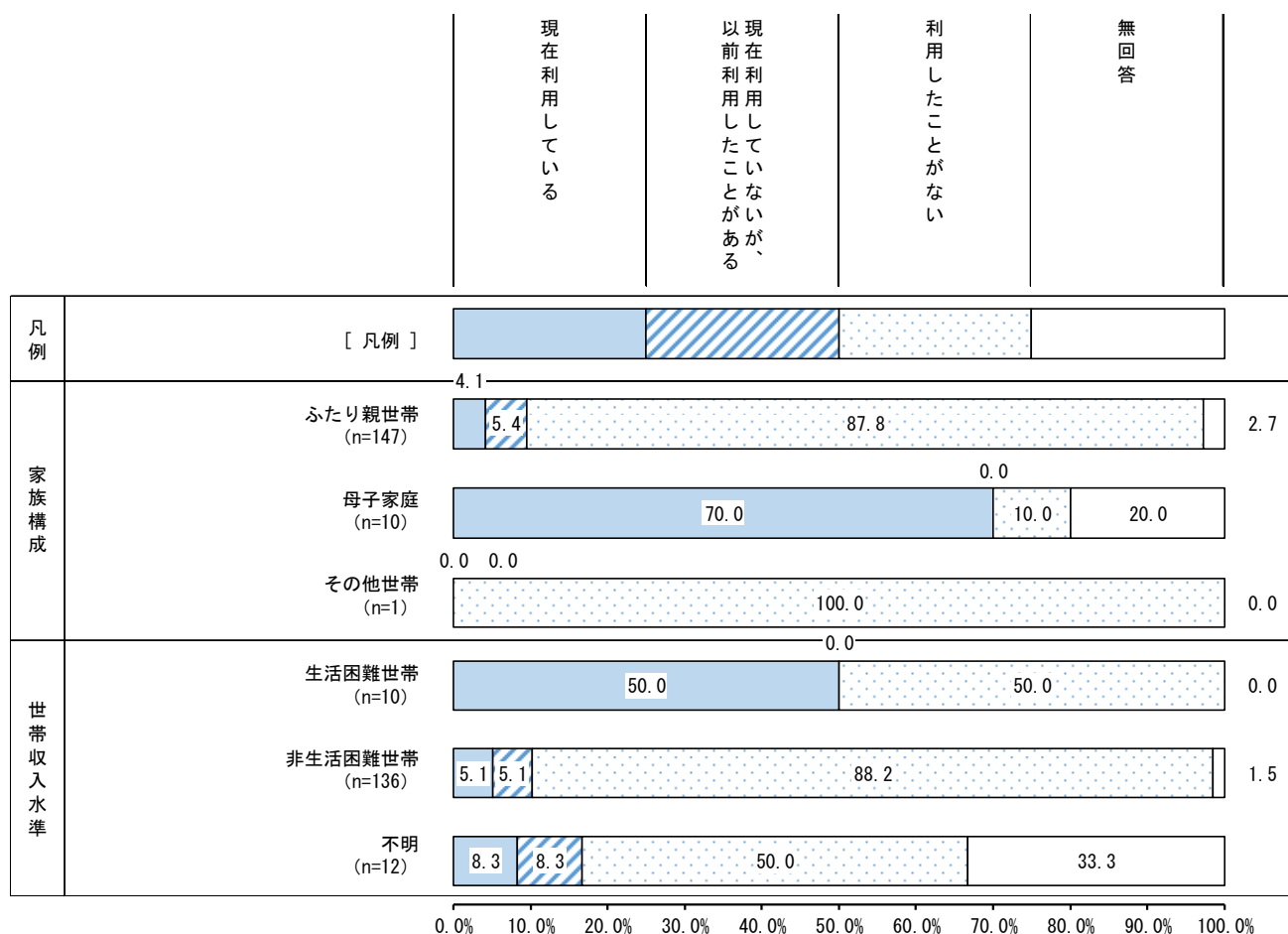
【家族構成】

- 就学援助の利用について、「現在利用している」はふたり親世帯が4.1%となっているのに対し、母子家庭は70.0%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「現在利用している」は非生活困難世帯が5.1%となっているのに対し、生活困難世帯は50.0%と多くなっています。

【就学援助の利用】



(4) 支援を利用したことがない理由

問24a-2 就学援助を利用したことがない理由は何ですか。(前の質問で「3. 利用したことがない」を選んだ人)

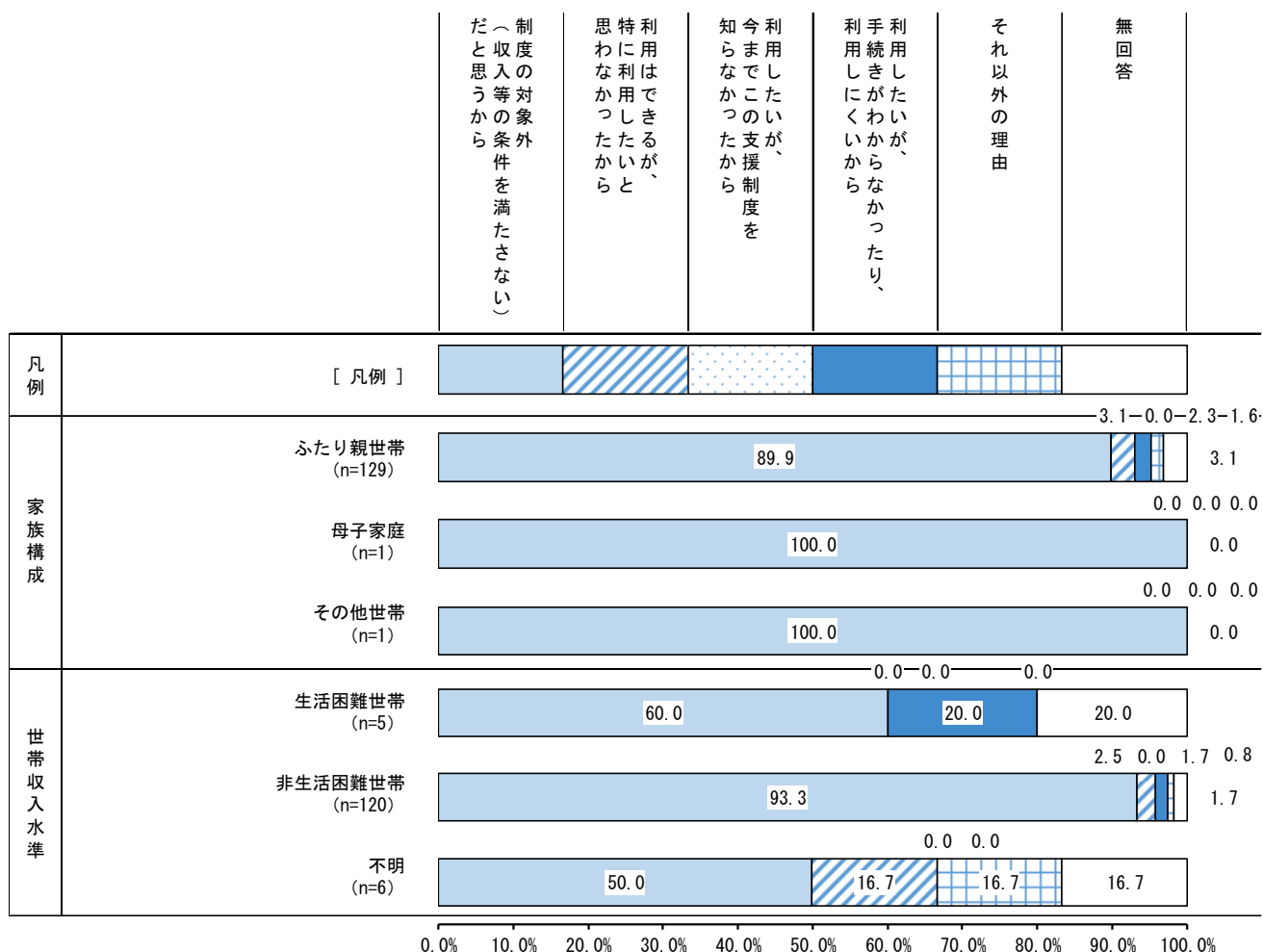
【家族構成】

- 就学援助を利用したことがない理由について、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた“利用の希望がある人”は母子家庭が0.0%、ふたり親世帯が2.3%となっています。

【世帯収入水準】

- “利用の希望がある人”は、非生活困難世帯が1.7%となっているのに対し、生活困難世帯は20.0%と多くなっています。

【就学援助を利用したことがない理由】



（５）生活保護の利用状況

問24b-1 生活保護をこれまでに利用したことがありますか。

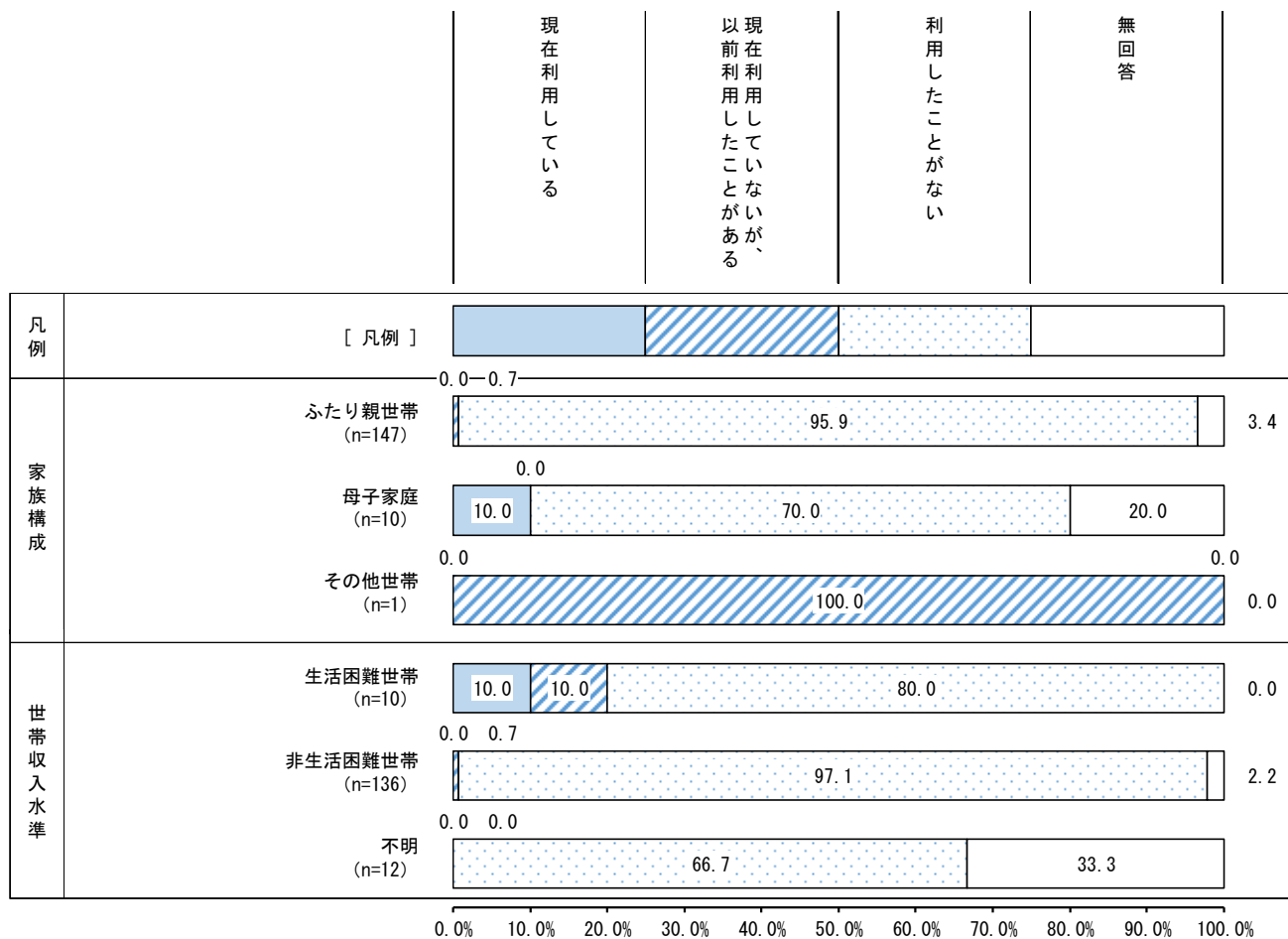
【家族構成】

- 生活保護の利用について、「現在利用している」は母子家庭が 10.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「現在利用している」は生活困難世帯が 10.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【生活保護の利用】



（６）支援を利用したことがない理由

問24b-2 生活保護を利用したことがない理由は何ですか。（前の質問で「３．利用したことがない」を選んだ人）

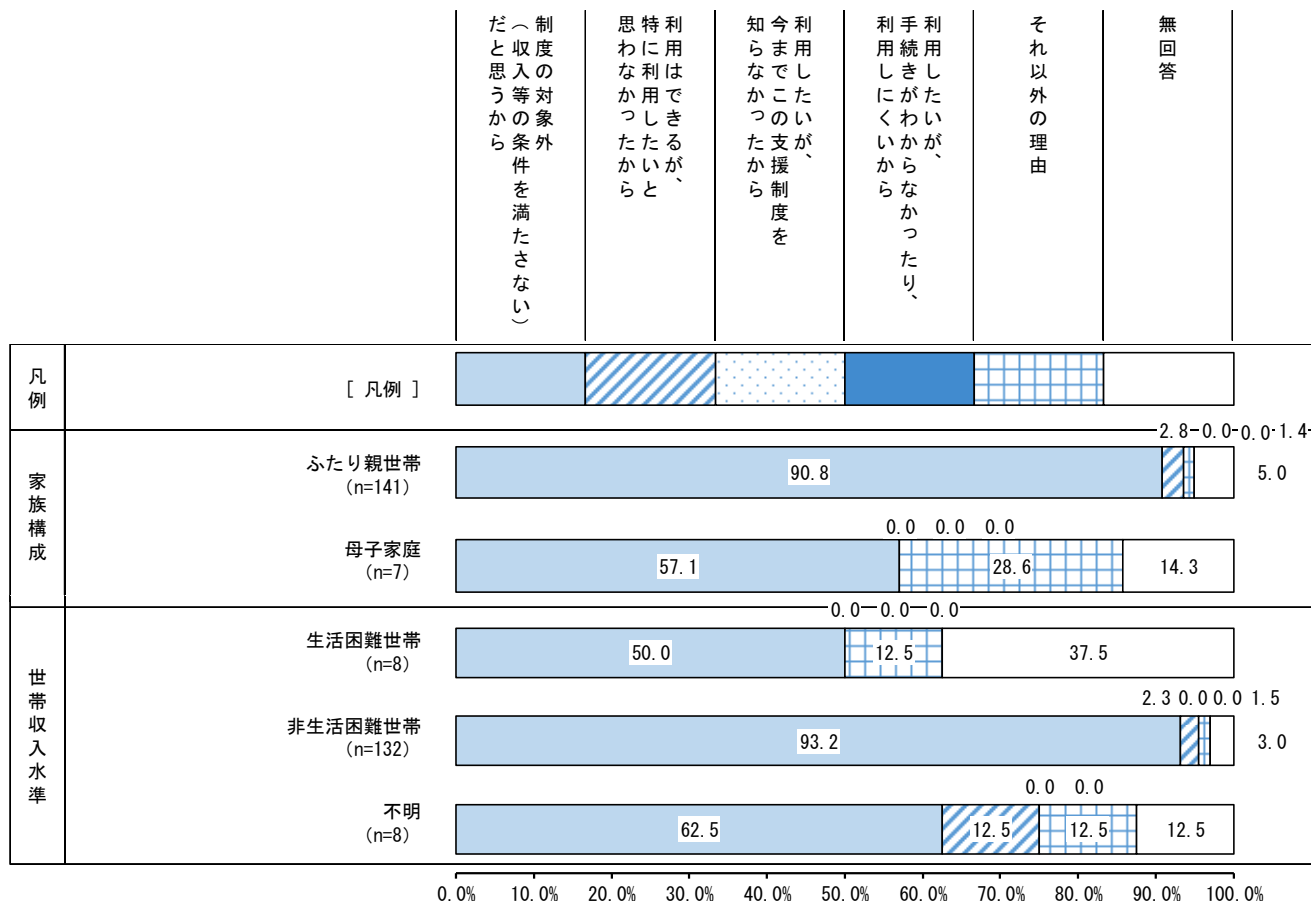
【家族構成】

- 生活保護を利用したことがない理由について、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた“利用の希望がある人”はふたり親世帯、母子家庭ともに0.0%となっています。

【世帯収入水準】

- “利用の希望がある人”は生活困難世帯、非生活困難世帯ともに0.0%となっています。

【生活保護を利用したことがない理由】



※その他世帯について、有効回答がありませんでした。

(7) 生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況

問24c-1 生活困窮者の自立支援相談窓口をこれまでに利用したことがありますか。

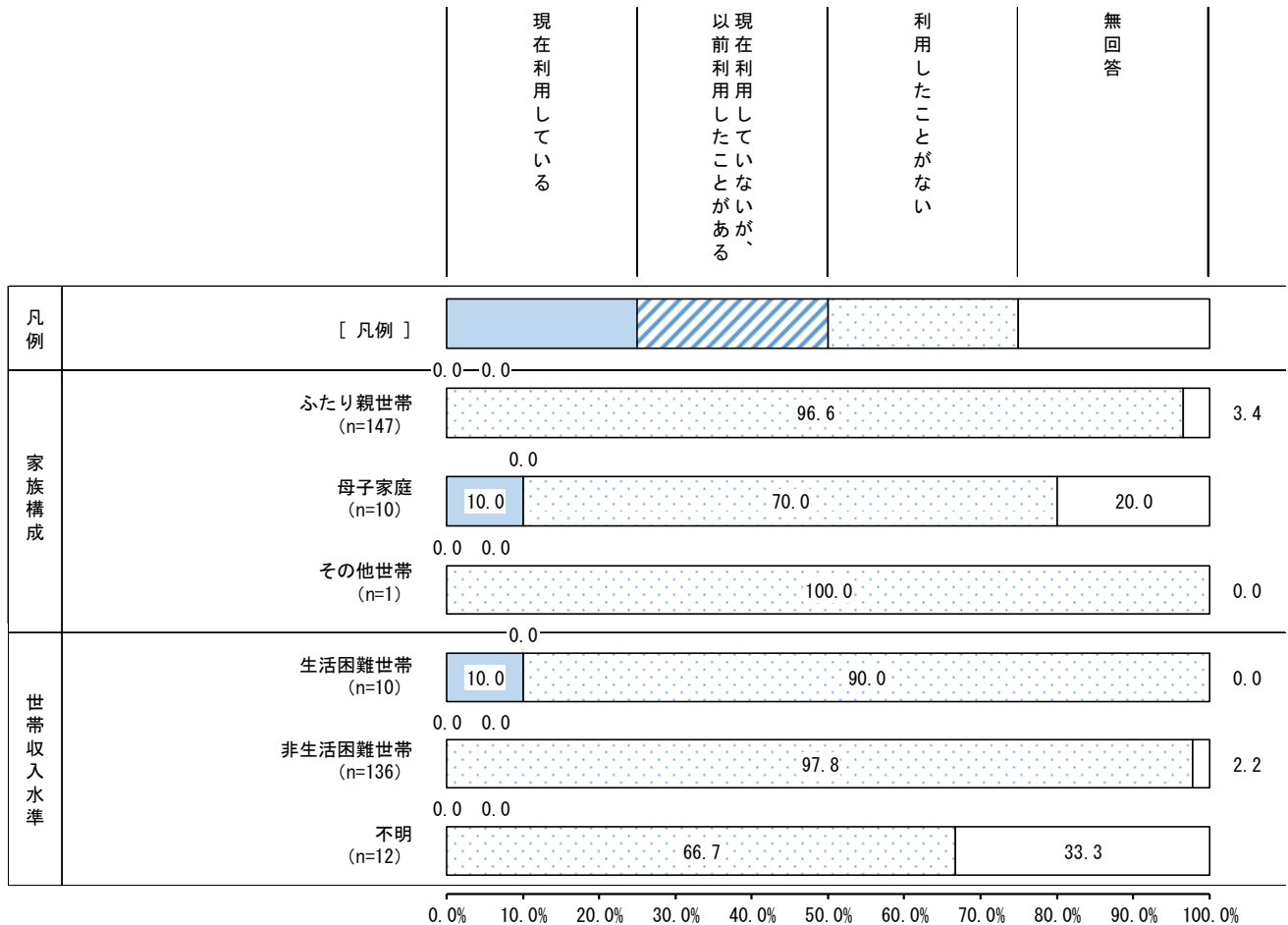
【家族構成】

- 生活困窮者の自立支援相談窓口の利用について、「現在利用している」は母子家庭が 10.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「現在利用している」は生活困難世帯が 10.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【生活困窮者の自立支援相談窓口の利用】



（８）支援を利用したことがない理由

問24c-2 生活困窮者の自立支援相談窓口を利用したことがない理由は何ですか。（前の質問で「3. 利用したことがない」を選んだ人）

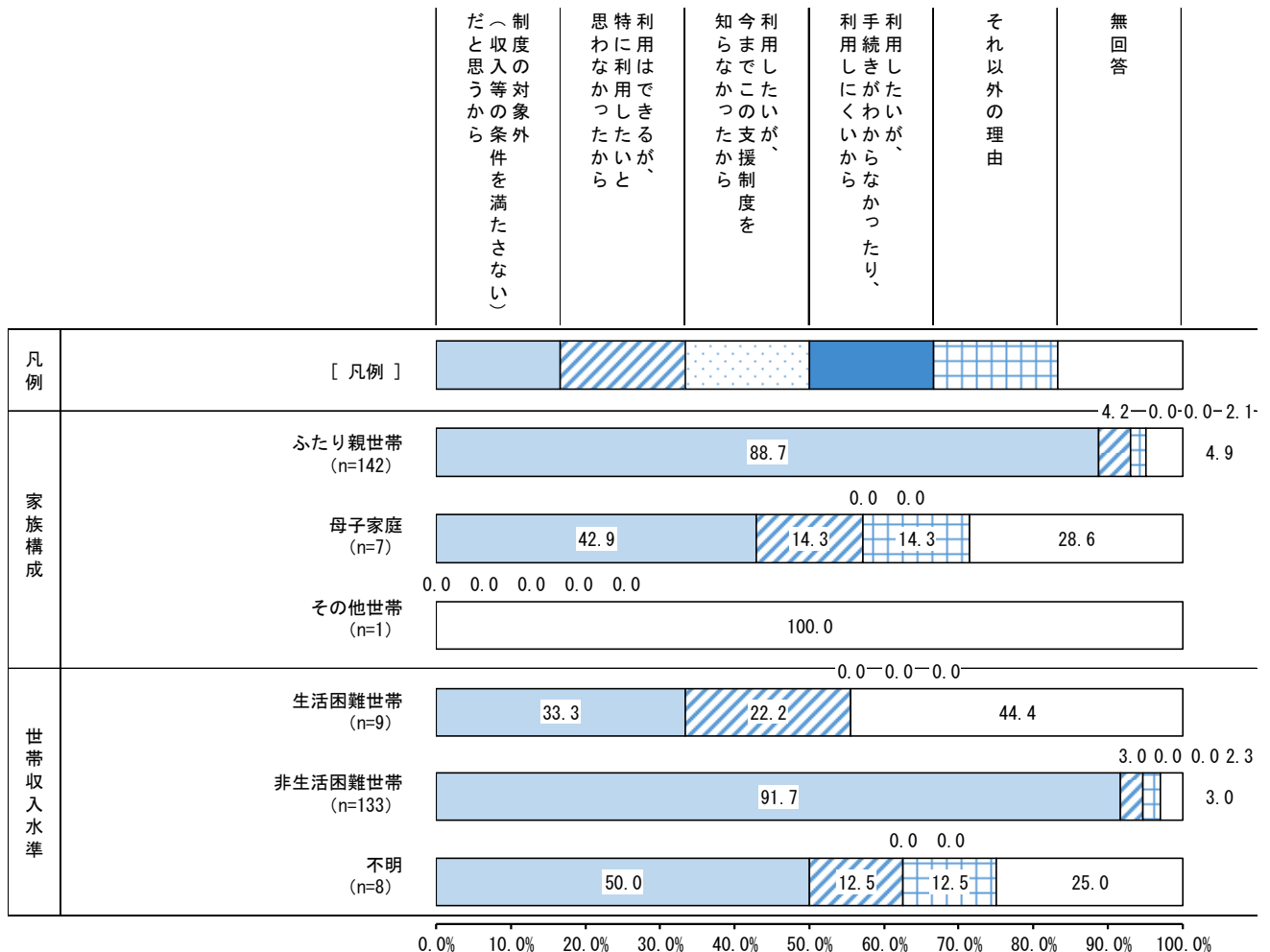
【家族構成】

- 生活困窮者の自立支援相談窓口を利用したことがない理由について、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた“利用の希望がある人”はふたり親世帯、母子家庭ともに0.0%となっています。

【世帯収入水準】

- “利用の希望がある人”は生活困難世帯、非生活困難世帯ともに0.0%となっています。

【生活困窮者の自立支援相談窓口を利用したことがない理由】



（９）児童扶養手当の利用状況

問24d-1 児童扶養手当をこれまでに利用したことがありますか。

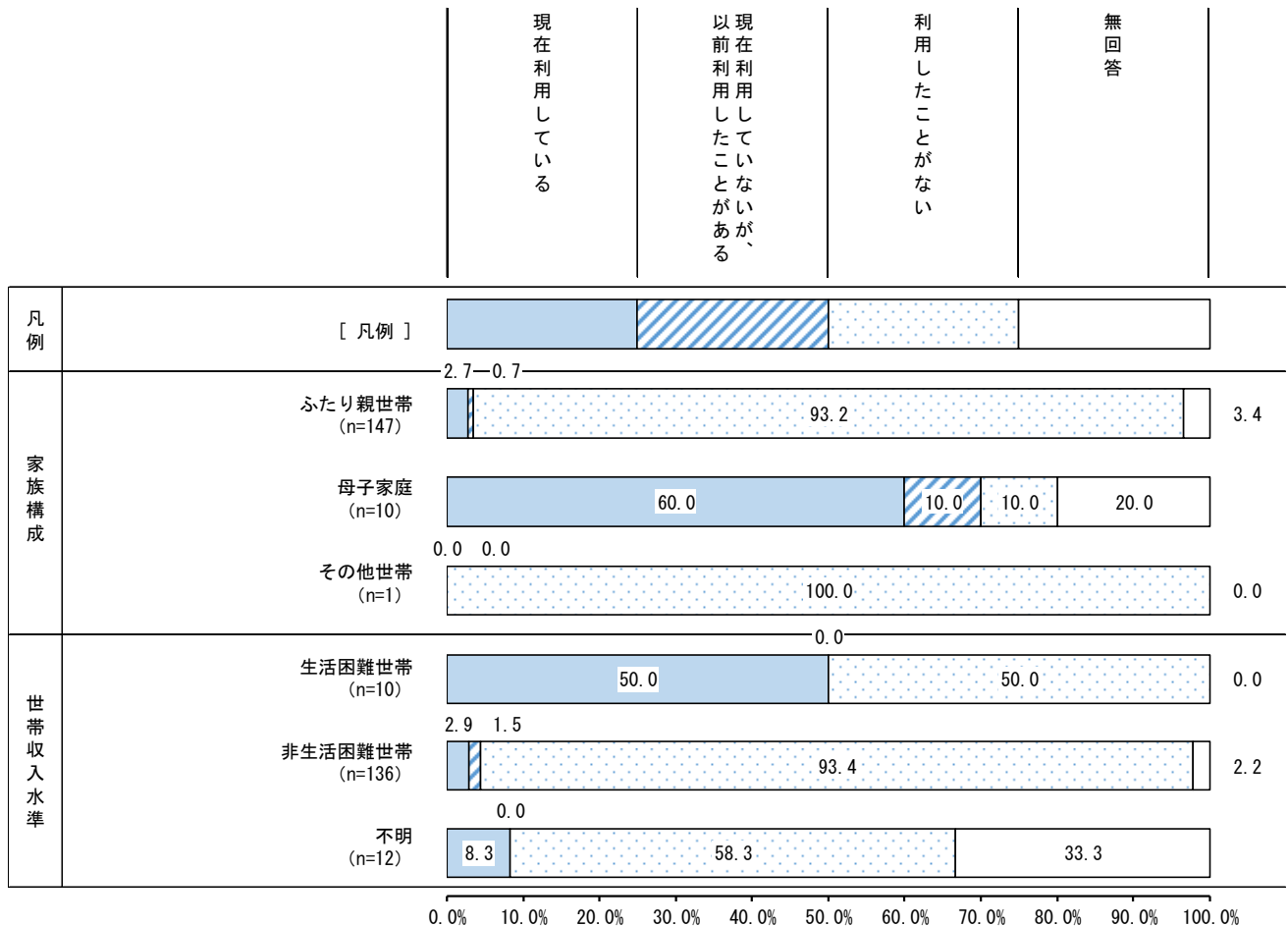
【家族構成】

- 児童扶養手当の利用について、「現在利用している」は母子家庭が 60.0%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「現在利用している」は非生活困難世帯が 2.9%となっているのに対し、生活困難世帯は 50.0%と多くなっています。

【児童扶養手当の利用】



(10) 支援を利用したことがない理由

問24d-2 児童扶養手当を利用したことがない理由は何ですか。(前の質問で「3. 利用したことがない」を選んだ人)

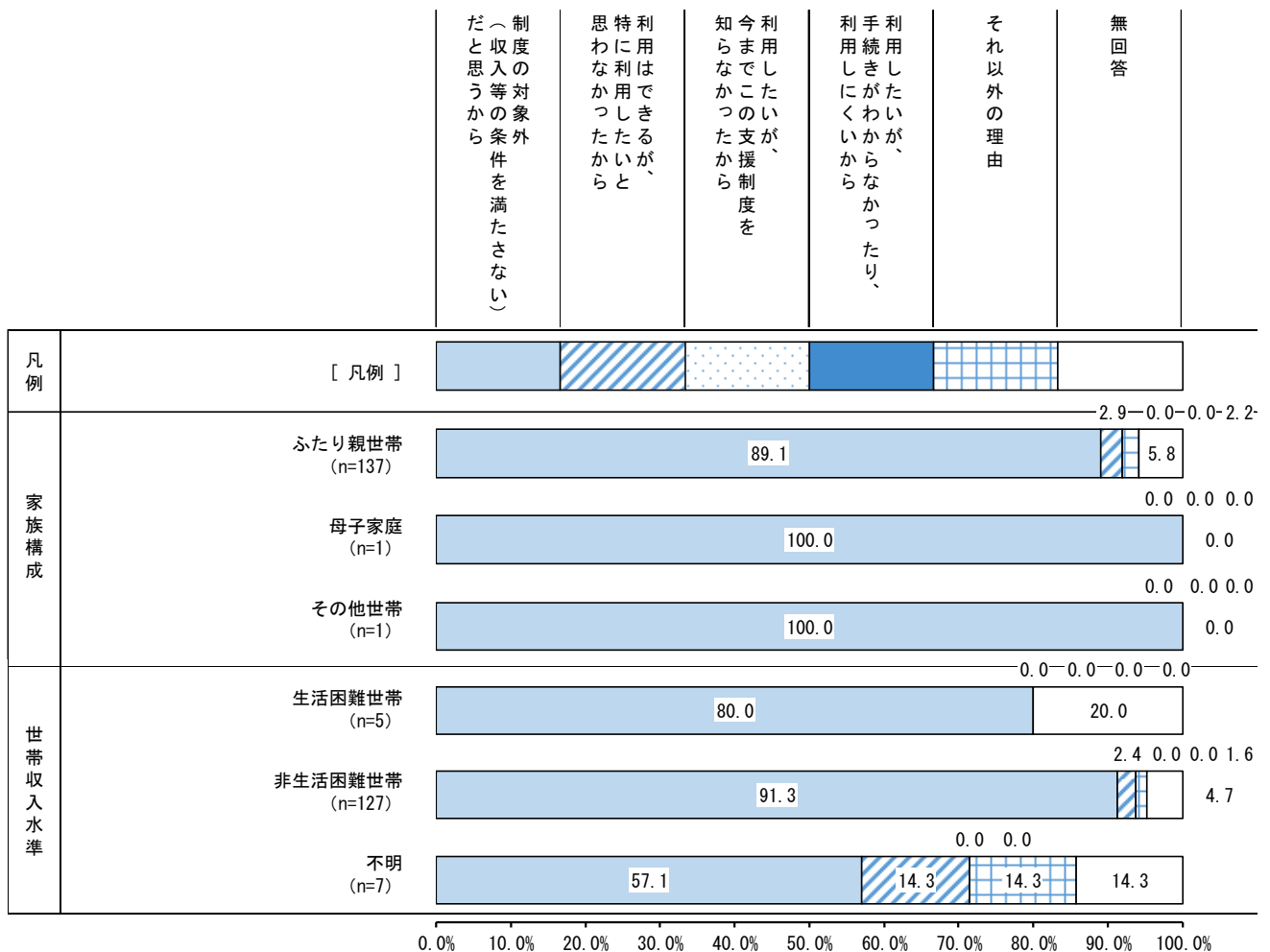
【家族構成】

- 児童扶養手当を利用したことがない理由について、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた“利用の希望がある人”は母子家庭が0.0%となっています。

【世帯収入水準】

- “利用の希望がある人”は生活困難世帯、非生活困難世帯がともに0.0%となっています。

【児童扶養手当を利用したことがない理由】



(11) ひとり親家庭自立支援センターの利用

問24e-1 ひとり親家庭自立支援センターをこれまでに利用したことがありますか。

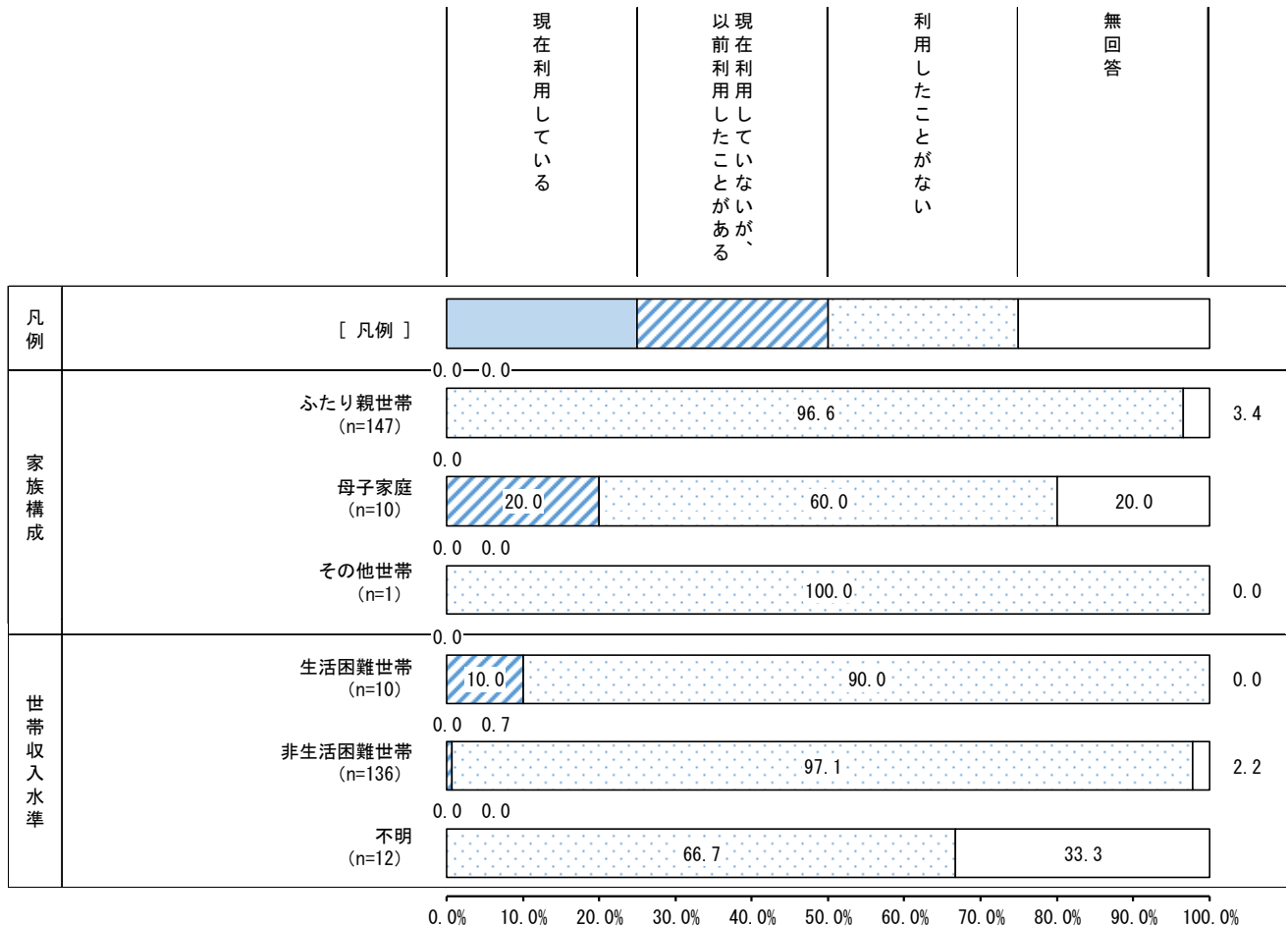
【家族構成】

- ひとり親家庭自立支援センターの利用について、「現在利用している」は母子家庭が0.0%となっています。

【世帯収入水準】

- 「現在利用している」は生活困難世帯、非生活困難世帯がともに0.0%となっています。

【ひとり親家庭自立支援センターの利用】



(12) 支援を利用したことがない理由

問24e-2 ひとり親家庭自立支援センターを利用したことがない理由は何ですか。(前の質問で「3. 利用したことがない」を選んだ人)

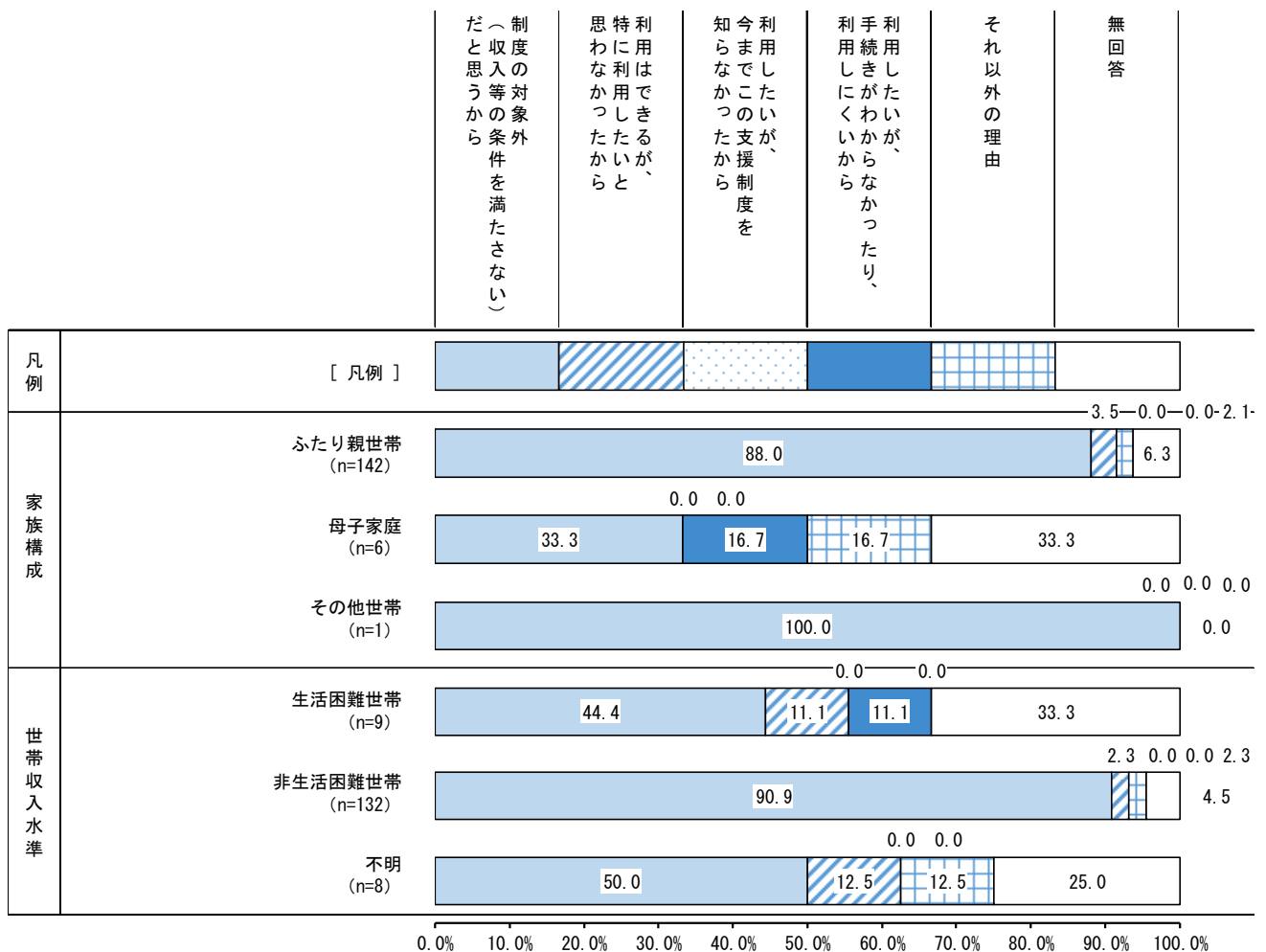
【家族構成】

- ひとり親家庭自立支援センターを利用したことがない理由について、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた“利用の希望がある人”は母子家庭が16.7%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “利用の希望がある人”は非生活困難世帯が0.0%となっているのに対し、生活困難世帯は11.1%と多くなっています。

【ひとり親家庭自立支援センターを利用したことがない理由】



1 2. 保護者の考え

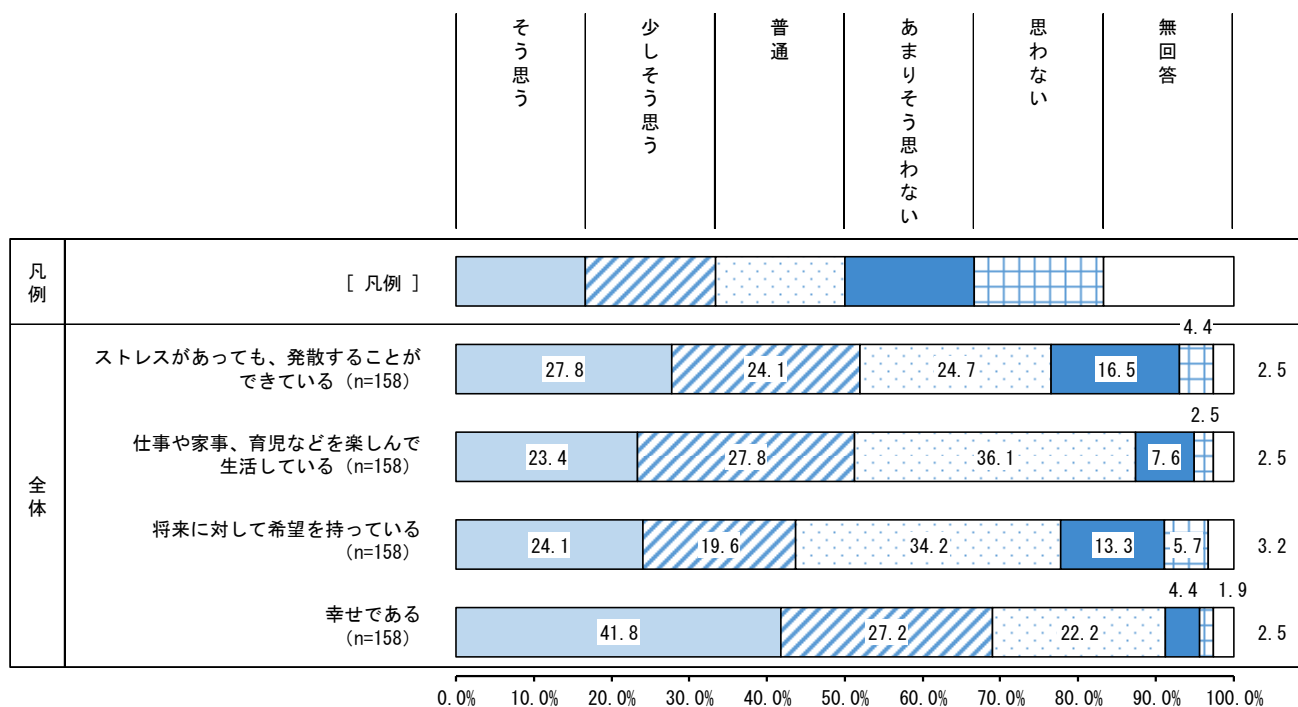
(1) 自分自身の考え

問25 次の質問について、あなたはどのように考えていますか。

【全体】

- あなたの考えについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は幸せであるが 69.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”はストレスがあっても、発散することができているが 20.9%、将来に対して希望を持っているが 19.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【自分自身の考え】



(2) ストレスの発散

問25a ストレスがあっても、発散することができていますか。

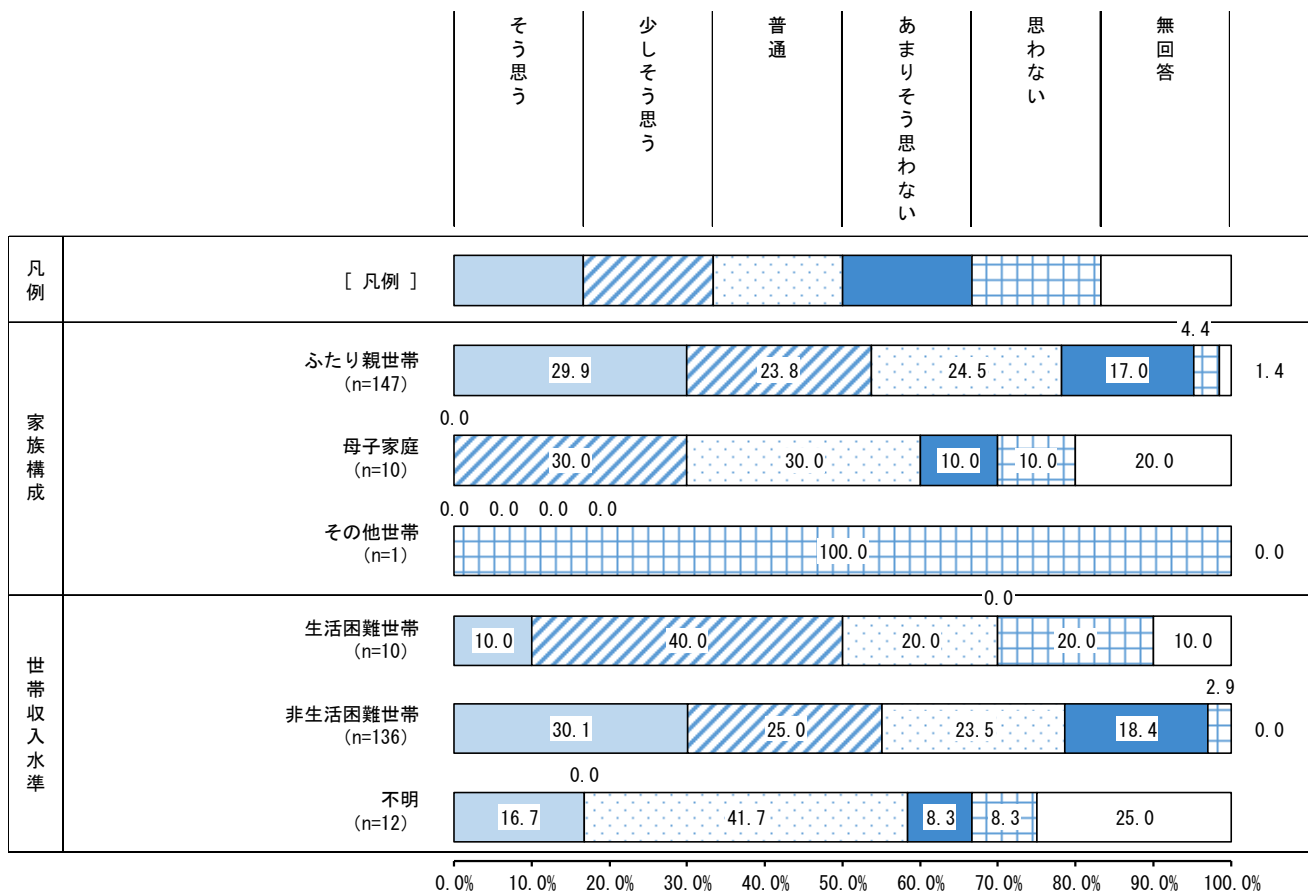
【家族構成】

- ストレスがあっても、発散することができているかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は母子家庭が 30.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は 53.7%と多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”はふたり親世帯が 20.4%、母子家庭が 20.0%となっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は生活困難世帯が 50.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 55.1%と多くなっています。
- “そう思わない人”は非生活困難世帯が 21.3%、生活困難世帯が 20.0%となっています。

【ストレスがあっても、発散することができているか】



(3) 楽しんだ生活

問25b 仕事や家事、育児などを楽しんで生活していますか。

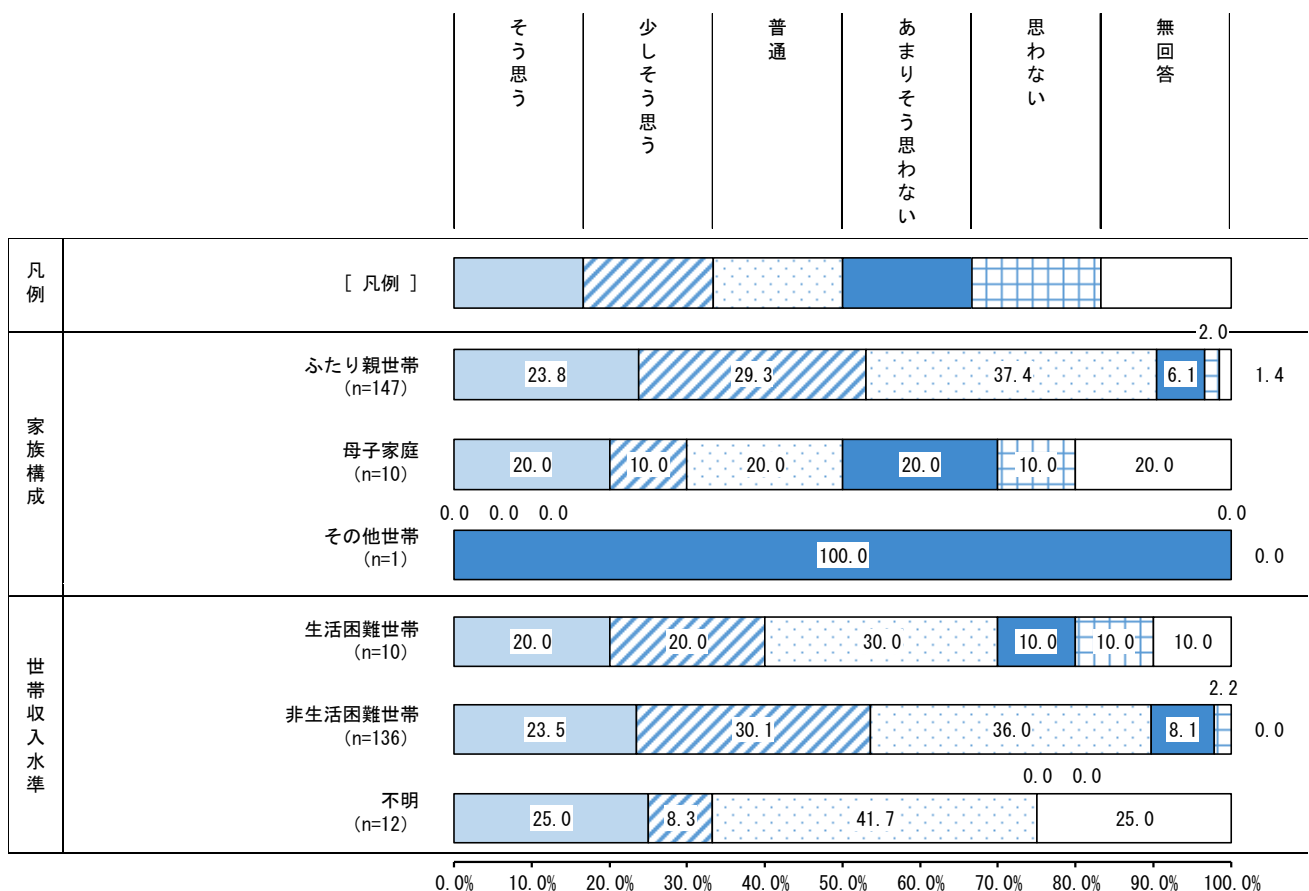
【家族構成】

- 仕事や家事、育児などを楽しんで生活しているかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は母子家庭が 30.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は 53.1%と多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”はふたり親世帯が8.1%となっているのに対し、母子家庭は 30.0%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は生活困難世帯が 40.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 53.6%と多くなっています。
- “そう思わない人”は非生活困難世帯が 10.3%となっているのに対し、生活困難世帯は 20.0%と多くなっています。

【仕事や家事、育児などを楽しんで生活しているか】



(4) 将来に対する希望

問25c 将来に対して希望を持っていますか。

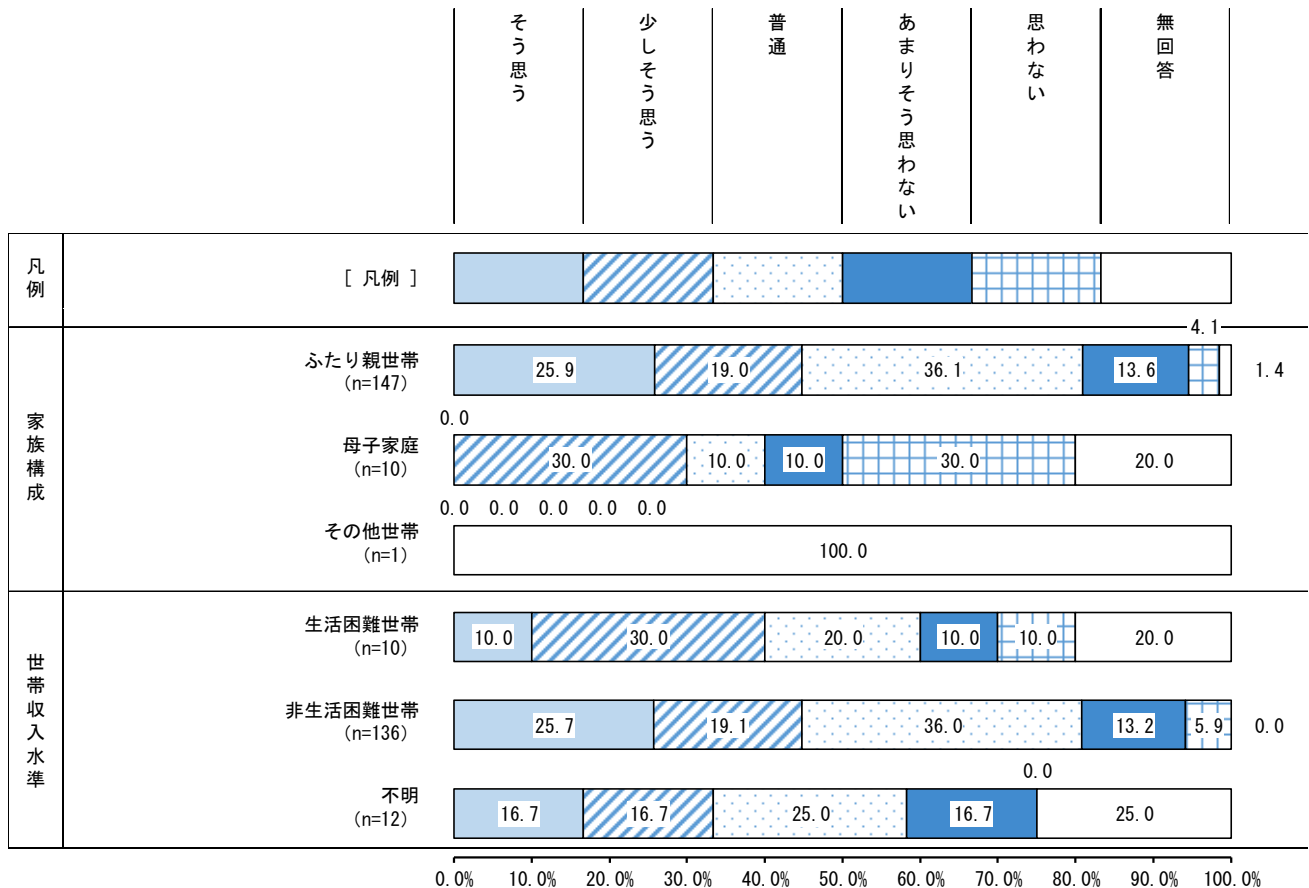
【家族構成】

- 将来に対して希望を持っているかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は母子家庭が30.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は44.9%と多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”はふたり親世帯が17.7%となっているのに対し、母子家庭は40.0%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は非生活困難世帯が44.8%、生活困難世帯が40.0%となっています。
- “そう思わない人”は生活困難世帯が20.0%、非生活困難世帯が19.1%となっています。

【将来に対して希望を持っているか】



(5) 幸せを感じる

問25d 幸せですか。

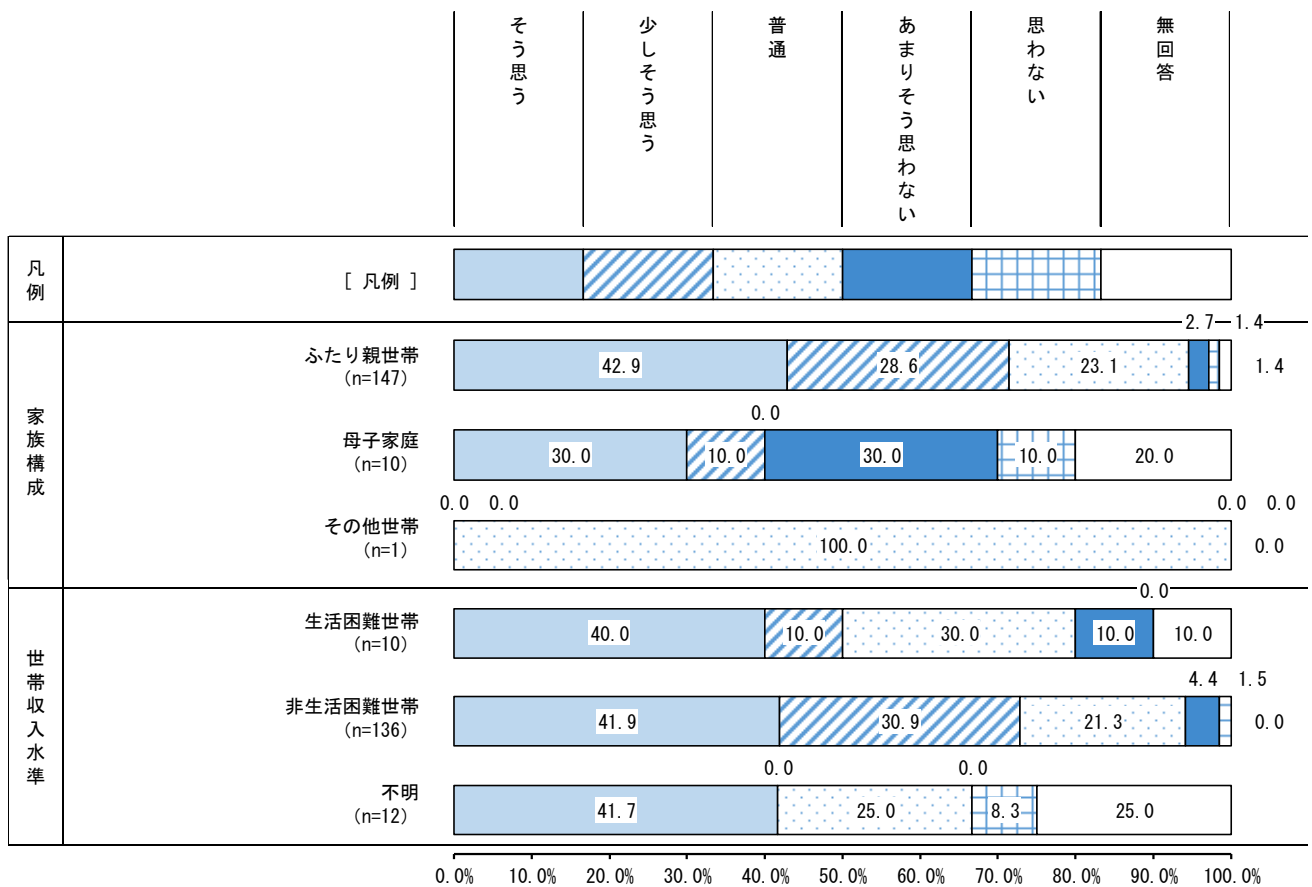
【家族構成】

- 幸せであるかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は母子家庭が40.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は71.5%と多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”はふたり親世帯が4.1%となっているのに対し、母子家庭は40.0%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は生活困難世帯が50.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は72.8%と多くなっています。
- “そう思わない人”は生活困難世帯が10.0%、非生活困難世帯が5.9%となっています。

【幸せであるか】



V 小学生の保護者（アンケート結果からの分析）

1. 保育の状況

全体では、0～2歳の間は「もっぱら親・親族が面倒をみていた」が52.5%と多くなっており、「認可保育所・認定こども園」の利用は相対的に少なくなっていますが、母子家庭では、「親・親族以外の個人」が他の世帯に比べて、やや多くなっています。

一方で、3～5歳の間では「幼稚園・認可保育所・認定こども園」の利用が全体で95.6%、母子家庭で80.0%と非常に多く、家庭での保育は少なくなっています。

2. 子どもとの関わり方

親子の関わり方について、母子家庭では、幼少時に絵本の読み聞かせをしていた人は、ふたり親世帯より少なく、本や新聞を読む習慣を子どもに勧める人もやや少なくなっています。また、テレビやゲーム等の視聴時間のルールの取り決めに関しても、母子家庭ではやや少ない傾向です。

また、母子家庭や生活困難世帯においては、子どもから勉強や成績のことについて話す人がやや少なくなっています。

3. 学校との関わり・参加

学校行事（授業参観や運動会）への参加意欲について、家庭構成と年齢、収入水準の影響はほぼなく、すべての層で積極的であることがうかがえます。

一方で、PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティア活動への参加意欲が少ない傾向があります。また、両親ともに若年齢層でも同様の傾向がみられます。

4. 進路期待・展望

進路に関して、子ども本人は、生活困難世帯では無回答が多くなっています。一方で、進学したい理由については「希望する学校や職業があるから」が最も多く、具体的な職業へつながる進路を考えている様子もうかがえます。

保護者に関しては、母子家庭では「中学、高校、短大」が、生活困難世帯で「中学、高校」が他の世帯より多くなっていますが、進路の希望理由については、「子どもがそう希望しているから」も多く、できるだけ子どもの意向を優先できるよう検討している考えがうかがえます。

5. 頼れる人の有無・相手

子育てに関する相談先として、全体に「家族・親族」が多く、友人・知人や職場の人などの第三者のサポートが少ない状況がうかがえます。特に母子家庭では、相談先があると答えた人は 50.0%と少なくなっている一方、生活困難世帯では、相談先があると答えた人は多くなっています。

経済的支援について「頼れる人がいる」と答えた人が生活困難世帯では 50.0%、母子家庭では 40.0%と、他の世帯と比べて少なくなっています。

6. 経済的な状況、暮らしの状況

暮らしの状況について、母子家庭、生活困難世帯においては「ゆとりがある」と答える世帯もある一方、苦しい人（「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合）が多くなっています。また、一部の家庭では、食料や衣服の購入においても影響がありました。

養育費について、「取り決めをしているが、受け取っていない」や、「取り決めをしておらず、受け取っていない」といったケースがあることもうかがえます。

7. 保護者の心理的な状態

保護者の心理的な状態について、母子家庭や生活困難世帯で「少しだけ」も含めて「絶望的だ」と感じたことがある人は他の世帯よりも多くなっています。

収入水準や家庭環境が精神的な健康状態に与える影響がみられ、特に、非生活困難世帯では精神的な健康状態が比較的良好である一方、生活困難世帯では精神的な健康状態に対する負担が大きいことがうかがえます。

8. 支援の利用状況

就学援助や児童扶養手当など、一部の支援制度は一定の利用がみられるものの、生活保護や生活困窮者の自立支援相談窓口などはほとんど利用されていない状況です。多くの人が「制度の対象外だと思うから」を理由にしていますが、ひとり親家庭自立支援センターに関しては、母子家庭、生活困難世帯で少ないながら利用希望がある人（「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた割合）がみられます。

9. 保護者の考え

母子家庭では、幸福度や将来への希望がある人が少なく、仕事や家事、育児への楽しみや、ストレスの発散に対する回答も、そう思う人（「そう思う（楽しい、できている）」と「少しそう思う（どちらかといえば楽しい、どちらかといえばできている）」を合わせた割合）は少なくなっています。

一方、生活困難世帯においては幸せであると感じる人は（「そう思う」と「少しそう思う」を合わせた割合）50.0%と多くなっており、将来への希望や仕事や家事、育児への楽しみや、ストレスの発散に対する回答も半数近くが肯定的となっています。